

富士見地区の地域公共交通に関する調査結果

1. 調査概要

2. アンケート結果

3. 自由記述

調査概要

調査概要

1. 目的
補助路線バスについて、富士見地区にお住いの方がどのような意見を持っているかを把握し、最適な富士見地区の地域公共交通の参考にすることを目的として実施
2. アンケート期間
令和2年7月8日～令和2年7月22日
3. 対象世帯
総世帯数：225世帯（虫窪：90、黒岩：81、西久保：54）
4. 調査方法
富士見地区の各世帯向けに郵送配布、郵送回収
5. 回収状況
111世帯（虫窪：50、黒岩：31、西久保：25、未記入：5）
257人（虫窪：116、黒岩：72、西久保：59、未記入：10）
6. アンケート結果について(サマリー)
 - ・補助路線バスに対する満足度は、満足・ふつうが64%
 - ・満足を感じている点は、「交通系ICカード利用」、「運賃」、不満を感じている点は、「運行本数」、「運行時間帯」を挙げられている方が多く見受けられました
 - ・この点を中心に改善する事により、今後の利便性向上が図れると考えます

主な移動先と人数

- ・自家用車での移動も含み、どのような方面へ移動されているかを定量化
- ・月京国府方面、二宮駅方面の移動について、一定量の需要がある

青字:JR以外利用者の行き先と、人数※

緑字:JR利用者の行き先と、人数※

※人数は頻度関係なく、移動先として記載した人の数を合計した数字。複数方面記載された人はそれぞれの数字に含まれる



主な移動先と人数（補助路線バス利用者のみ）

- 補助路線バスを利用した際の移動先を記載頂いた方は49人
- 二宮駅方面の人数は49人減少、月京国府方面の人数が、43人減少
減少した方が補助路線バスを利用できるような見直しが必要

青字:JR以外利用者の行き先と、人数※

緑字:JR利用者の行き先と、人数※

※人数は頻度関係なく、移動先として記載した人の数を合計した数字。複数方面記載された人はそれぞれの数字に含まれる



アンケート結果

グラフについて

【集計人数】

- ・全世代（回答いただいた全住民）の集計グラフ： 257 人分
- ・70歳未満の住民の集計グラフ： 159 人分
- ・70歳以上の住民の集計グラフ： 83 人分

※年代が不明な人については、全世代の集計グラフのみ、集計。

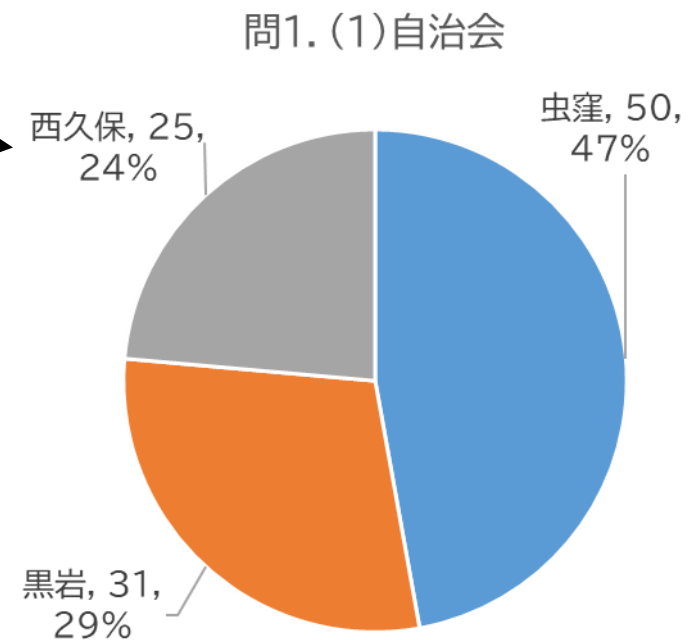
※各設問において、未回答の方がおり、割合の分母からは除いています。

【円グラフの読み方】

- ・項目名，人数，割合の順となっています。

例：西久保を選択された方が25世帯で、
全体の24%を占める。

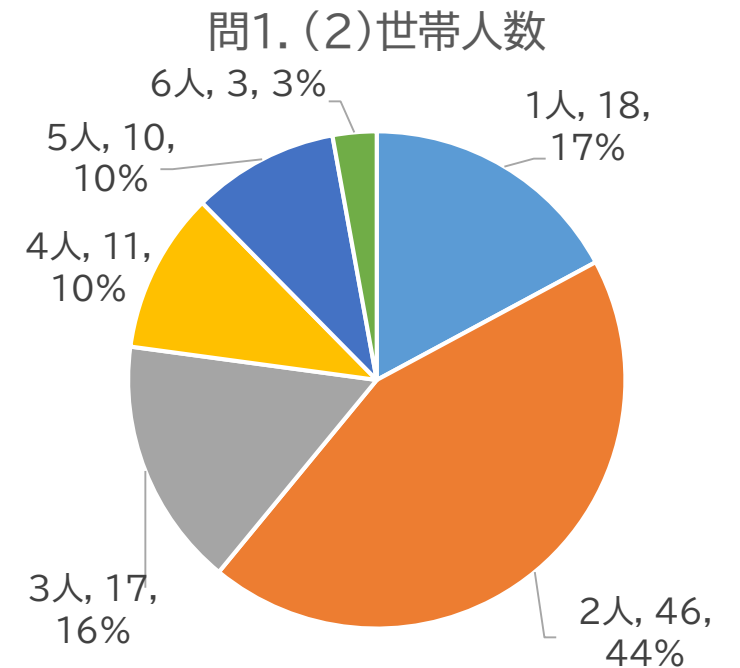
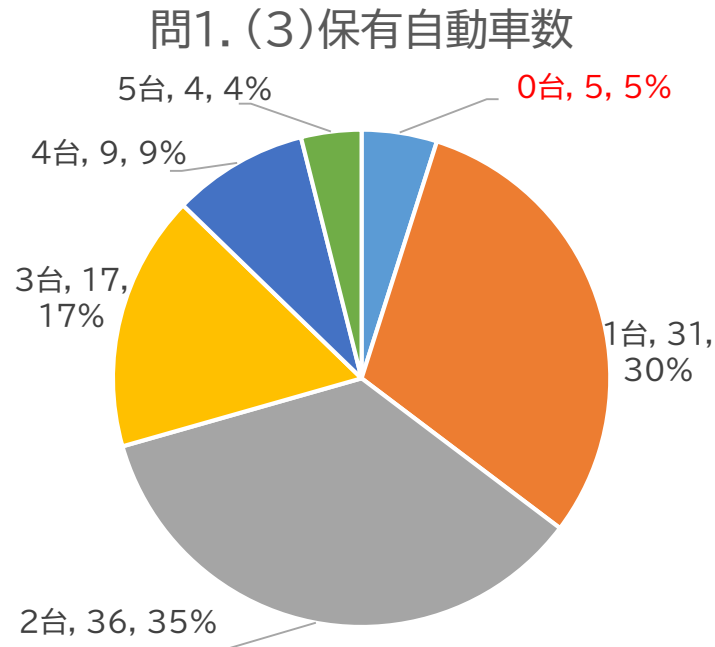
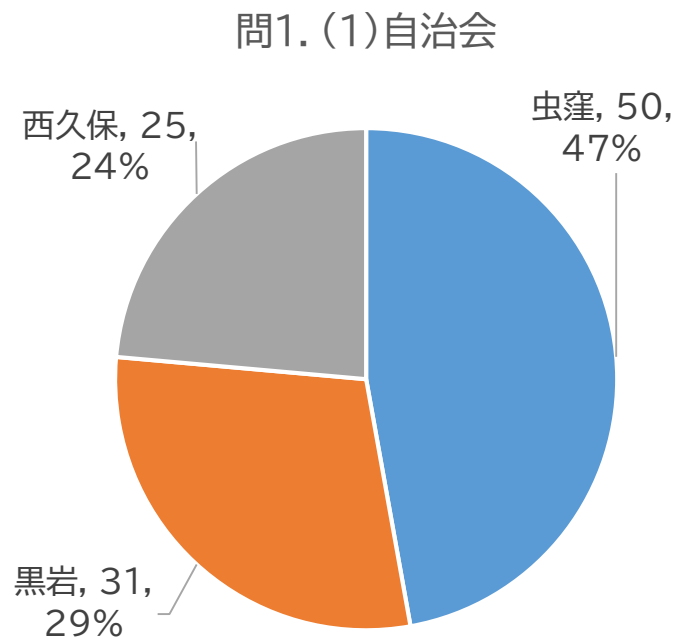
- ・各設問において、未記入の方がいる為、
割合は記入された方のみで計算しています。



問1. (1~3) 「自治会・世帯人数・保有自動車数」

- ・約半数が虫窪の住民の方であり、世帯数から考慮すると、偏りは少ない
- ・自動車が0台の世帯は5世帯。5世帯中、2世帯はバイク所有で、モビリティ未保有は3世帯

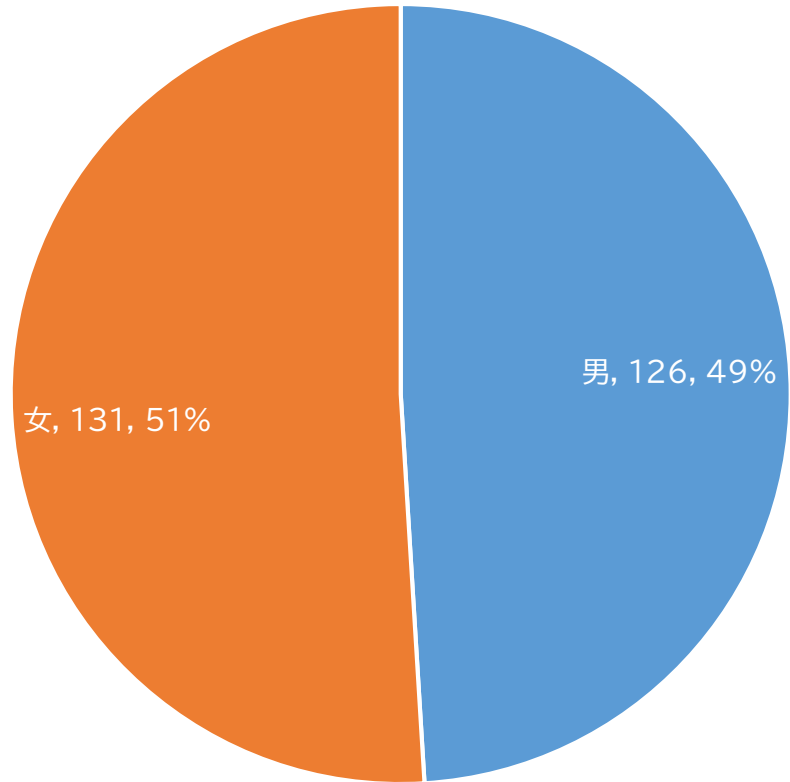
■全世代



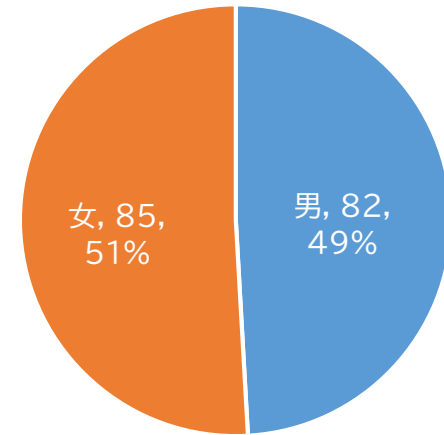
問2. ア 「性別」

・男女は半々

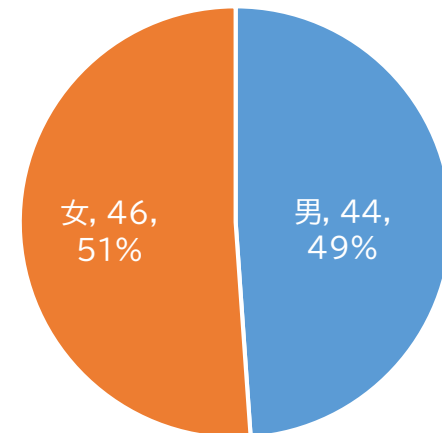
■全世代



■70歳未満



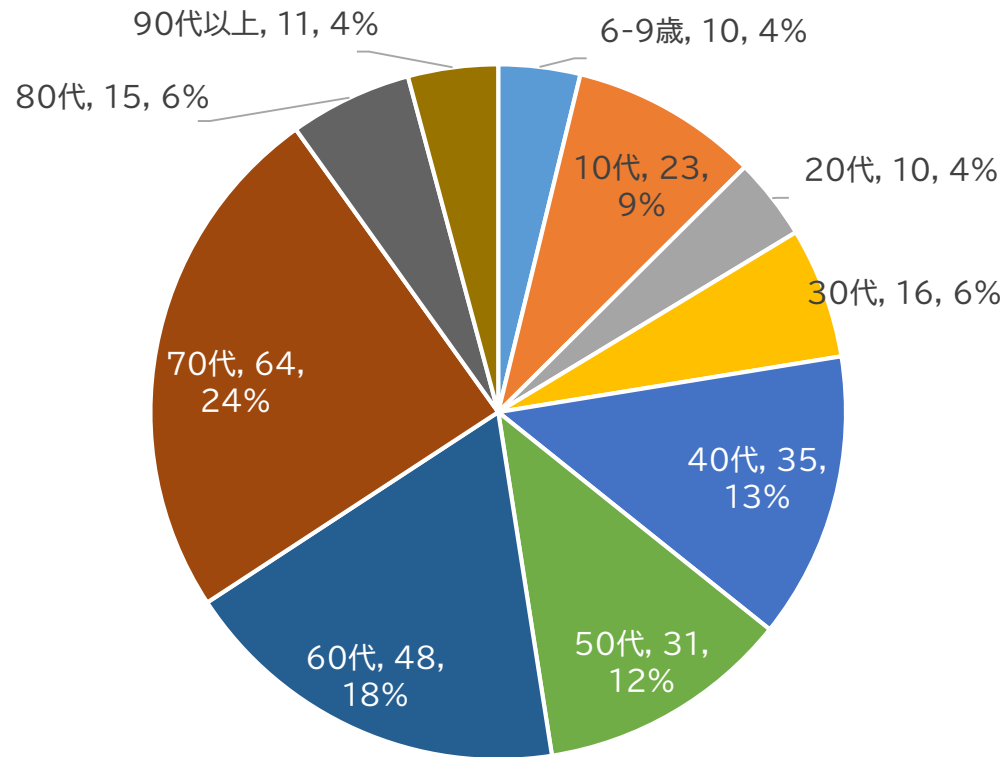
■70歳以上



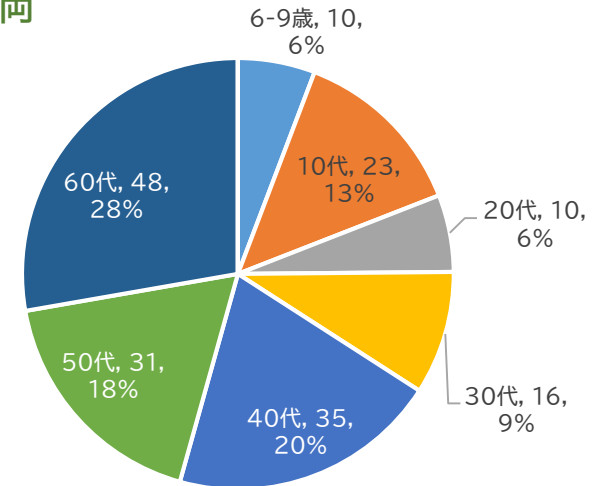
問2. イ 「年代」

・回答者は、約50%が60歳以上。70歳代の割合が一番大きい

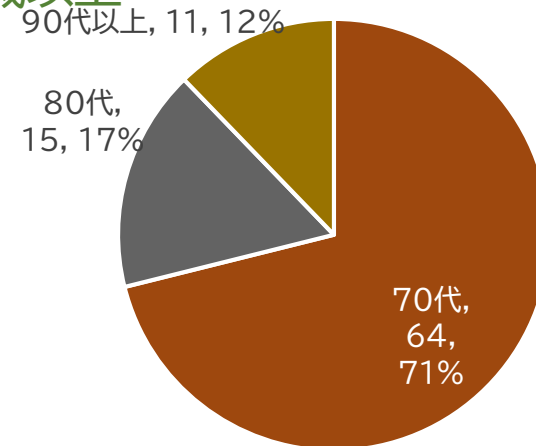
■全世代



■70歳未満



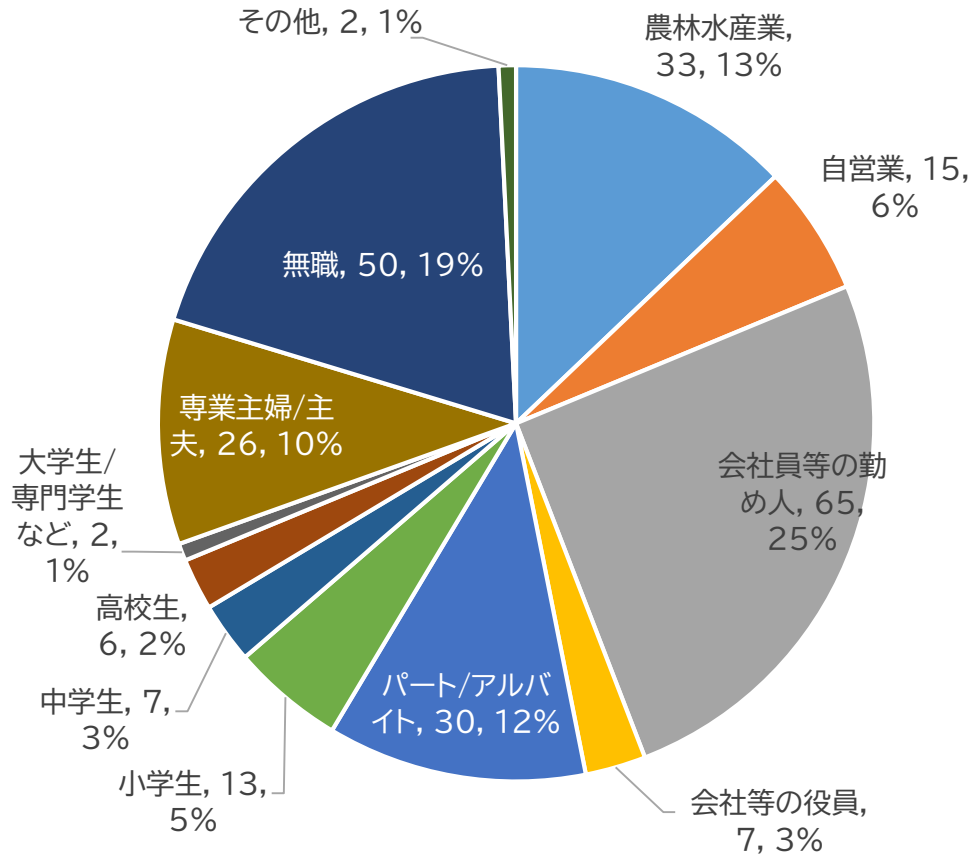
■70歳以上



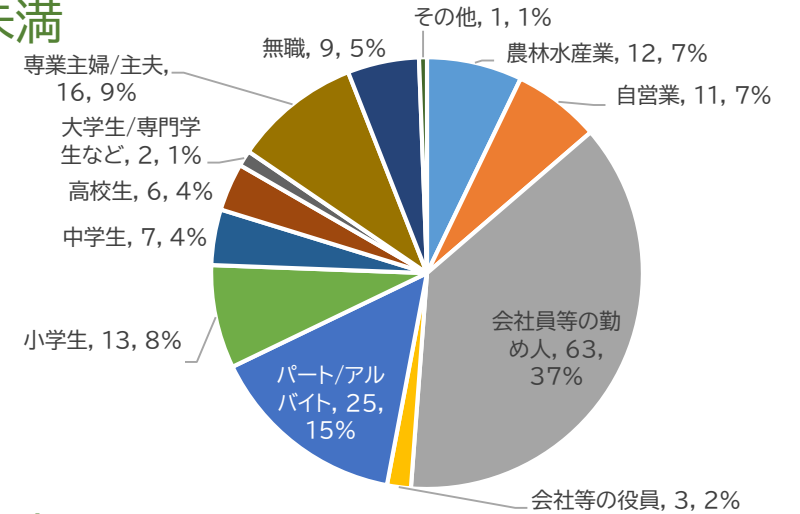
問2. ウ 「職業」

- ・ 移動の必然性がある人が約70%程度
- ・ 70歳以上では約40%程度に減少

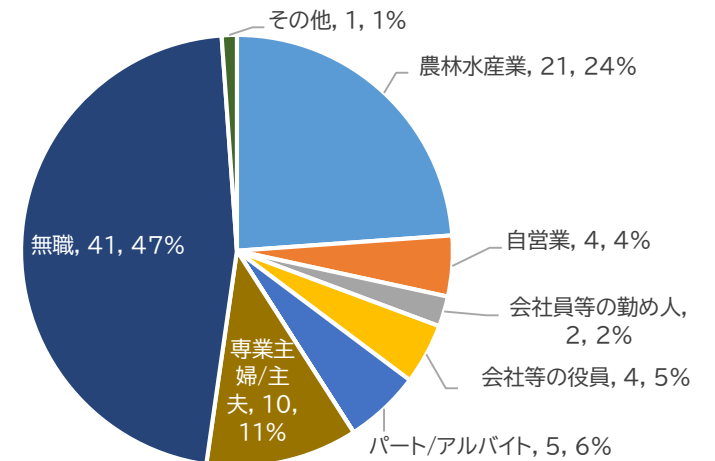
■ 全世代



■ 70歳未満



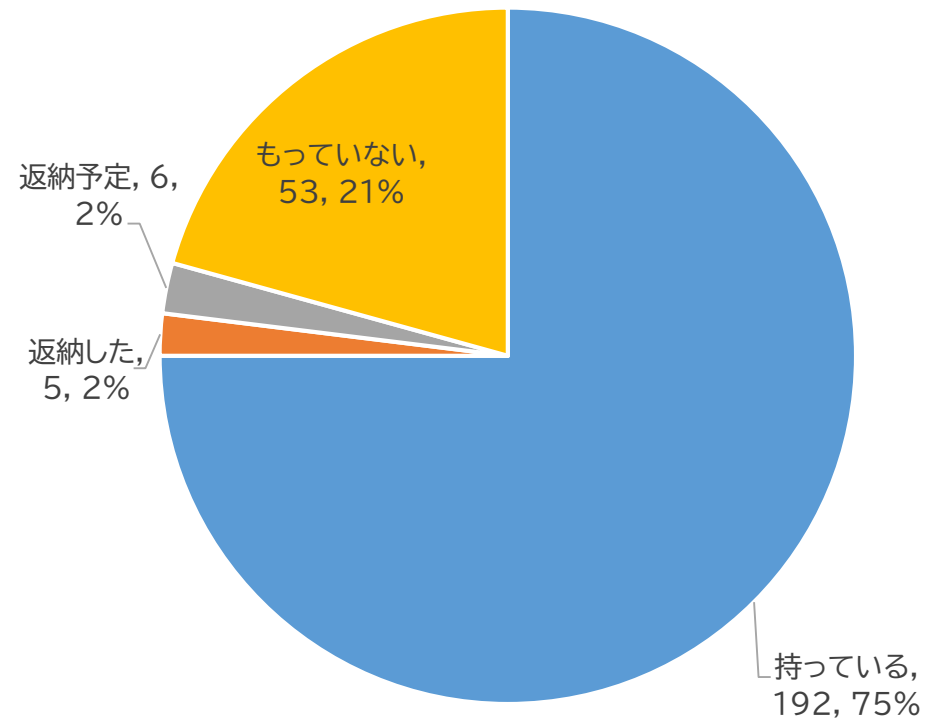
■ 70歳以上



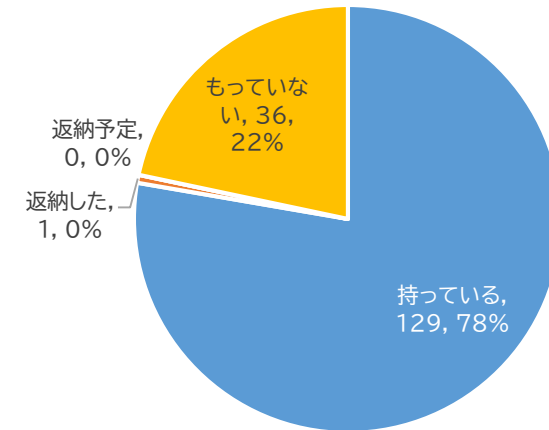
問2. 工 「免許保有」

- ・ 運転免許証の保有率は約75%と、全国平均（74.8%）と同程度

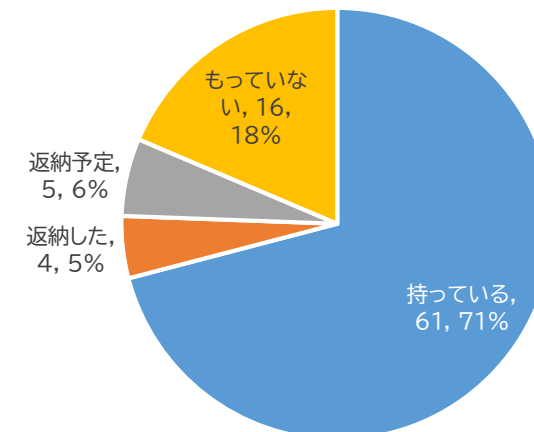
■ 全世代



■ 70歳未満



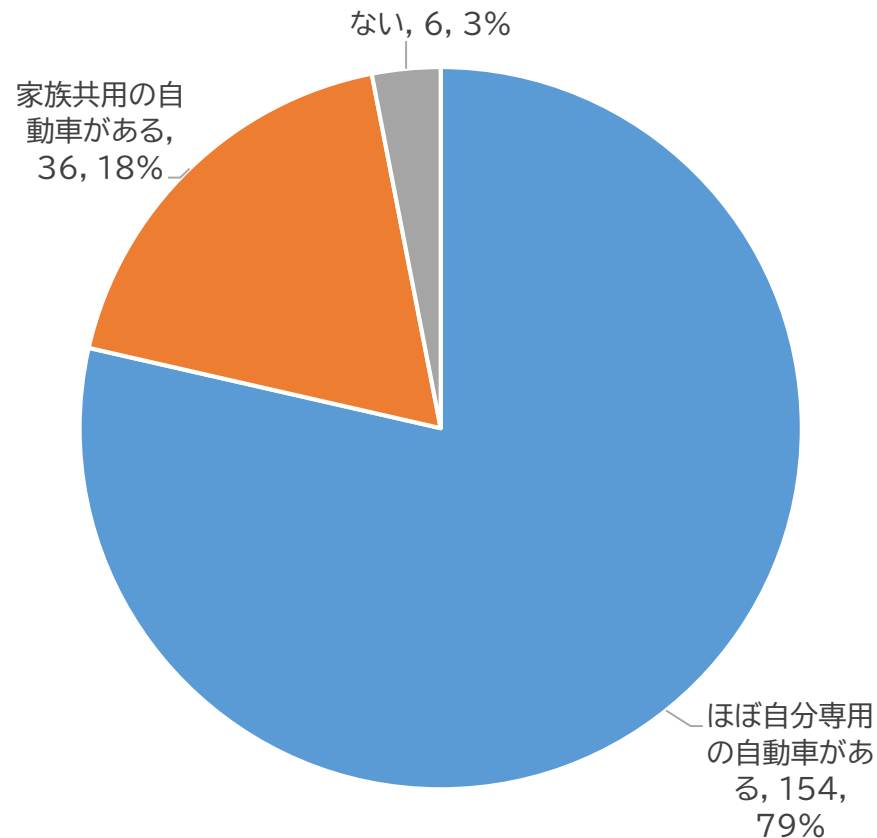
■ 70歳以上



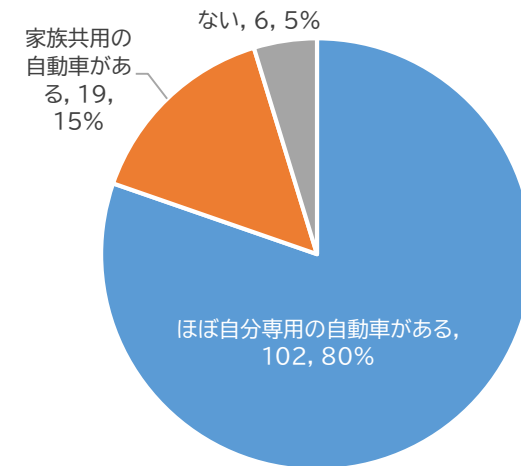
問2. オ 「自由に使える自動車の有無」

- ・ 運転免許を保有されている方の自分専用車の保有率は79%と高い
- ・ 運転免許を保有し、車が無い人は6人（3%）とかなり少ない

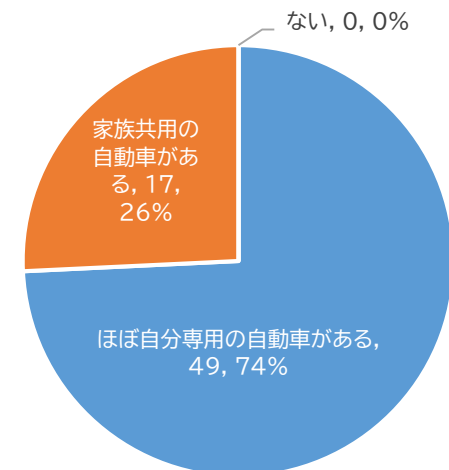
■全世代



■70歳未満



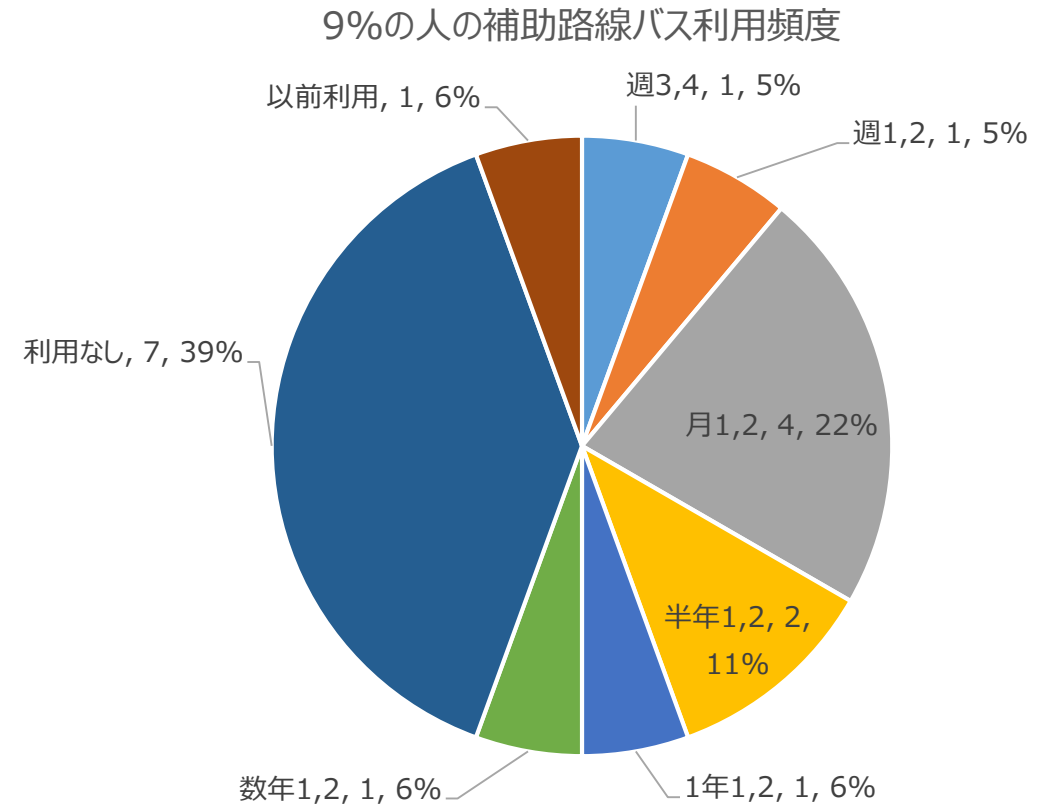
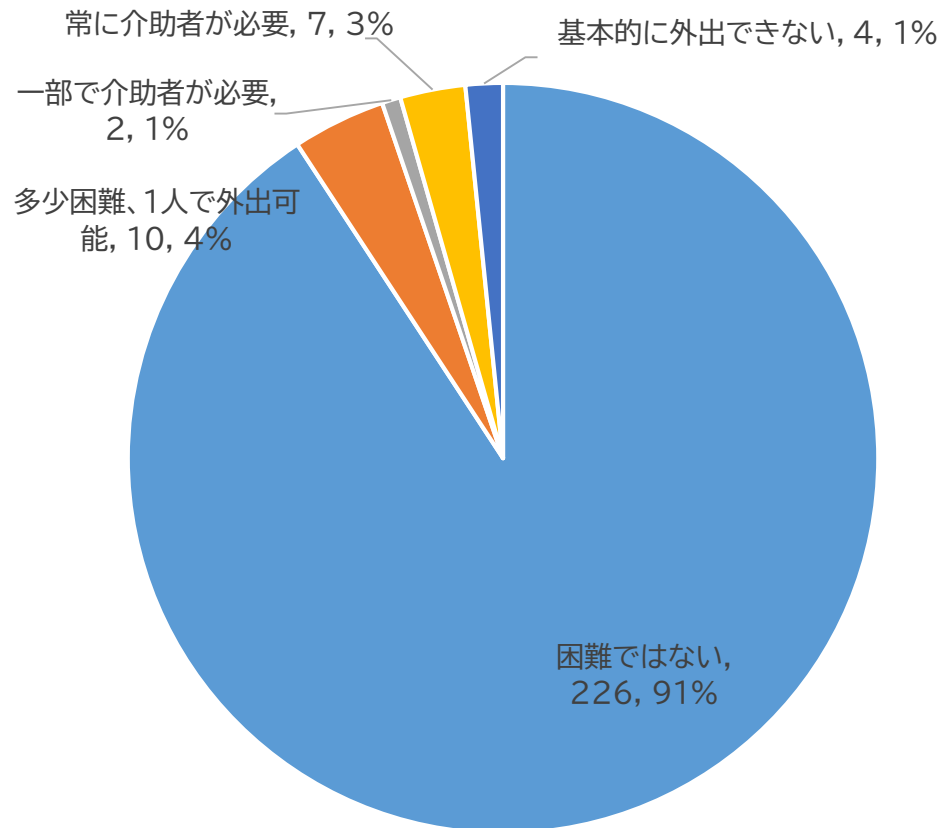
■70歳以上



問2. カ 「外出に関する身体的困難さ」 (1 / 2)

- ・ 9% (23人)の方が困難であり、その内、路線バスを週次で利用されている方は2人

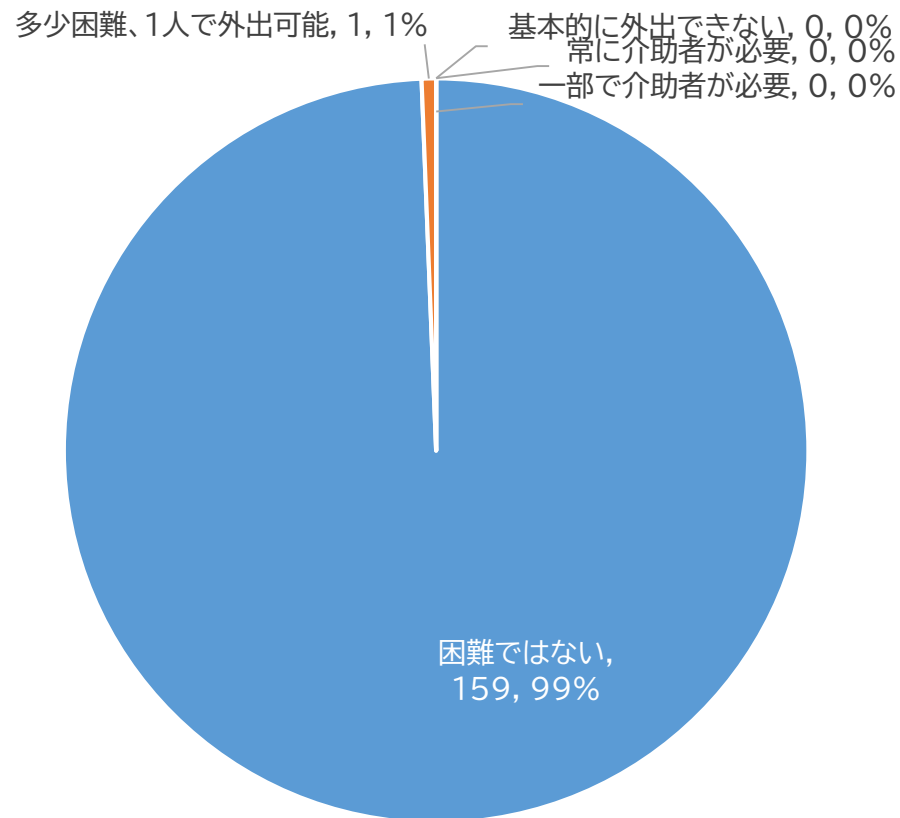
■ 全世代



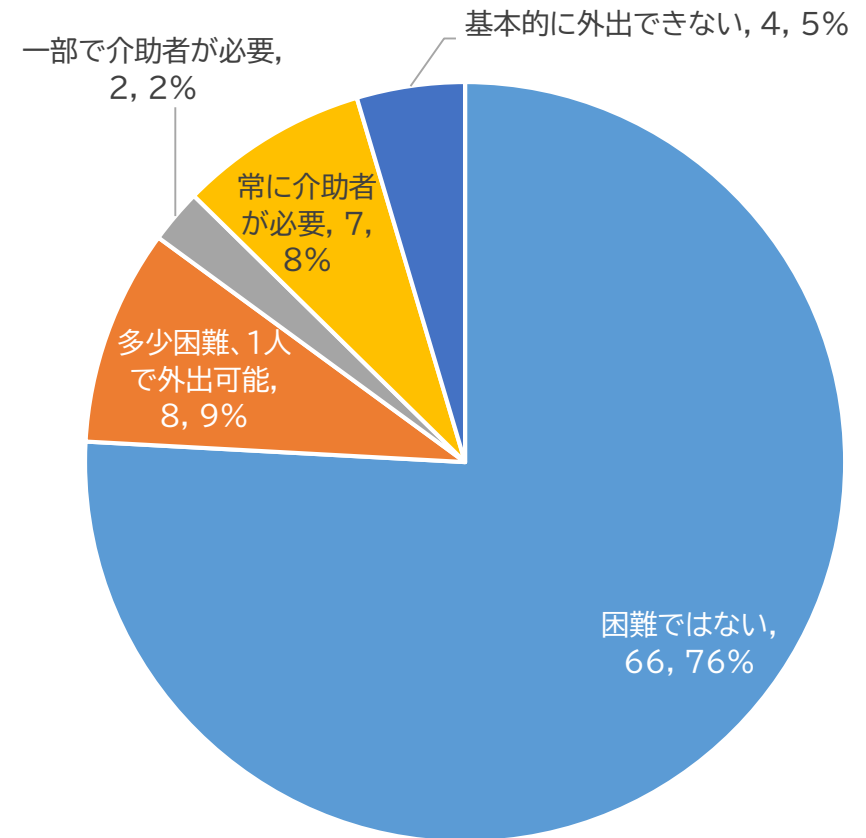
問2. カ 「外出に関する身体的困難さ」 (2/2)

- ・ 70歳以上では、困難な方の割合が24%に増加

■ 70歳未満



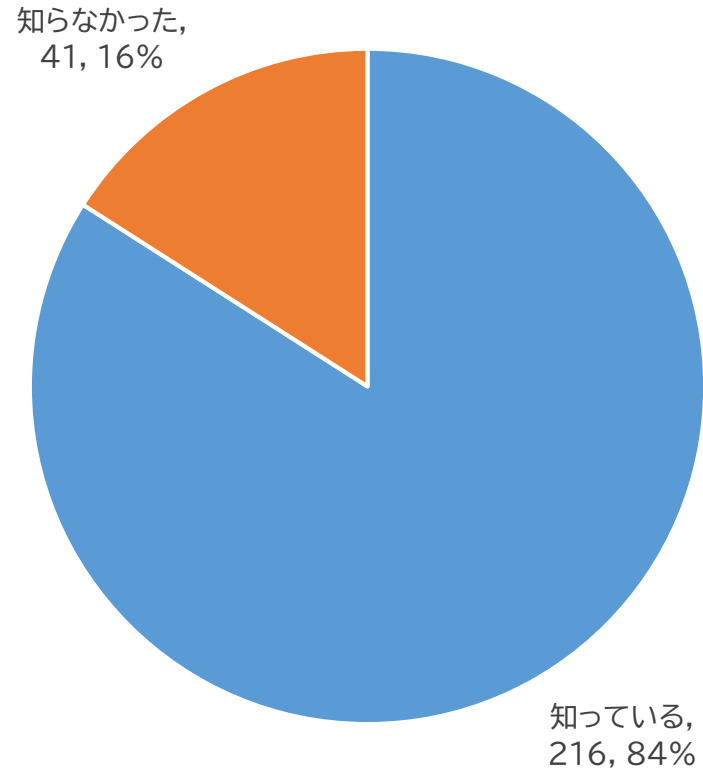
■ 70歳以上



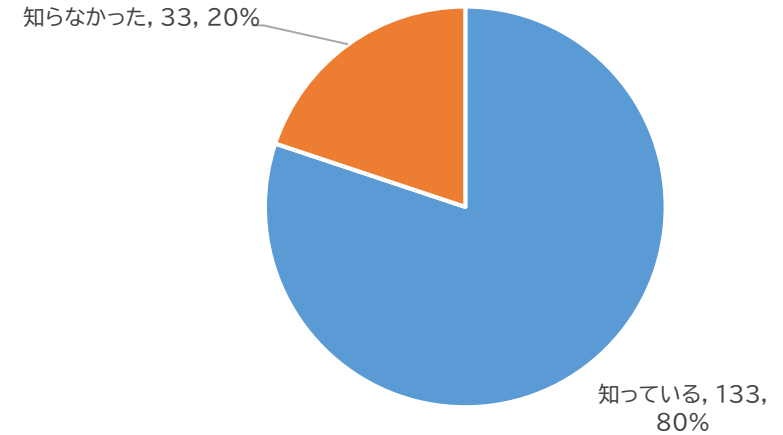
問3. (1) 「路線バス経費補助の認知」

- ・ 補助路線バスの認知は高い
- ・ 70歳以上は、ほとんどの方がご存知

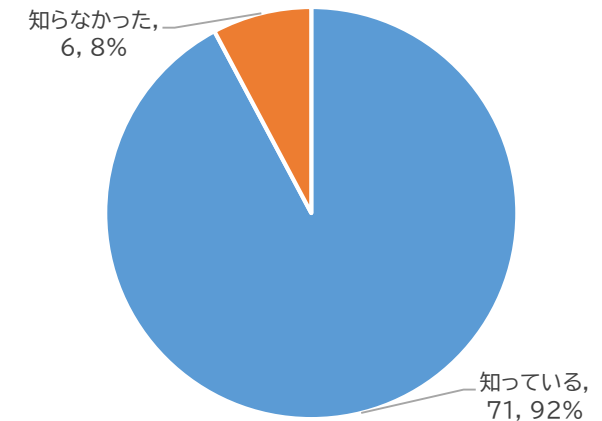
■ 全世代



■ 70歳未満



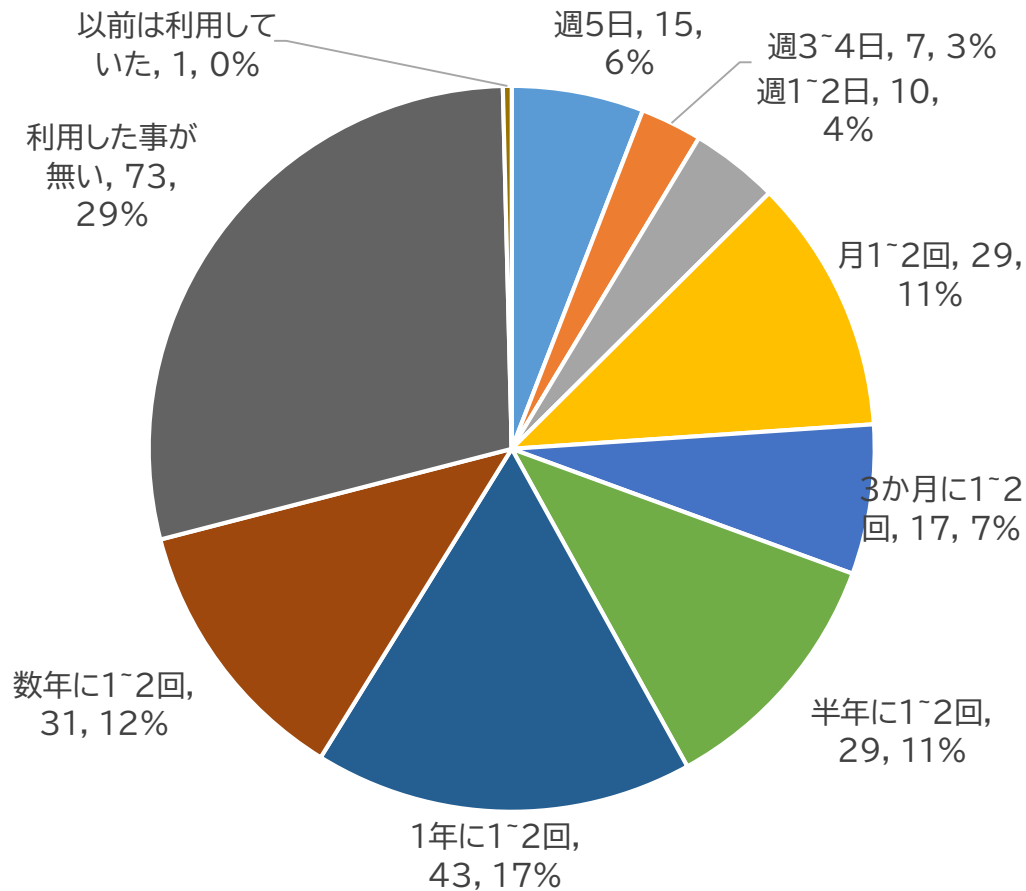
■ 70歳以上



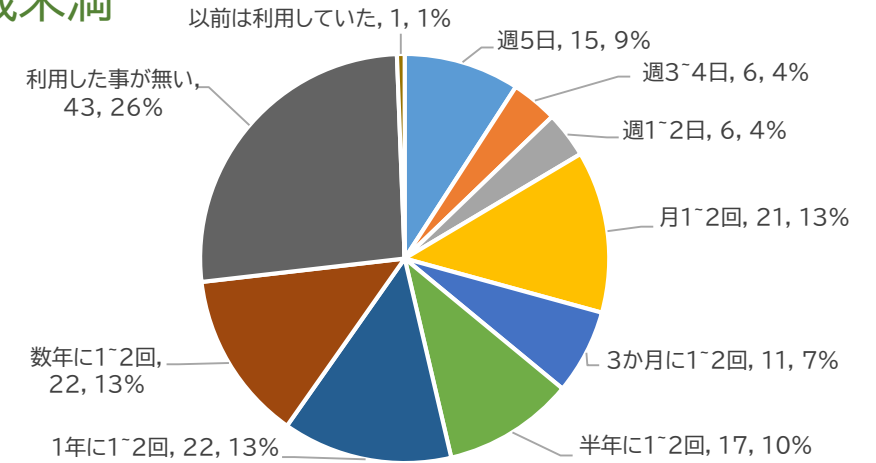
問3. (2) 「路線バスの利用状況」

- ・ 全世代では、週1～2回以上の利用者は、32人（13%）
- ・ 70歳以上では、週1～2回以上の利用者は、2人（3%）

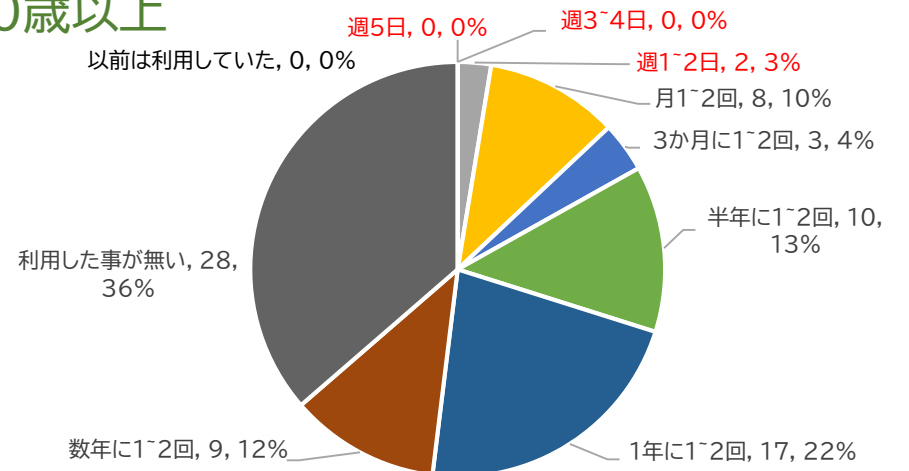
■全世代



■70歳未満



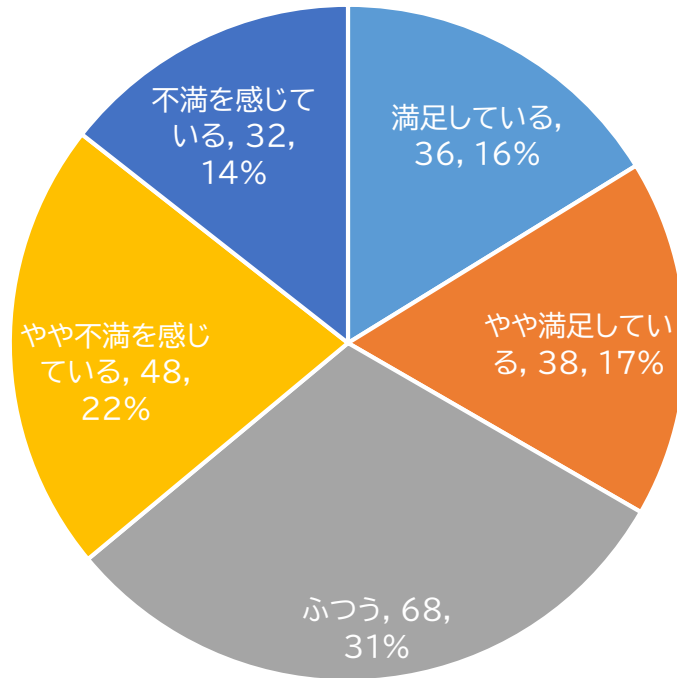
■70歳以上



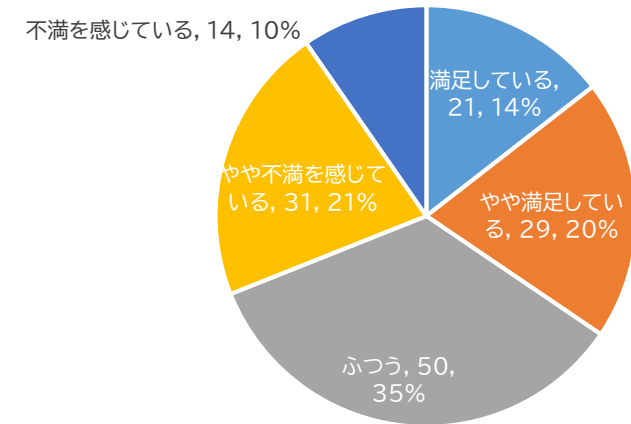
問3. (3) 「路線バスへの満足度」

- ・満足・ふつうと回答された方が64%占める
- ・利用頻度との関連性は次ページ

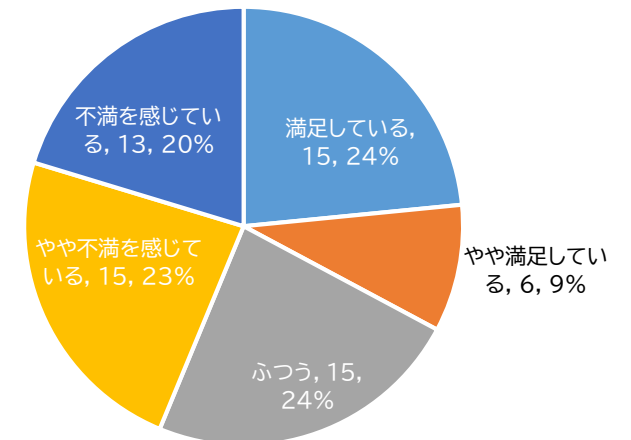
■全世代



■70歳未満



■70歳以上

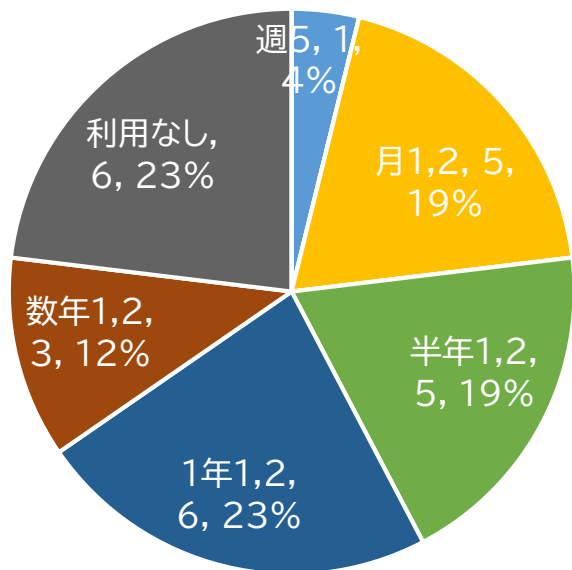


問3. (3) 「路線バスへの満足度」 利用頻度の関係性

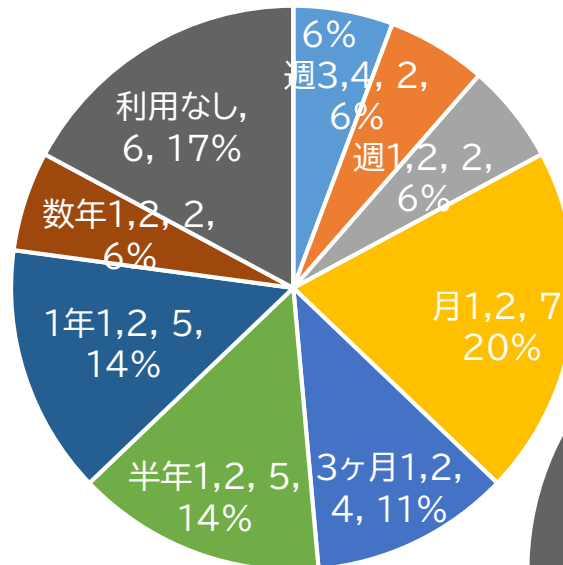
・不満を感じている人は、利用頻度が低く、満足を感じている人は、利用頻度が高い傾向がみられる生活に合っているから満足しており、生活に合っていないから不満を感じていると考えられる

■全世代

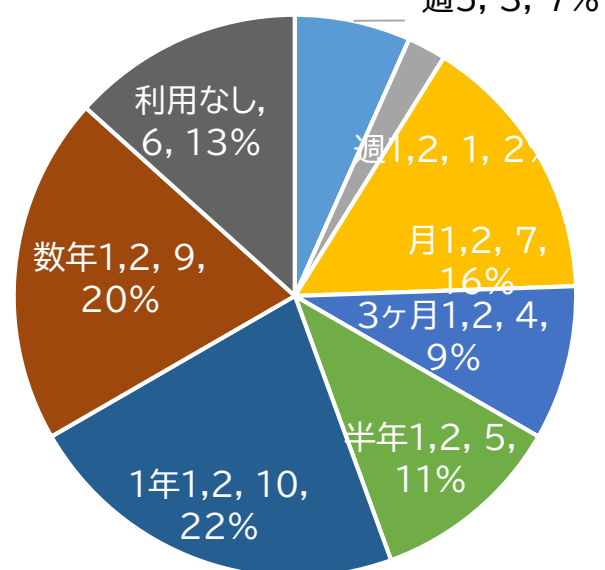
不満を感じている人の利用頻度



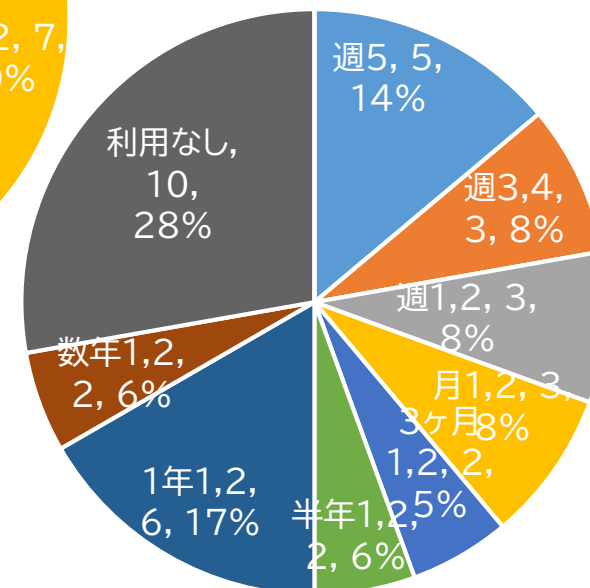
やや満足を感じている人の利用頻度



やや不満を感じている人の利用頻度



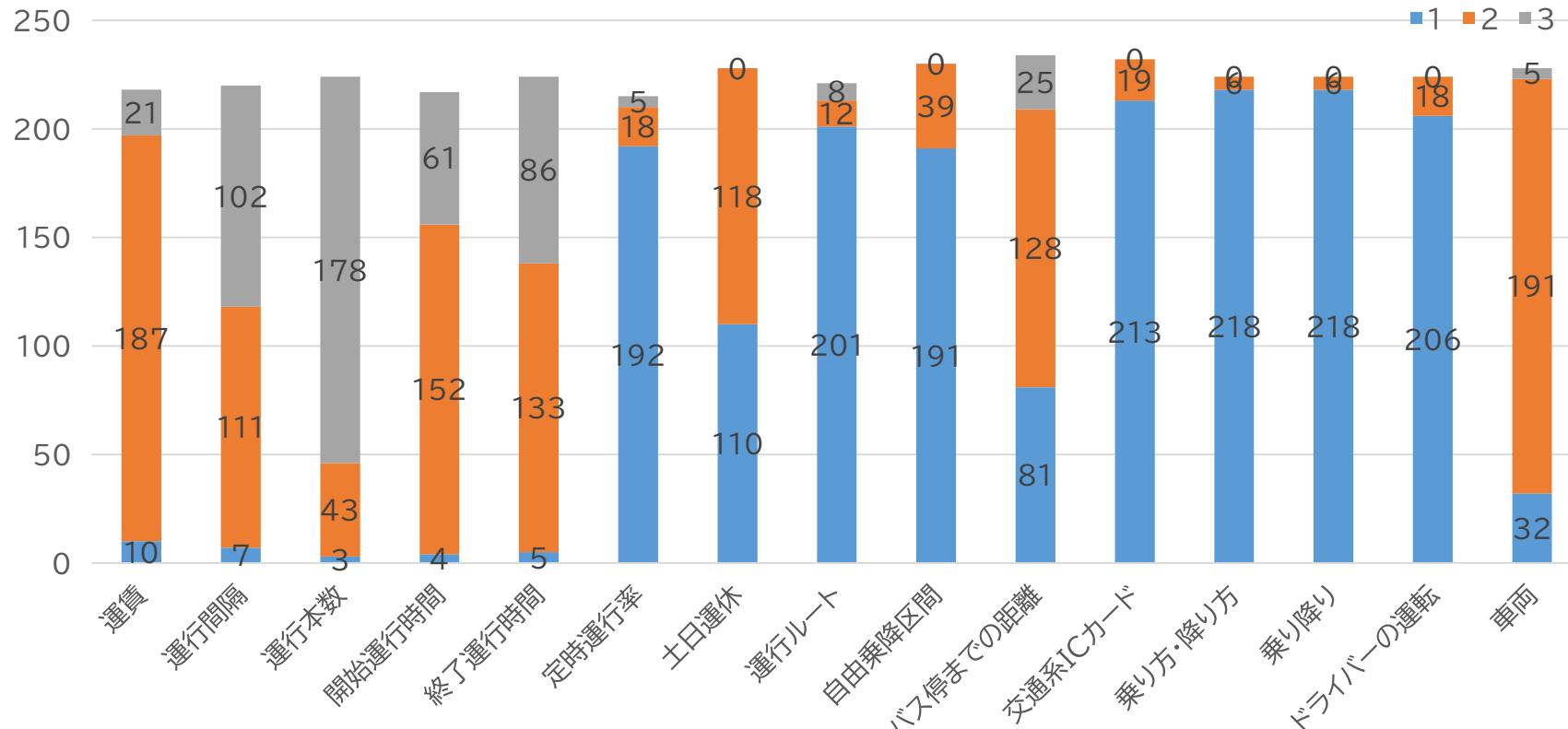
満足を感じている人の利用頻度



問3. (4) 「路線バスのサービスレベル」 全世代

- ・ サービスレベルでは、「運行ルート」「交通系ICカード」が評価が高い
- ・ 評価が低い点は、「運行本数」が多く、「土日運行」を希望される方が半数に上る

■ 全世代

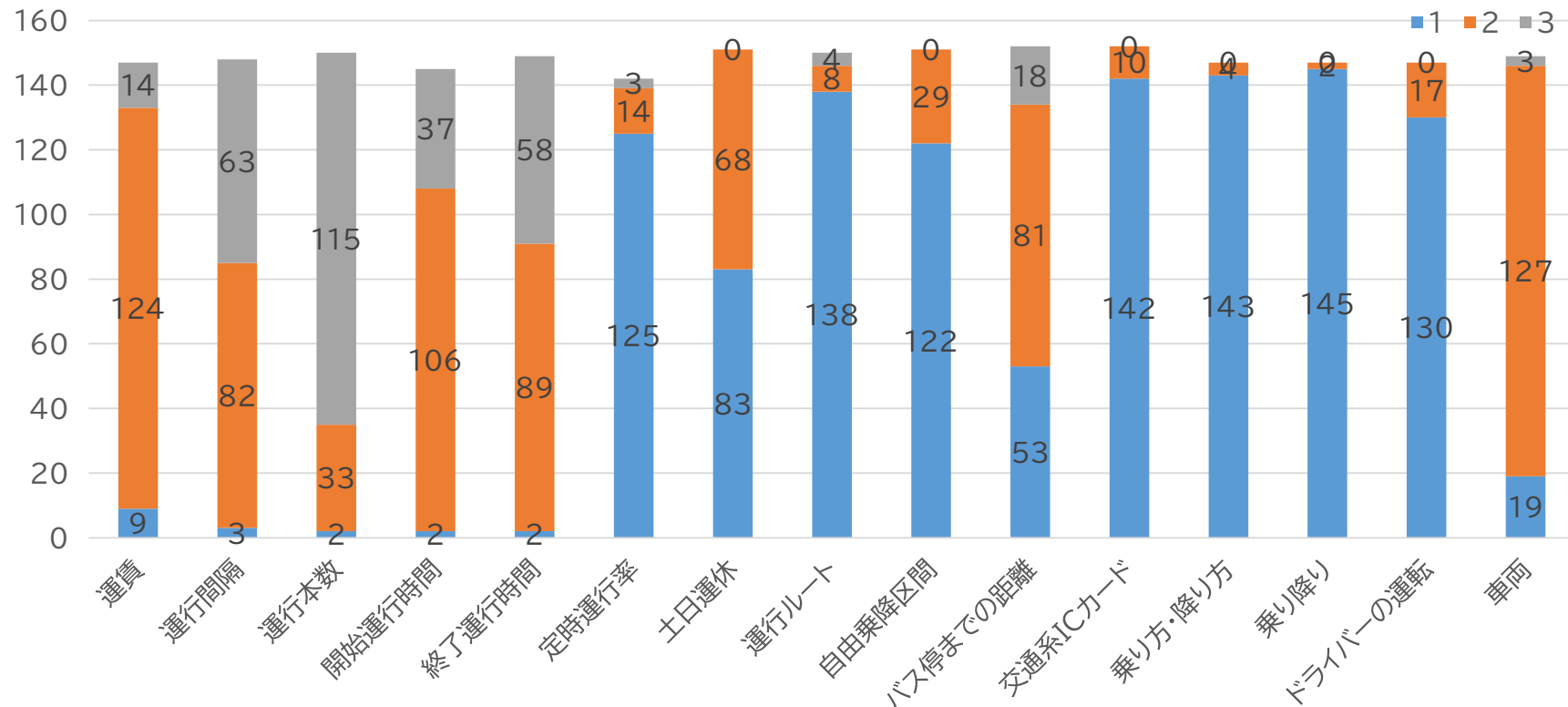


3:	高い	長い	少ない	遅い	早い	早い時	追加希望		遠い					小さい	
2:	中	中	中	中	中	遅れる	運行希望	不要あり	無くて中	無くて中	難	難	荒い時	丁度良い	
1:	安い	短い	多い	早い	遅い	ほぼ定刻	運休	問題無い	便利	近い	便利	問題無い	問題無い	問題無い	大きい

問3. (4) 「路線バスのサービスレベル」 70歳未満

・70歳未満の分布もあまり変わらない

■70歳未満

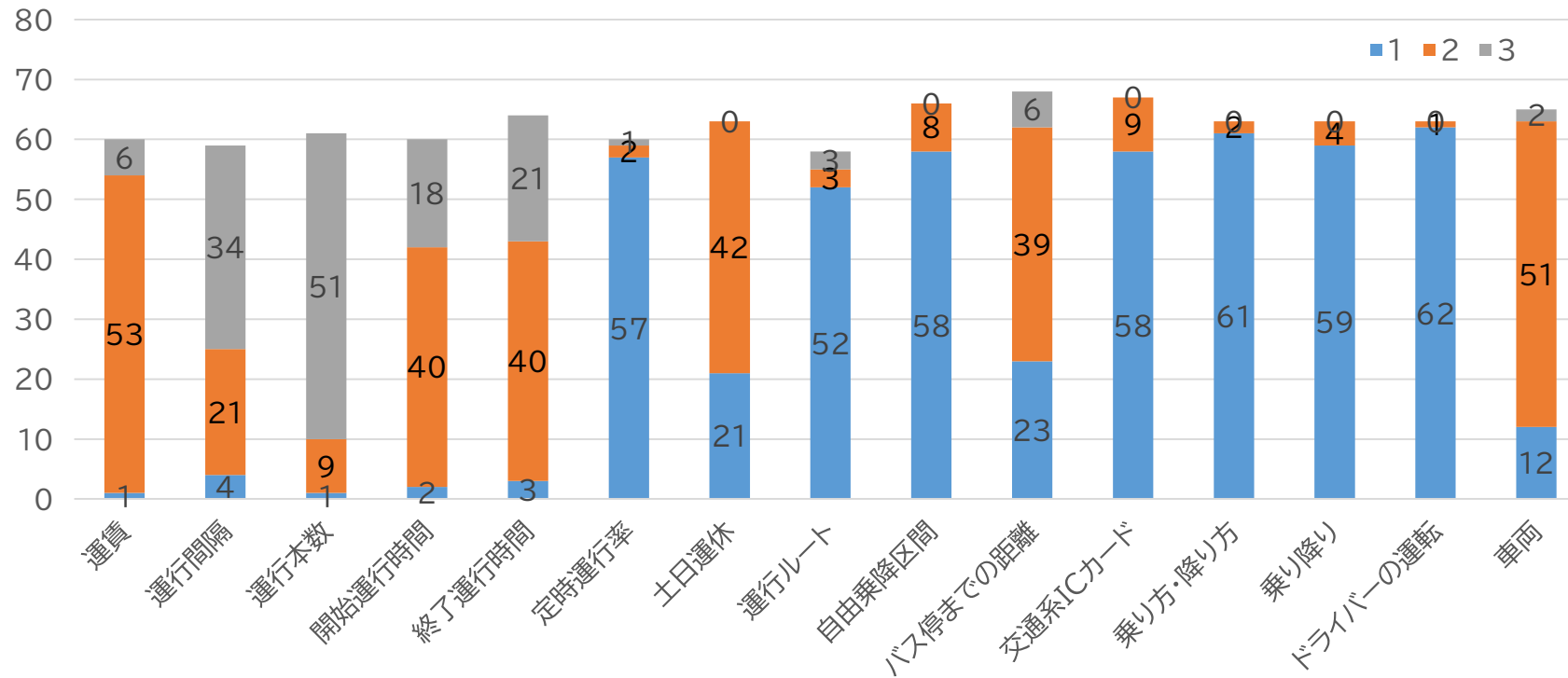


3:	高い	長い	少ない	遅い	早い	早い時	追加希望		遠い					小さい	
2:	中	中	中	中	中	遅れる	運行希望	不要あり	無くても	中	無くても	難	難	荒い時	丁度良い
1:	安い	短い	多い	早い	遅い	ほぼ定刻	運休	問題無い	便利	近い	便利	問題無い	問題無い	問題無い	大きい

問3. (4) 「路線バスのサービスレベル」 70歳以上

- ・ 70歳以上の分布もあまり変わらない
- ・ 土日運休について、運行希望者の割合が増加

■70歳以上



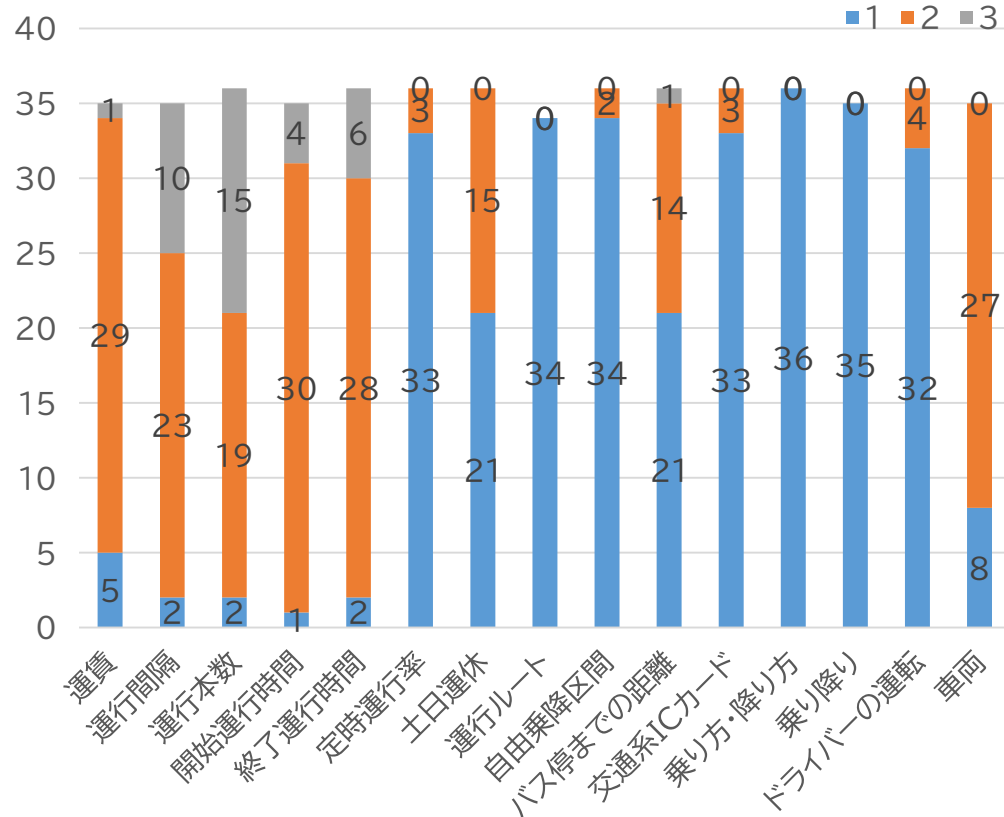
3:	高い	長い	少ない	遅い	早い	早い時	追加希望		遠い					小さい	
2:	中	中	中	中	中	遅れる	運行希望	不要あり	無くて中	無くて中	難	難	荒い時	丁度良い	
1:	安い	短い	多い	早い	遅い	ほぼ定刻	運休	問題無い	便利	近い	便利	問題無い	問題無い	問題無い	大きい

問3. (4) 「路線バスのサービスレベル」 満足の方

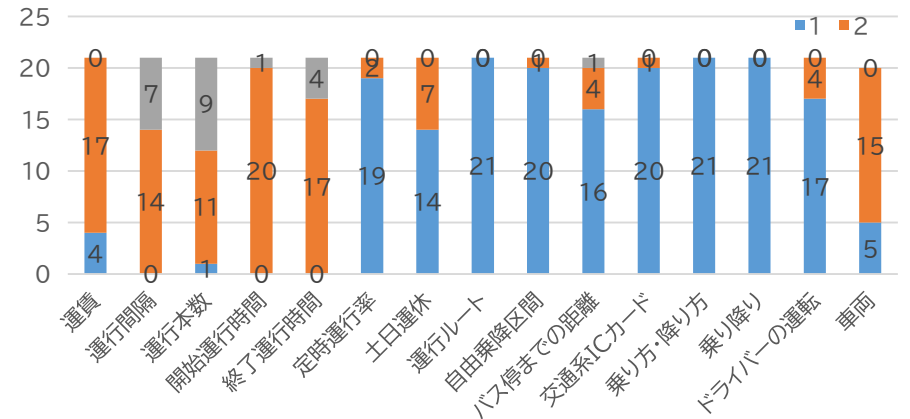
※問3. (3) 「路線バスへの満足度」で、満足を感じていると回答された方のみで集計

・満足の方でも、「運行本数」「運行間隔」「開始・終了運行時間」について、不満を感じている方が多い

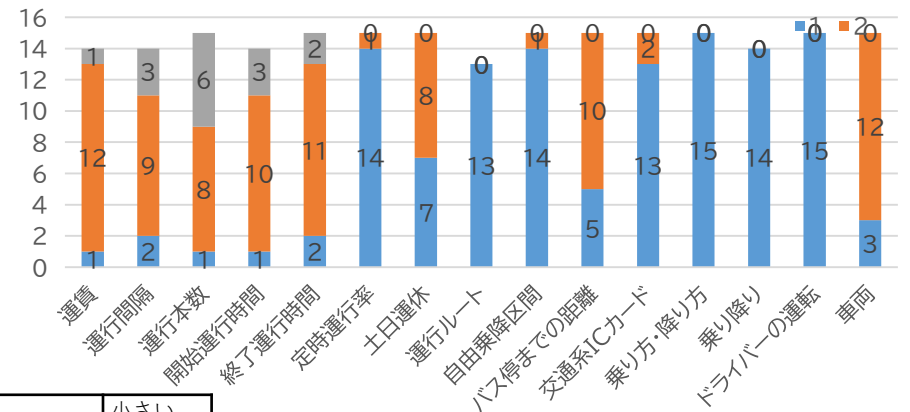
■全世代



■70歳未満



■70歳以上



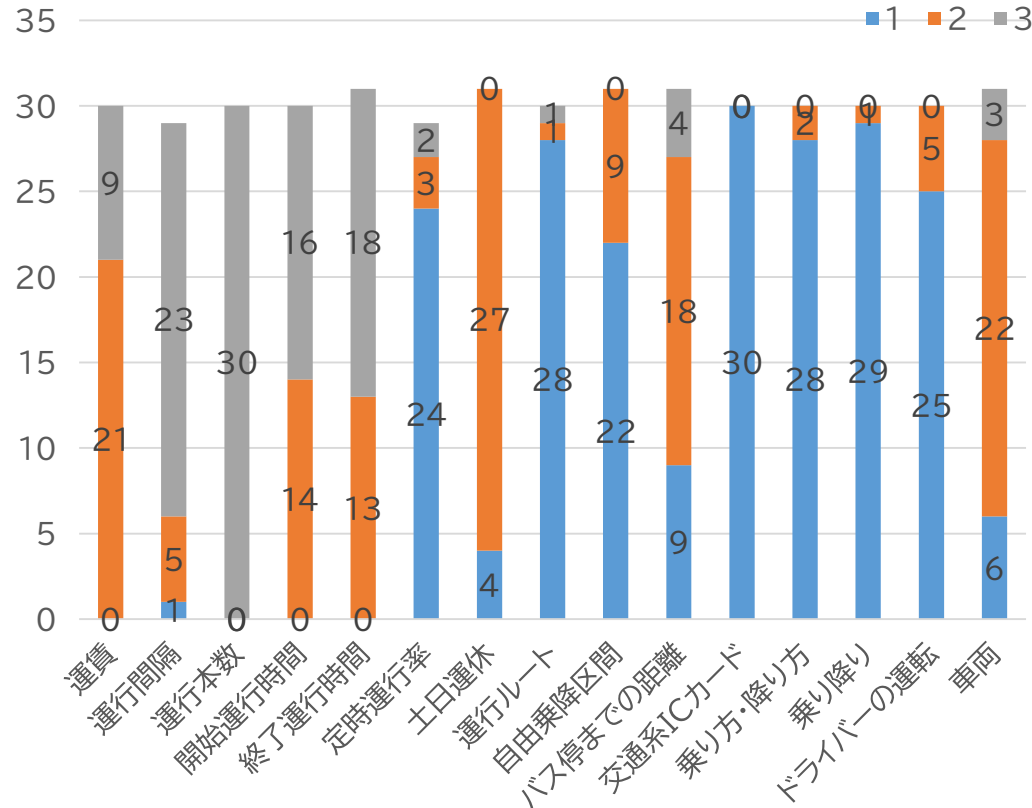
3:	高い	長い	少ない	遅い	早い	早い時		追加希望		遠い					小さい
2:	中	中	中	中	中	遅れる	運行希望	不要あり	無くても	中	無くても	難	難	荒い時	丁度良い
1:	安い	短い	多い	早い	遅い	ほぼ定刻	運休	問題無い	便利	近い	便利	問題無い	問題無い	問題無い	大きい

問3. (4) 「路線バスのサービスレベル」 不満の方

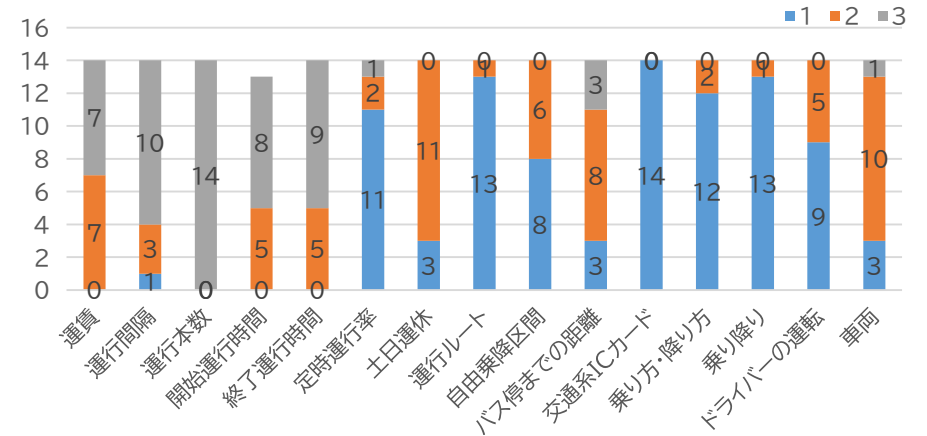
※問3. (3) 「路線バスへの満足度」で、不満を感じていると回答された方のみで集計

- ・不満の方は全員が「運行本数」を問題視。「土日運休」「間隔」「開始・終了運行時間」が続く
- ・70歳未満は「運賃」、「バス停までの距離」の不満が多い

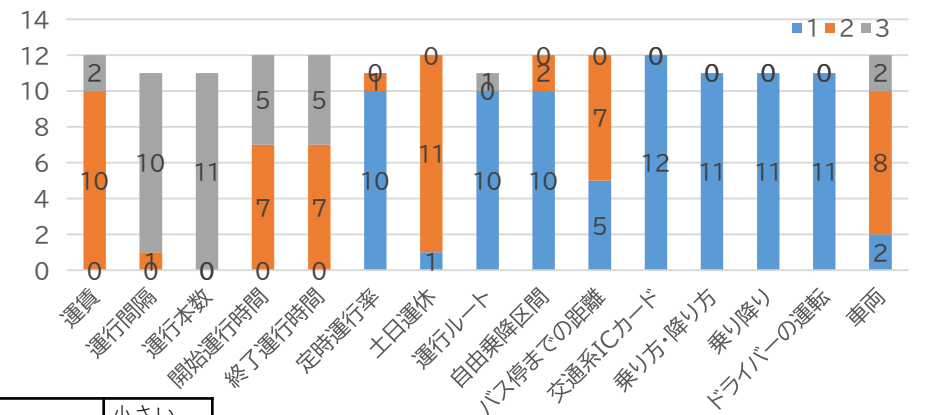
■全世代



■70歳未満



■70歳以上

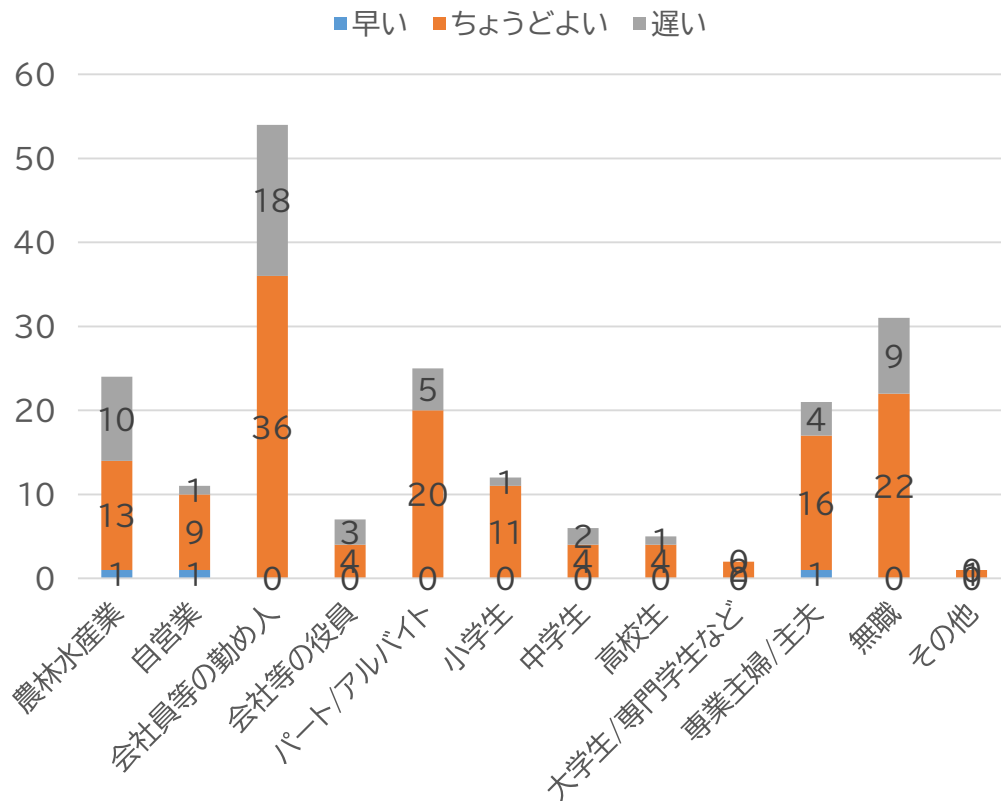


3:	高い	長い	少ない	遅い	早い	早い時		追加希望		遠い				小さい
2:	中	中	中	中	中	遅れる	運行希望	不要あり	無くても	中	無くても	難	難	荒い時
1:	安い	短い	多い	早い	遅い	ほぼ定刻	運休	問題無い	便利	近い	便利	問題無い	問題無い	問題無い

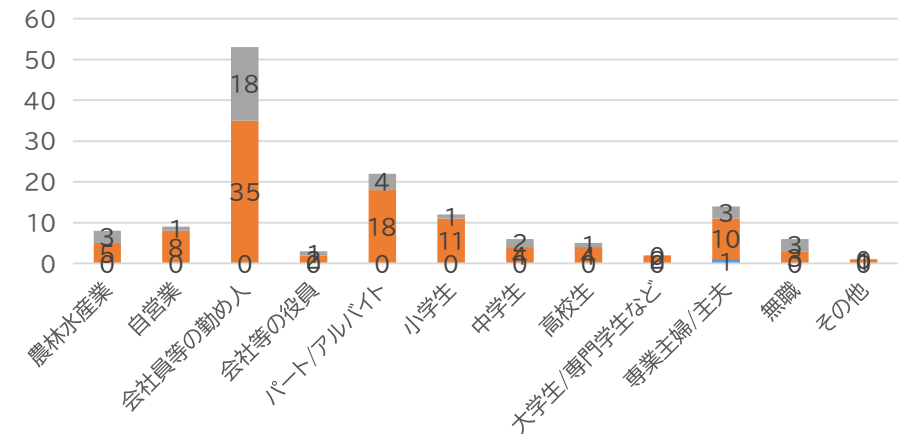
開始運行時間のサービスレベルと就業の関係性

・開始運行時間が遅いと思う人は、会社員(18人)、農林水産業(10人)、無職(9人)の順に多い

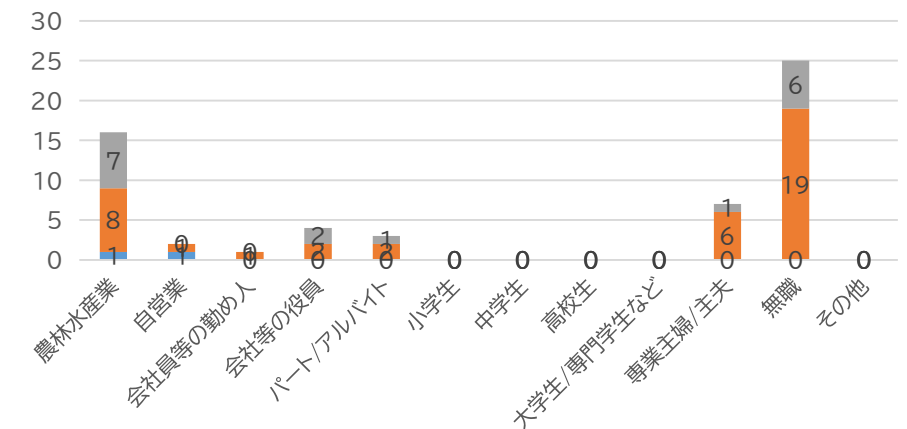
■全世代



■70歳未満



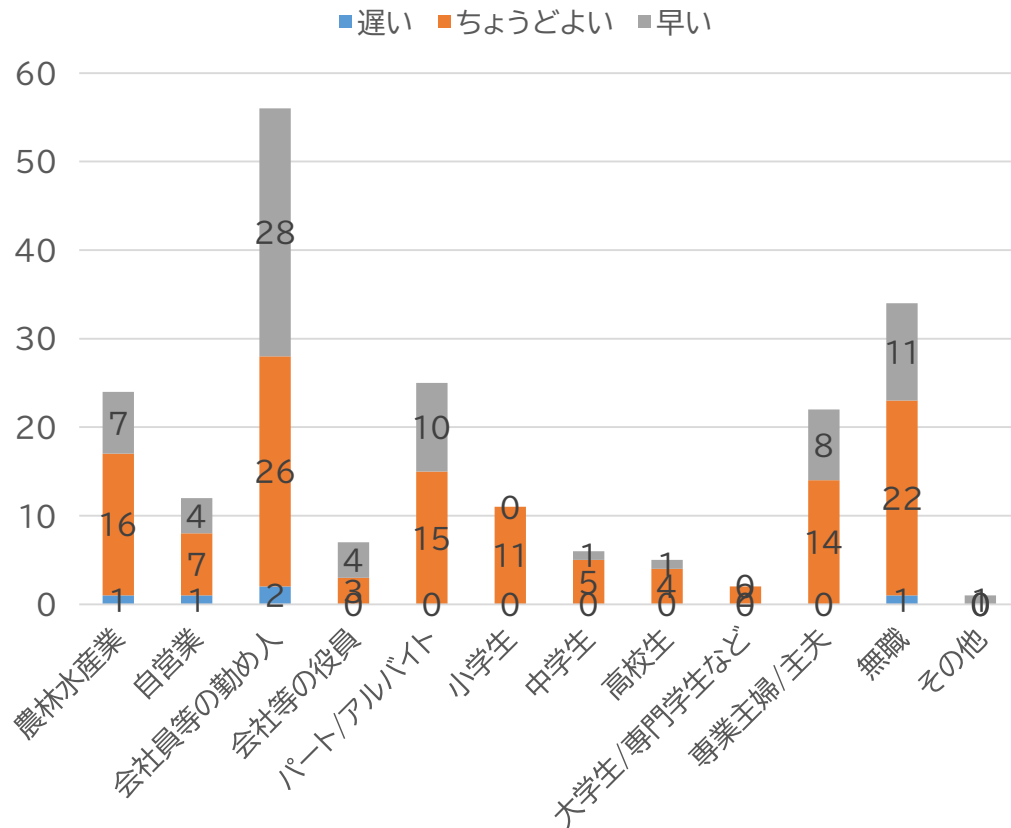
■70歳以上



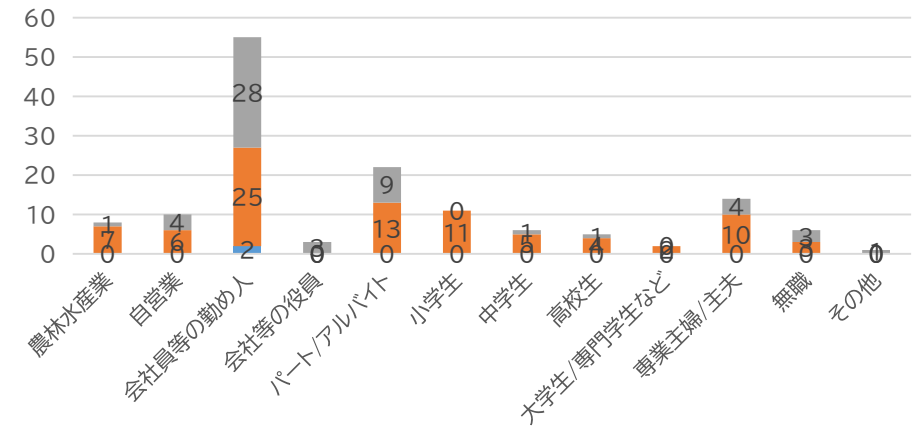
終了運行時間のサービスレベルと就業の関係性

- ・開始運行時間と比較し、会社員、パートアルバイト、専業主婦/主夫の不満を感じている人が増加
- ・終了が早いと思う人は、会社員(28人)、無職(11人)、パート/アルバイト(10人)の順に多い

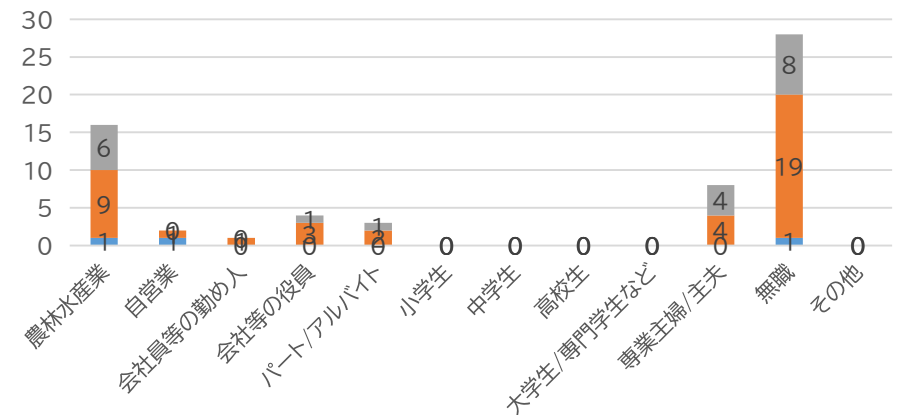
■全世代



■70歳未満



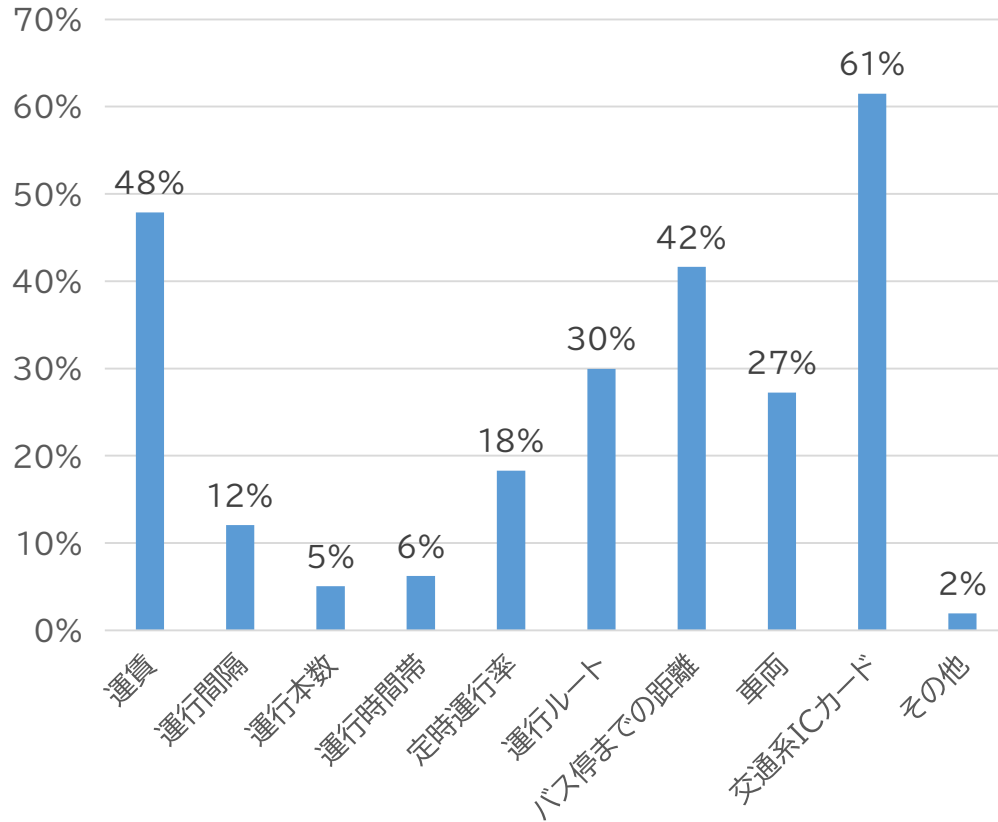
■70歳以上



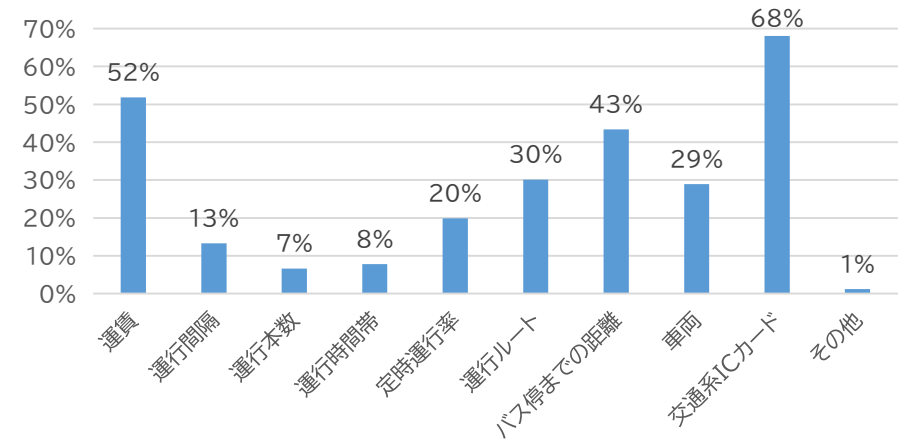
問3. (5) 「満足と感じているところ」

- ・全体では、「交通系ICカード利用」「運賃」「バス停までの距離」の順で満足
- ・70歳以上は、満足度合が全体と比べて低い

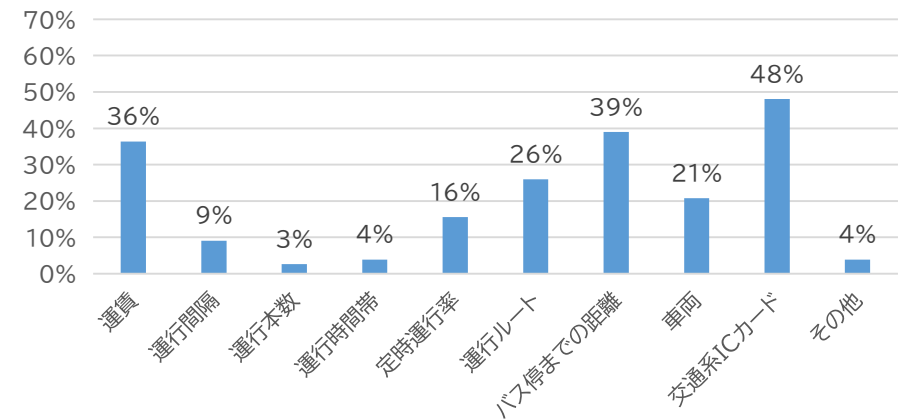
■全世代



■70歳未満



■70歳以上

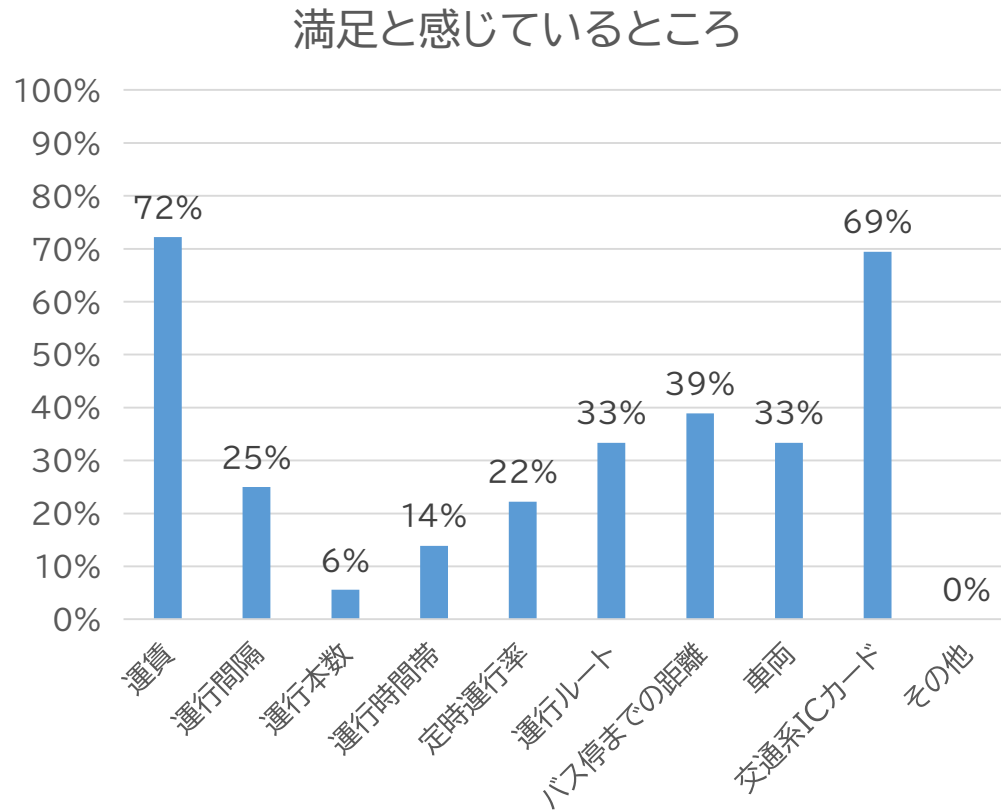


問3. (5) 「満足と感じているところ」 満足の方

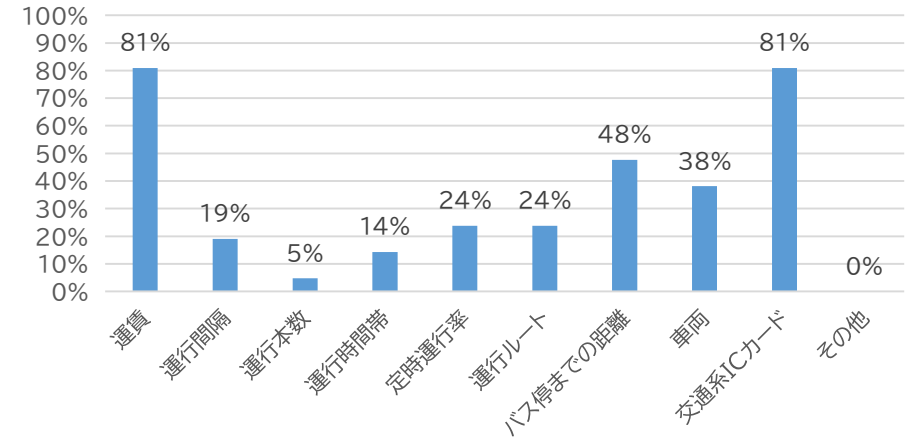
※問3. (3) 「路線バスへの満足度」で、満足を感じていると回答された方で集計

- ・「運賃」が一番満足している結果、次いで「交通系ICカード」
- ・70歳以上は「運行ルート」が高く、生活導線に合っているからと考える

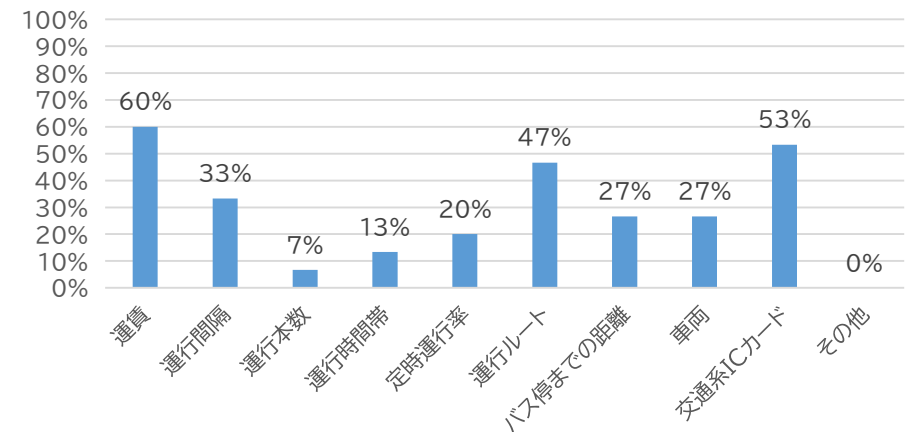
■全世代



■70歳未満



■70歳以上



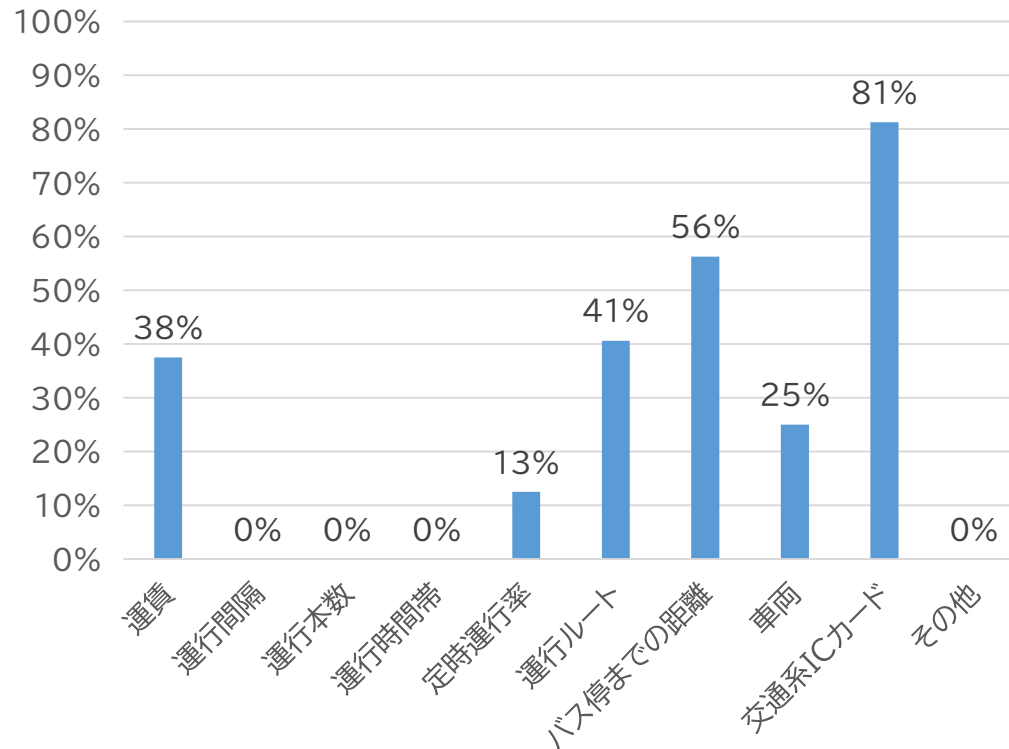
問3. (5) 「満足と感じているところ」 不満の方

※問3. (3) 「路線バスへの満足度」で、不満を感じていると回答された方で集計

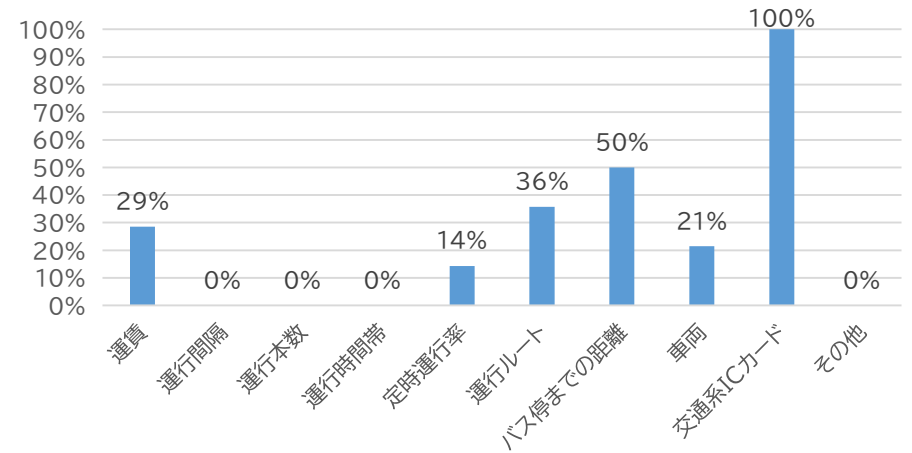
- ・「交通系ICカード」は不満の方でも納得の便利さのポイント
- ・「バス停までの距離」も満足しており、バス停配置＋自由乗降区間は現状のままで良さそう

■全世代

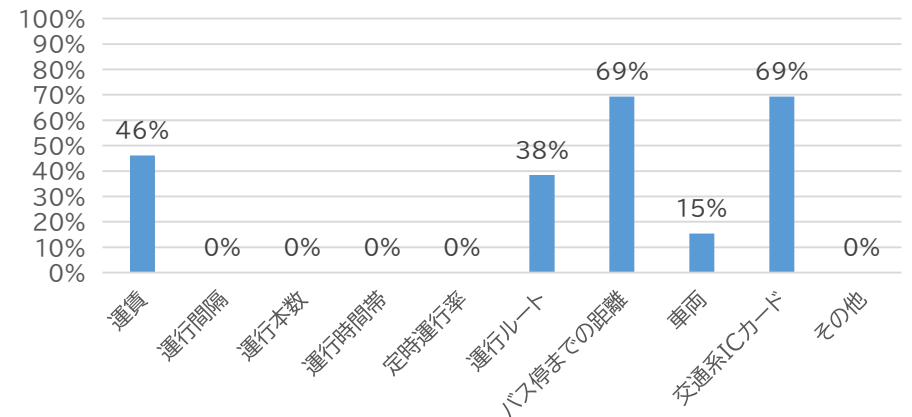
満足と感じているところ



■70歳未満



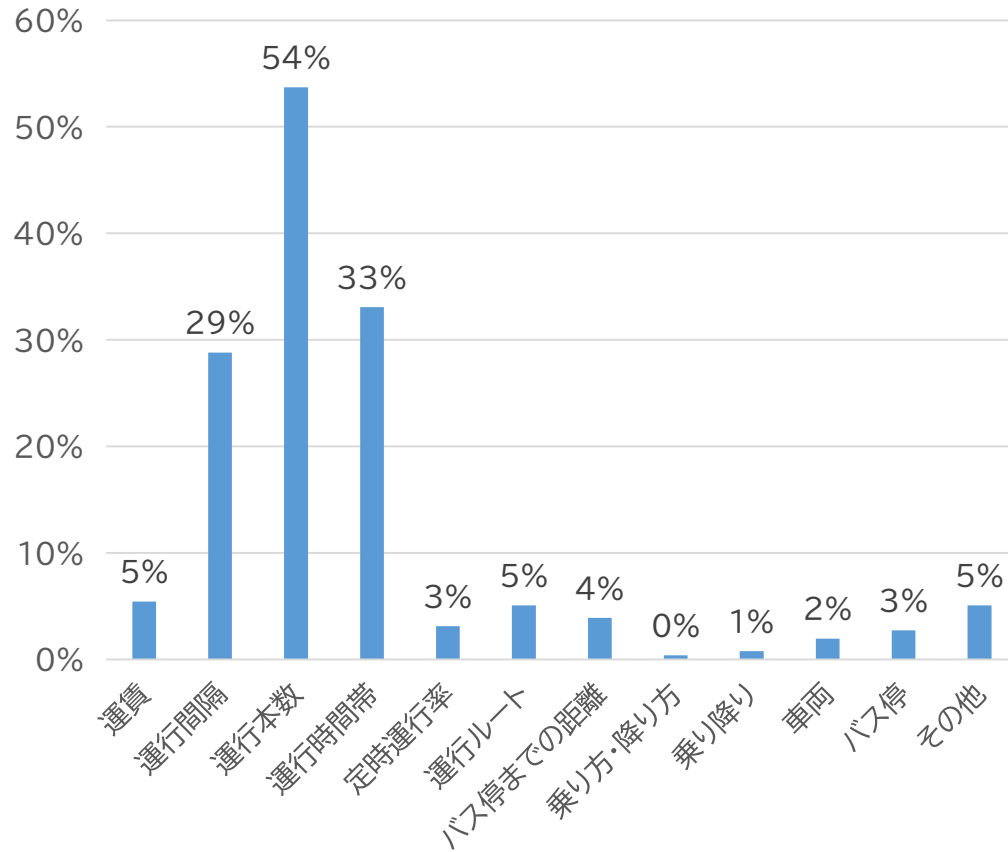
■70歳以上



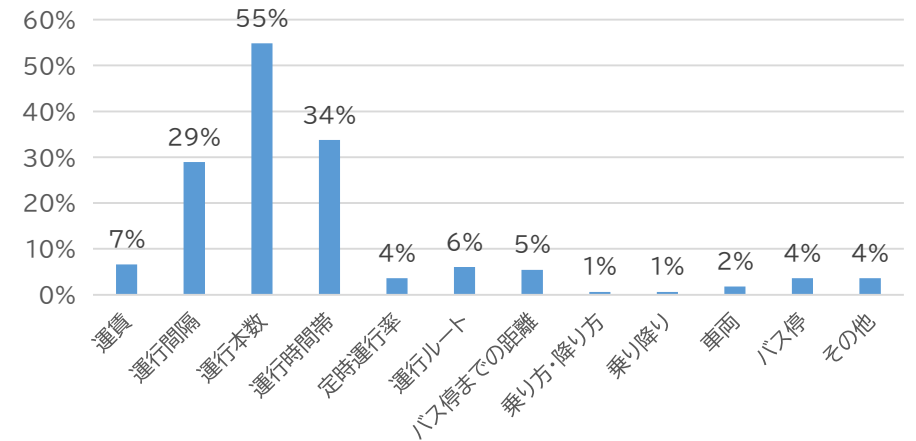
問3. (6) 「不満と感じているところ」

- ・「運行本数」は見直しが必要、本数増えれば、間隔も解決する。
- ・「運行時間帯」はどの程度の延長幅が必要なのか、ニーズを確認したい

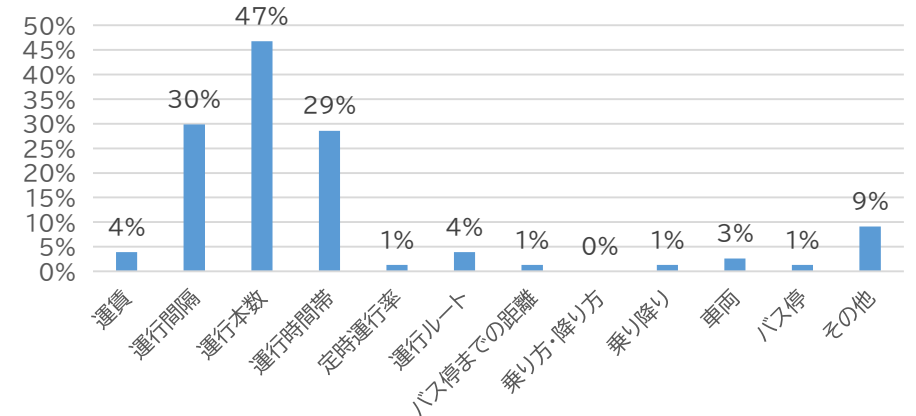
■全世代



■70歳未満



■70歳以上



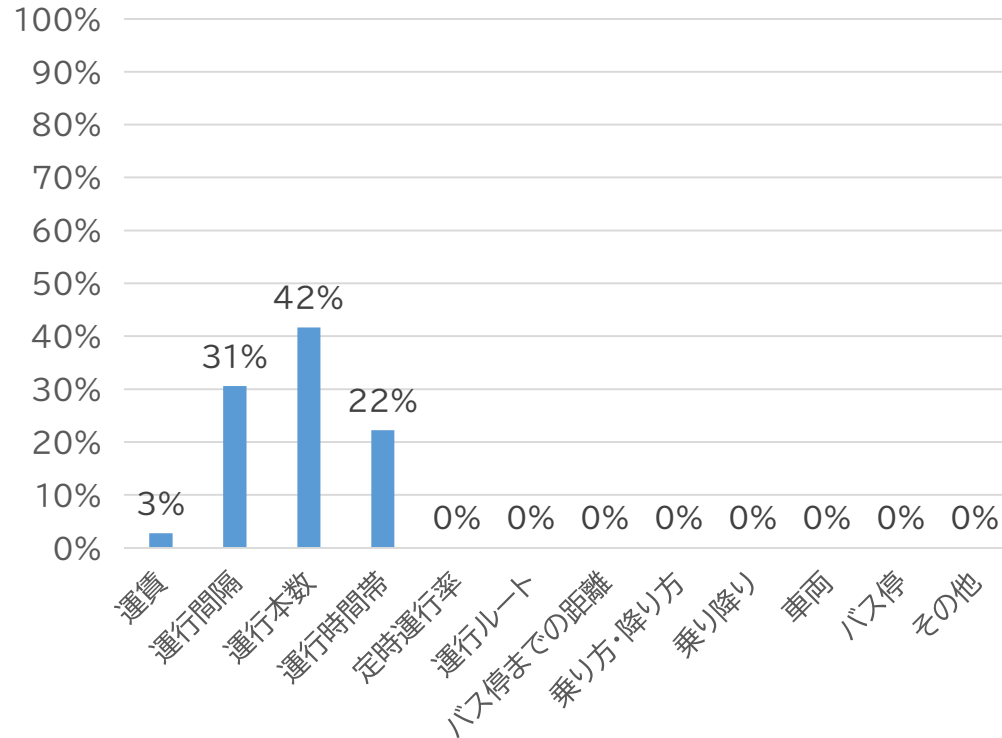
問3. (6) 「不満と感じているところ」 満足の方

※問3. (3) 「路線バスへの満足度」で、満足を感じていると回答された方で集計

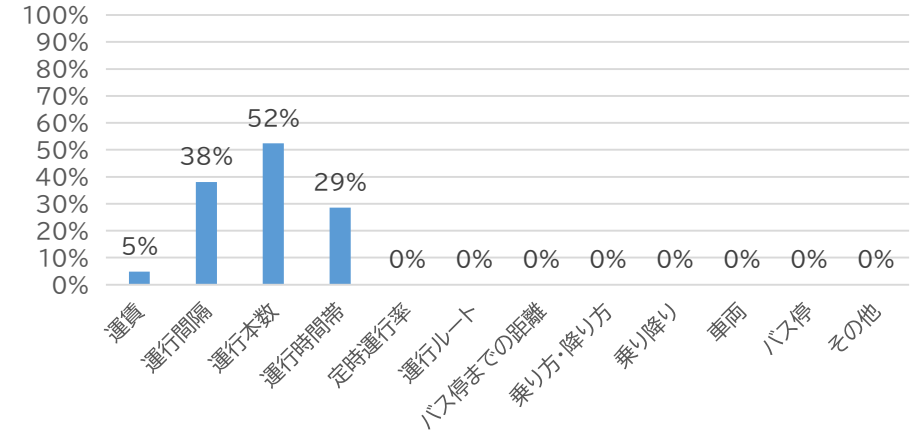
- ・ 運行本数、間隔と時間帯に集中
不満の方の解消を図れば、こちらも併せて改善できると思われる

■ 全世代

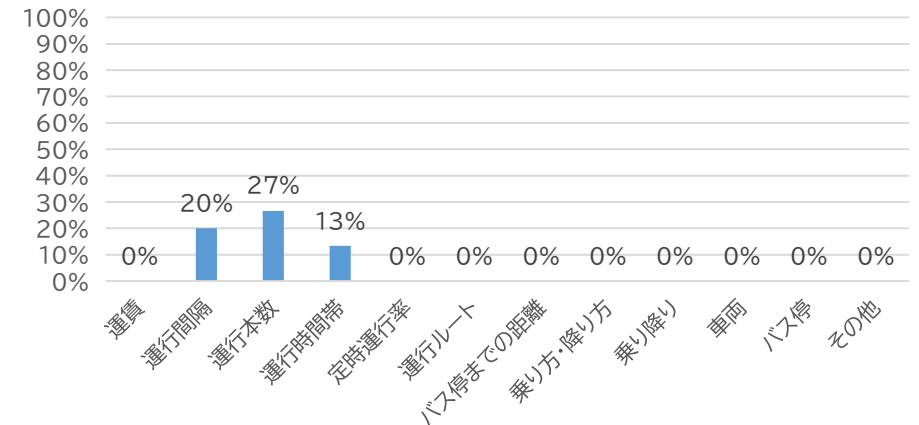
不満と感じているところ



■ 70歳未満



■ 70歳以上

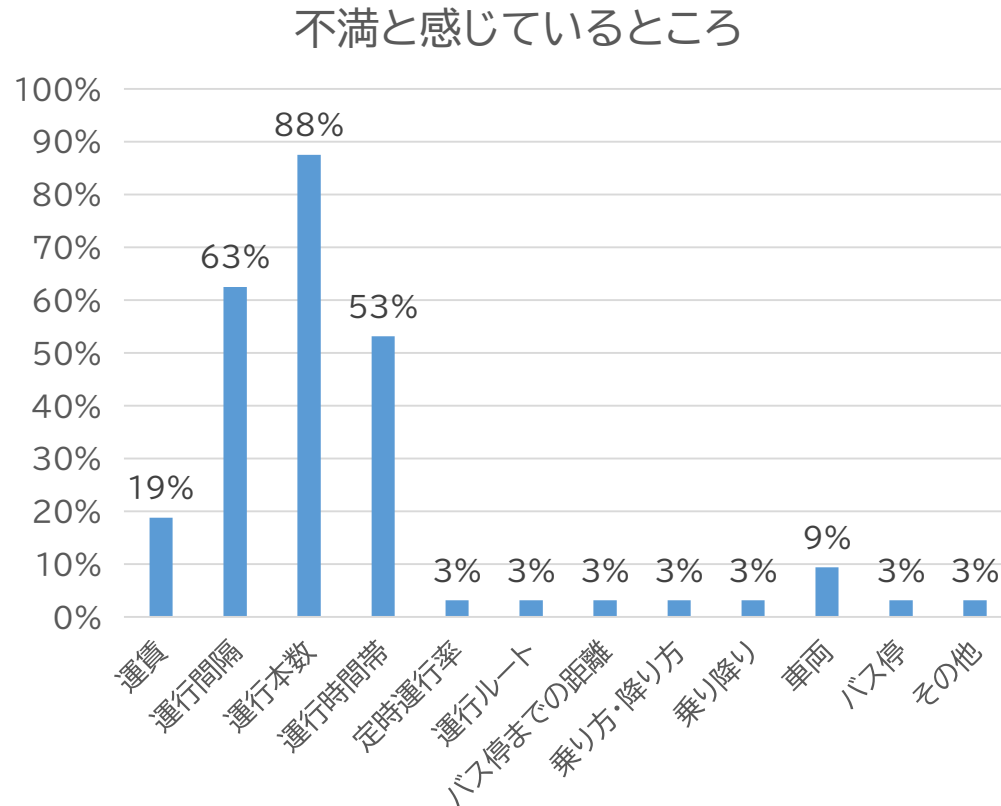


問3. (6) 「不満と感じているところ」 不満の方

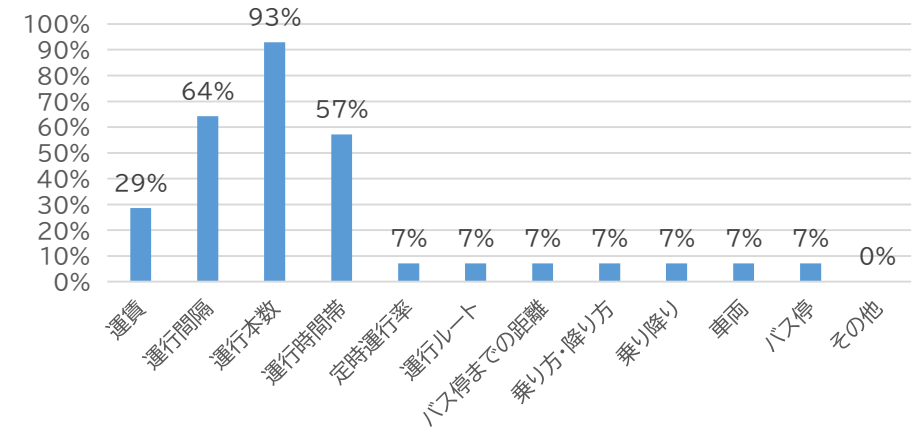
※問3. (3) 「路線バスへの満足度」で、不満を感じていると回答された方で集計

- ・ 運行本数、間隔と時間帯が多い。運賃と車両についても、不満あり
- ・ 車両は大きすぎる意見が多く、運賃は特に通学の交通費としての意見

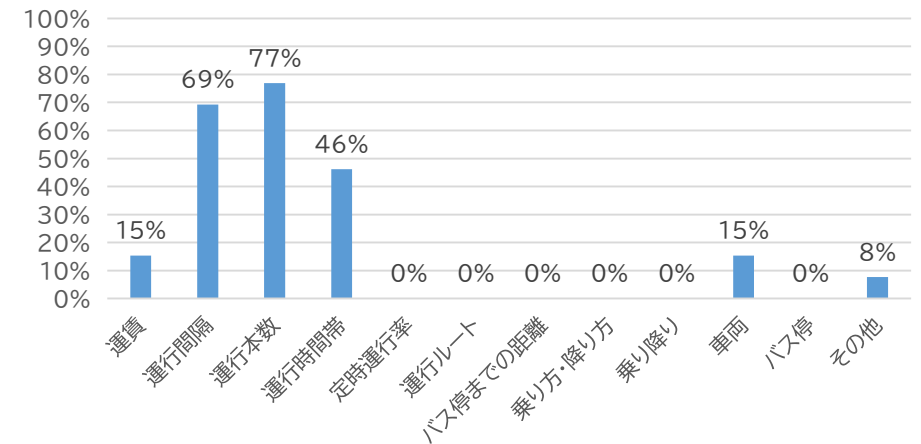
■全世代



■70歳未満



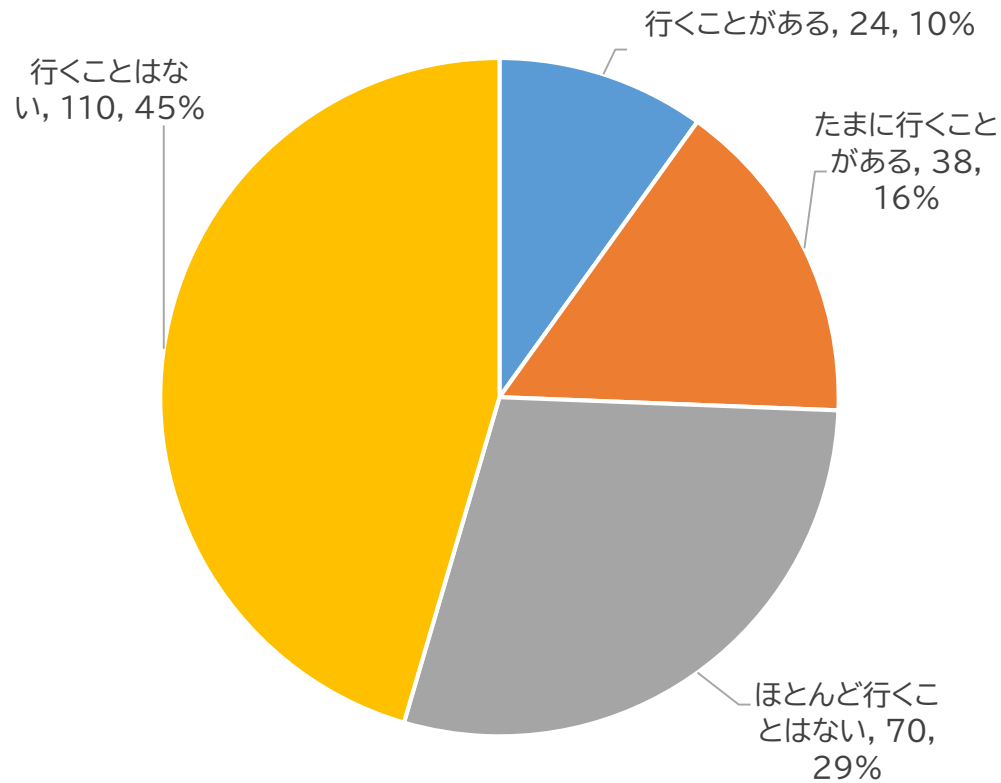
■70歳以上



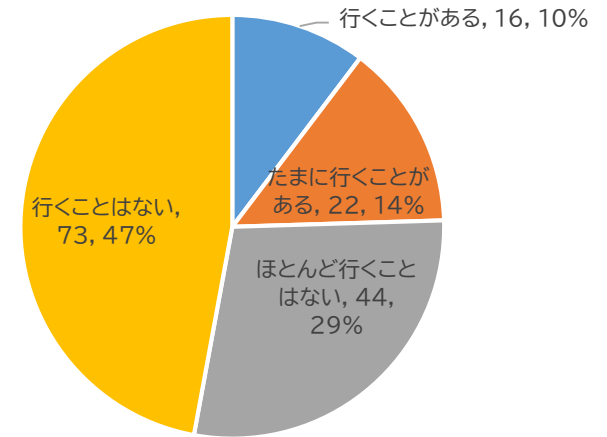
問3. (7) 「路線バスを利用して大磯地区へ行くか」

・180人(74%)の人が、路線バスを利用して、大磯地区に行く事はほとんどない

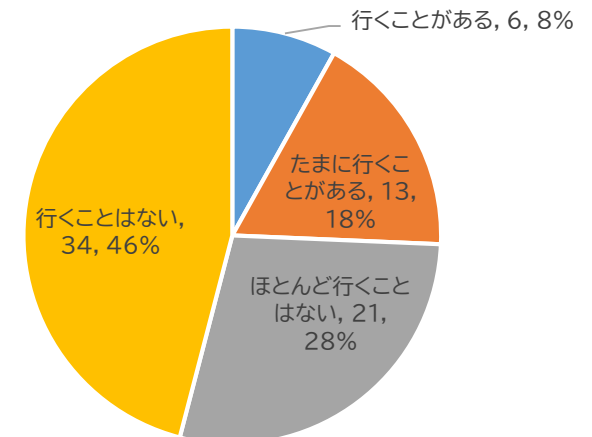
■全世代



■70歳未満



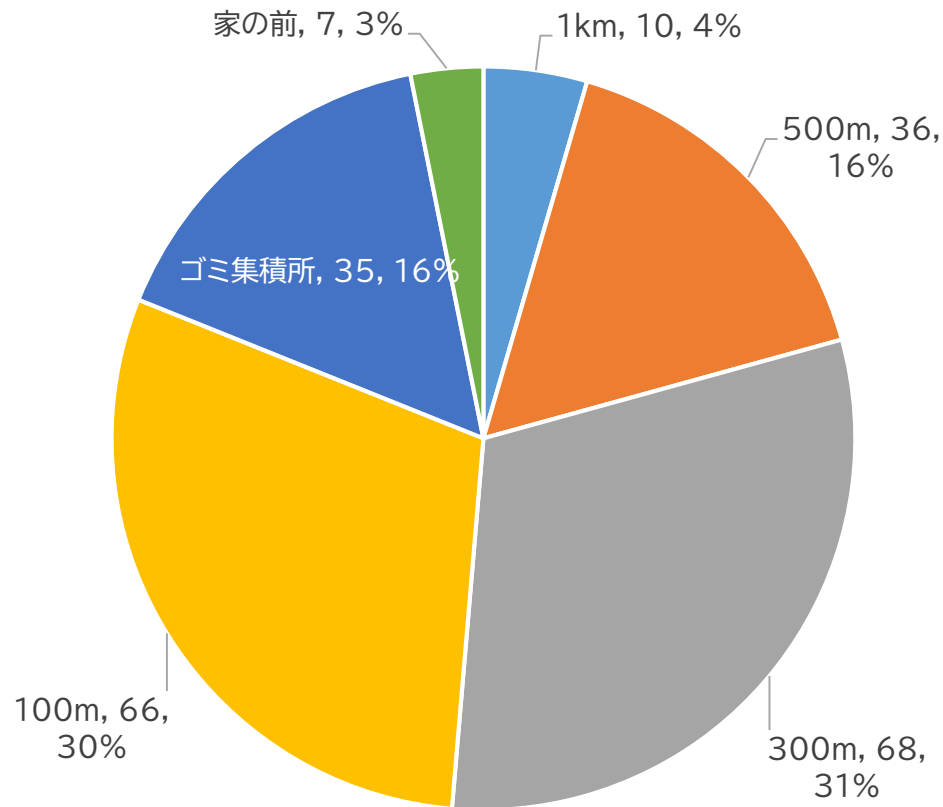
■70歳以上



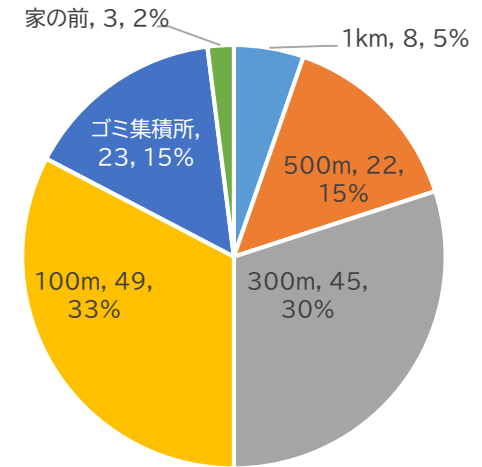
問3. (8) 「許容できるバス停までの距離」

・100m以内を希望する人が約半数を占めるが、サービスレベルでバス停についての不満は25人であり、自由乗降区間が有効に機能していると考えられる

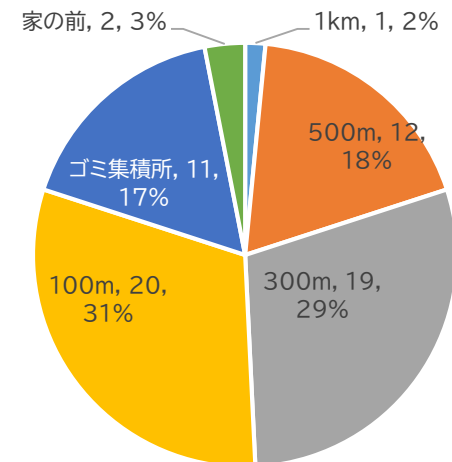
■全世代



■70歳未満



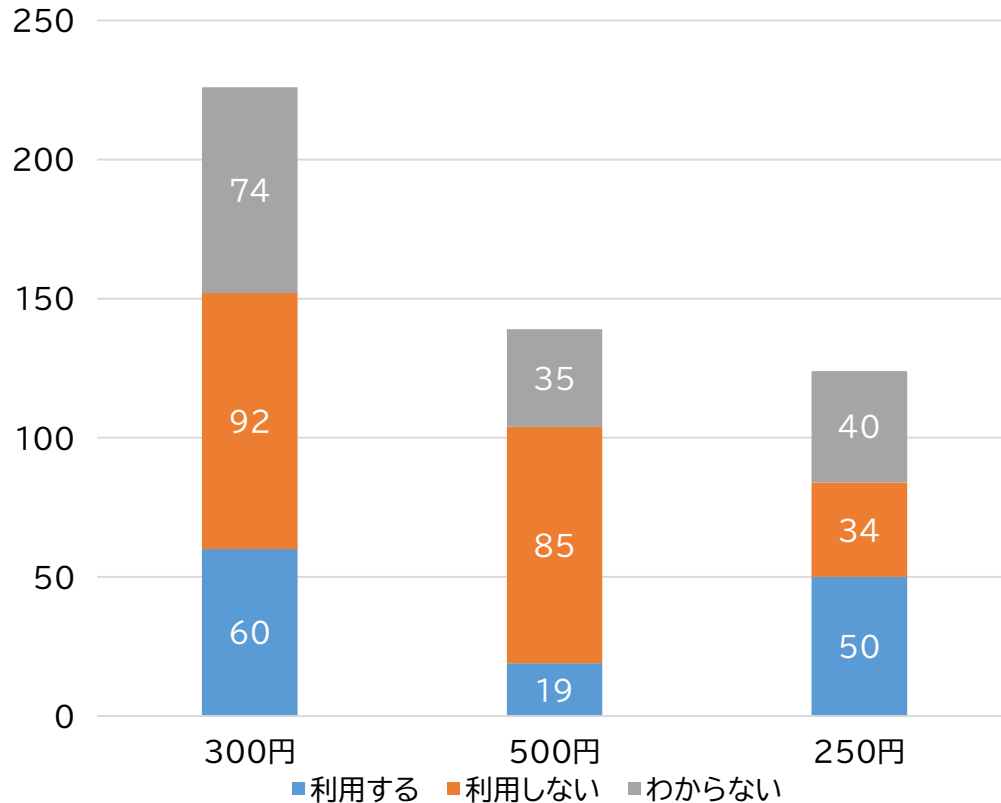
■70歳以上



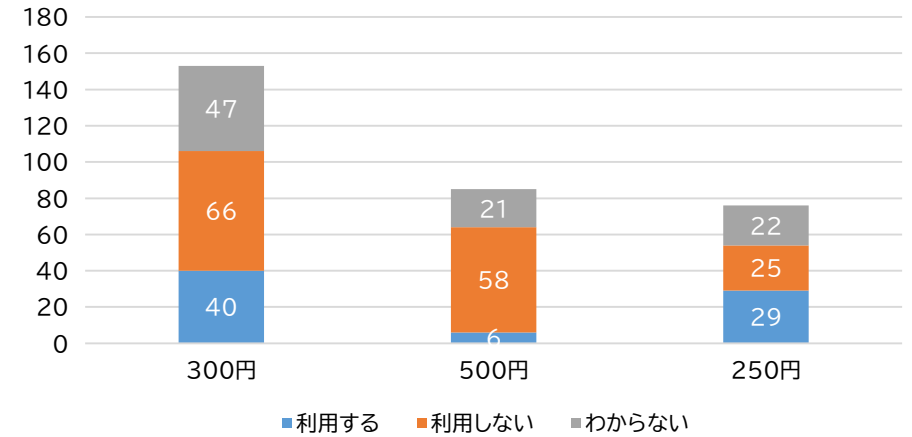
問3. (9) 「希望する月京までの運賃」

・ 300円では高く、250円であれば、許容範囲である事がわかった

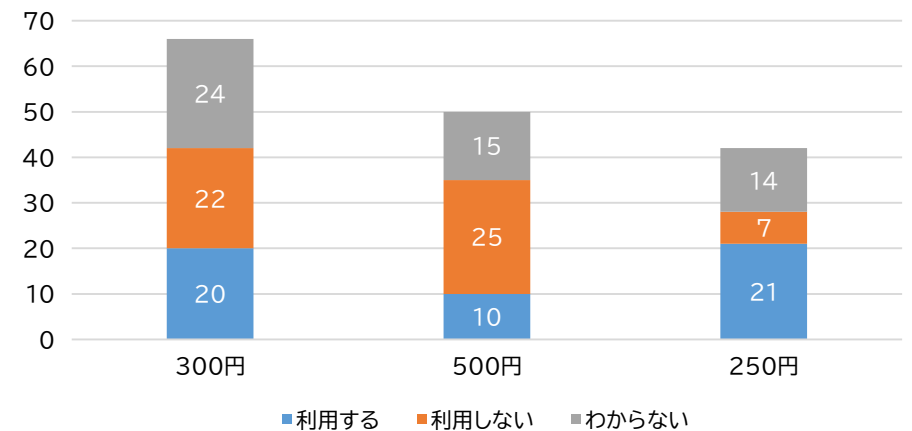
■全世代



■70歳未満



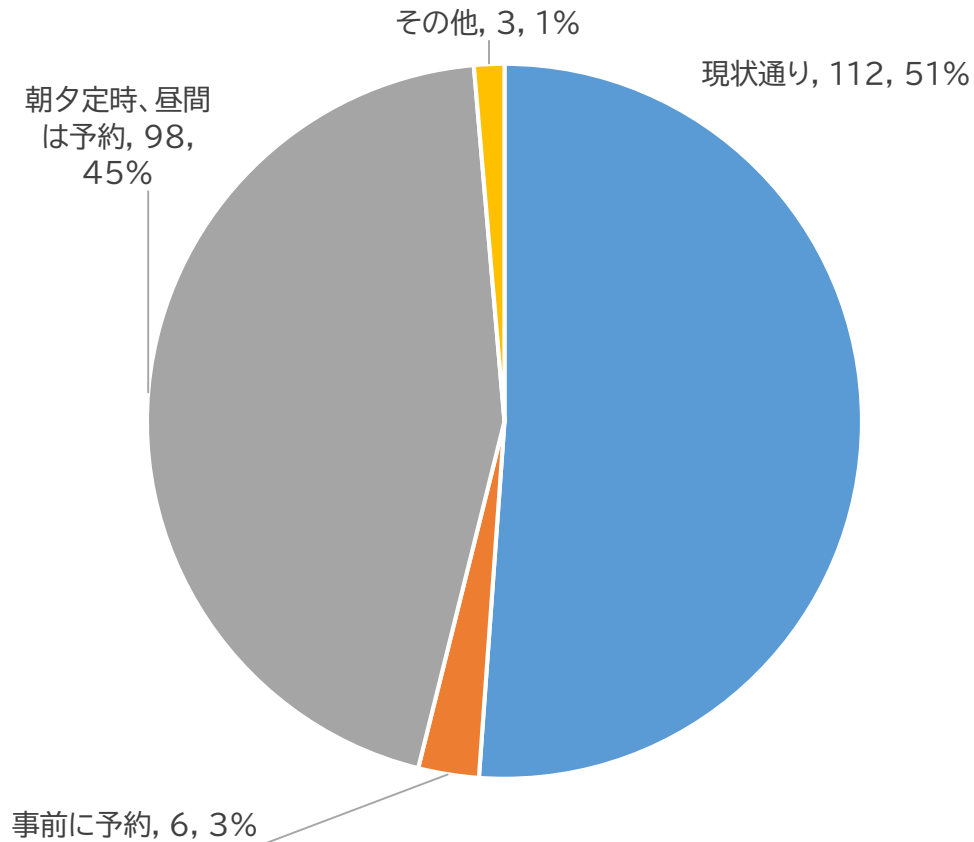
■70歳以上



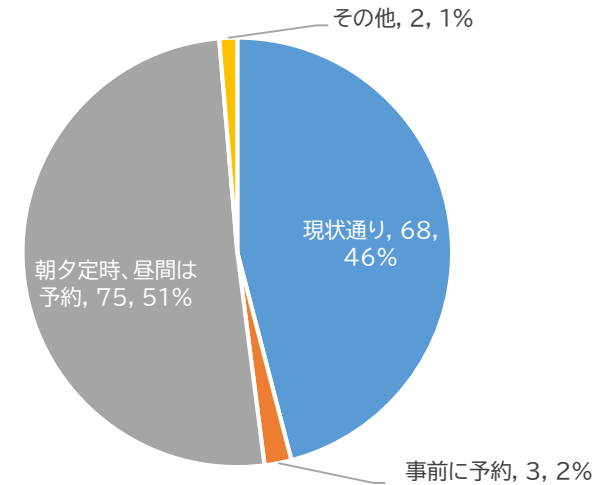
問3. (10) 「定時運行についての希望」

- ・ 昼間オンデマンドの声も多いが、現状通りの定時運行が半数を超える
- ・ 70歳以上は61%が現状通りが希望であり、高齢者利用を考えるとやはり定時が良さそう

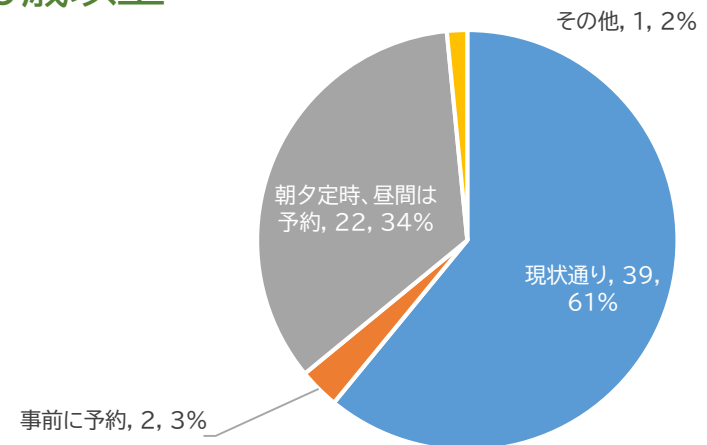
■全世代



■70歳未満



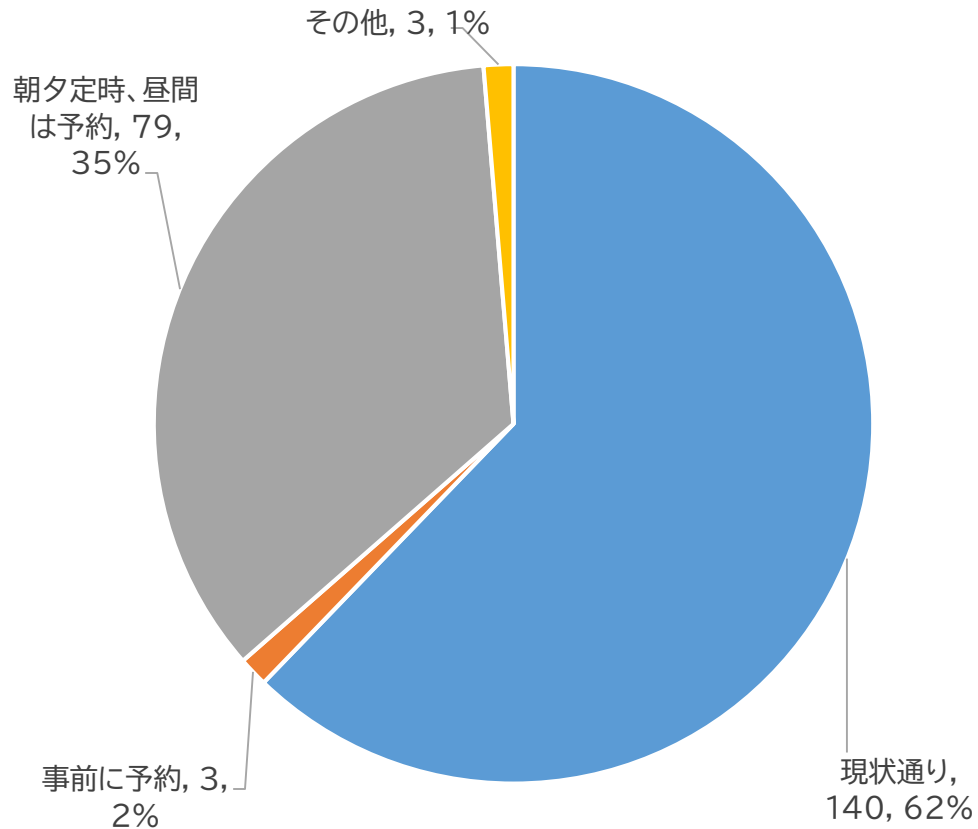
■70歳以上



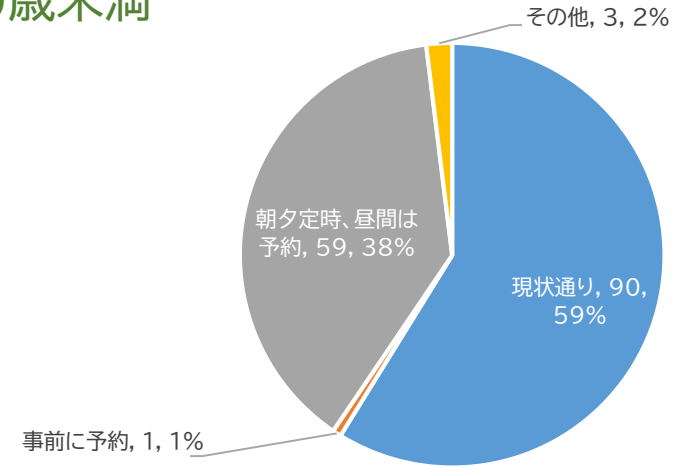
問3. (11) 「定路線運行についての希望」

- ・ 定時運行の設問よりも、定路線の方が割合が高い結果
- ・ 70歳以上も同じ傾向

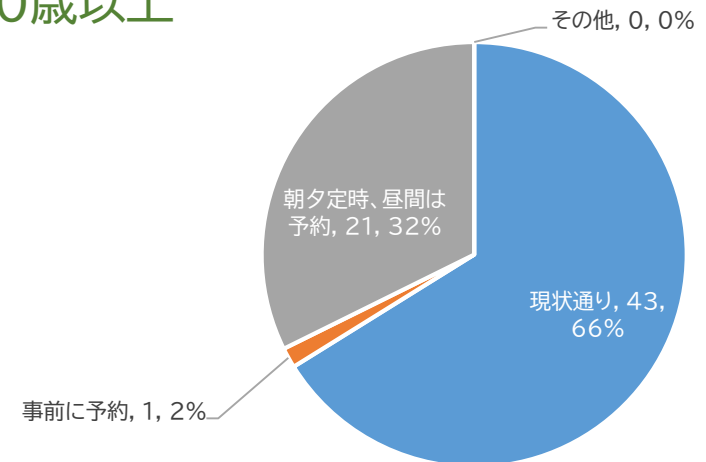
■ 全世代



■ 70歳未満



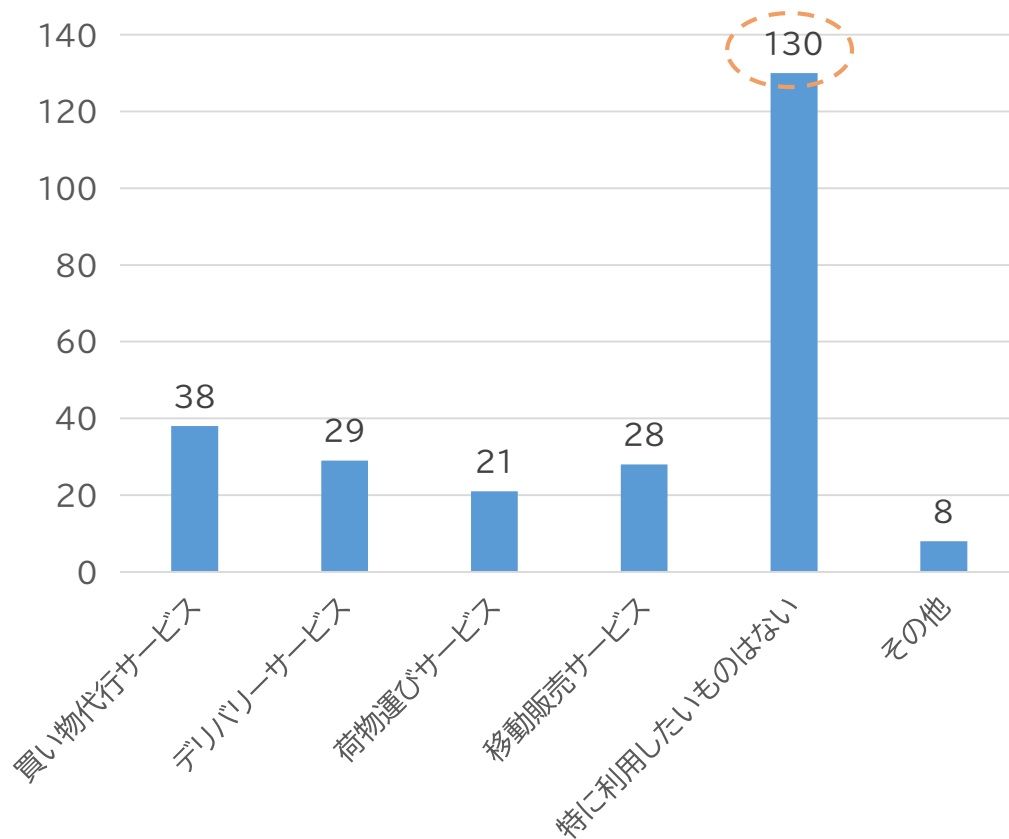
■ 70歳以上



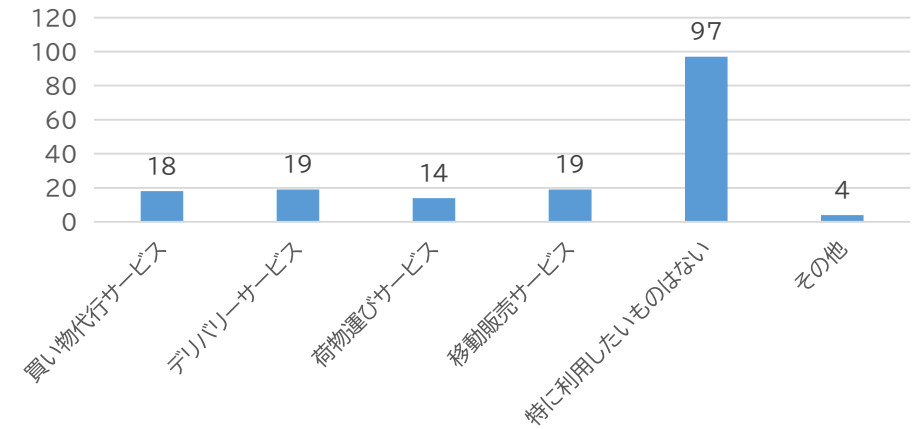
問3. (12) 「利用したい代行サービス」

- ・全体は利用しない意見が半数を占めるが、70歳以上は利用したい人が増える
- ・より具体的な意見を聞き、イメージを合わせてニーズを確認したい

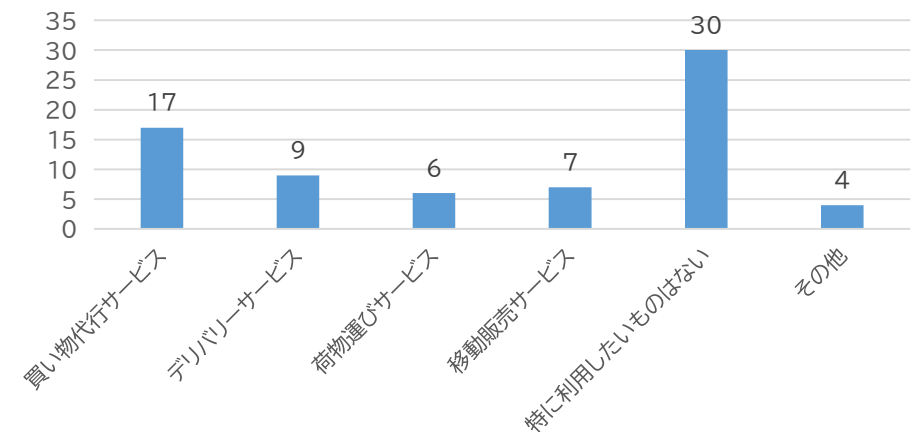
■全世代



■70歳未満



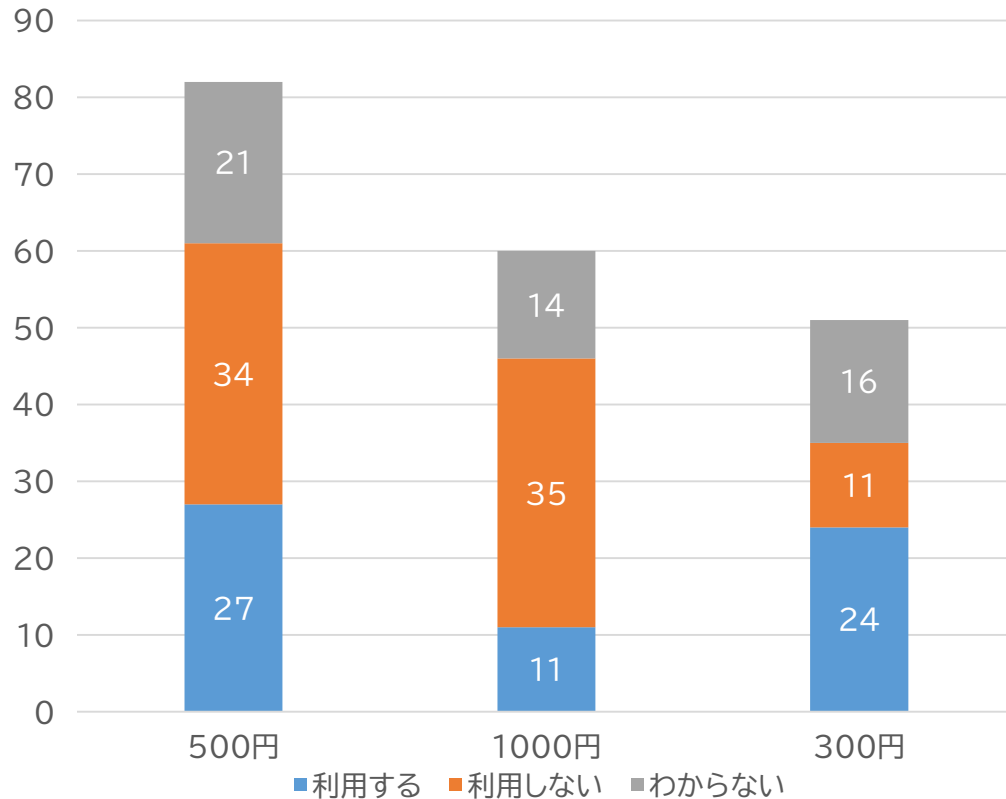
■70歳以上



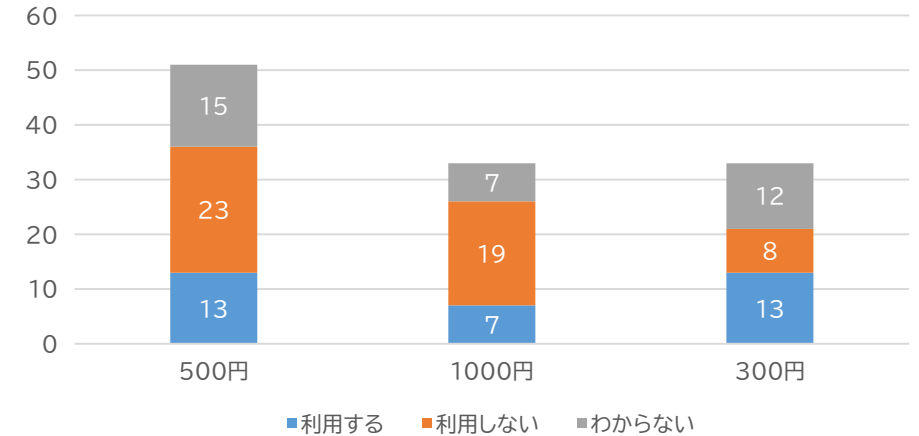
問3. (12) 「利用したい代行サービス」 利用料

- ・ 500円以下であれば利用する人がある程度存在している事が判明
- ・ 70歳以上になると顕著。イメージを合わせていく必要がある

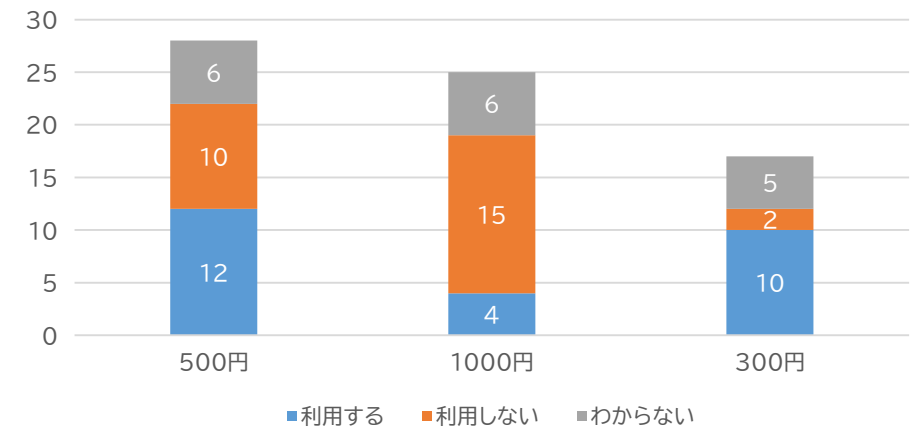
■全世代



■70歳未満



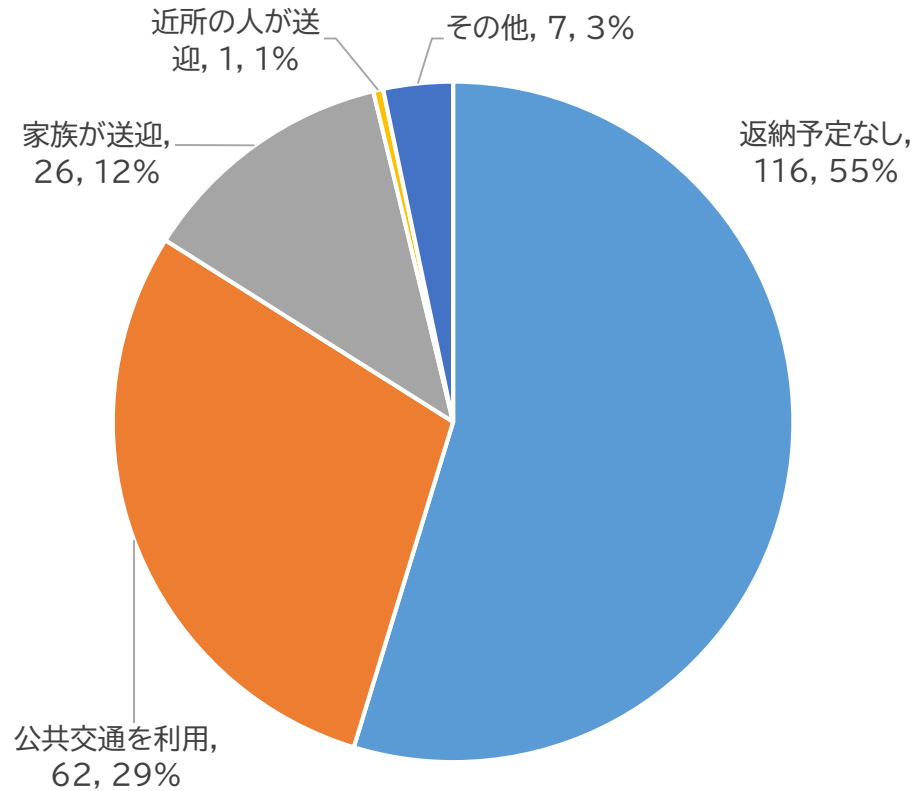
■70歳以上



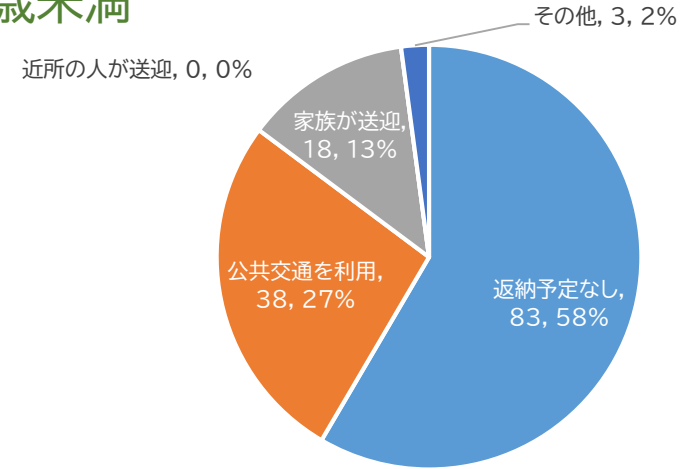
問3. (13) 「免許返納した場合の移動手段」

- ・公共交通と返納しないが多数を占める
- ・家族もある程度いるものの、近所の人をお願いする人は1人のみ

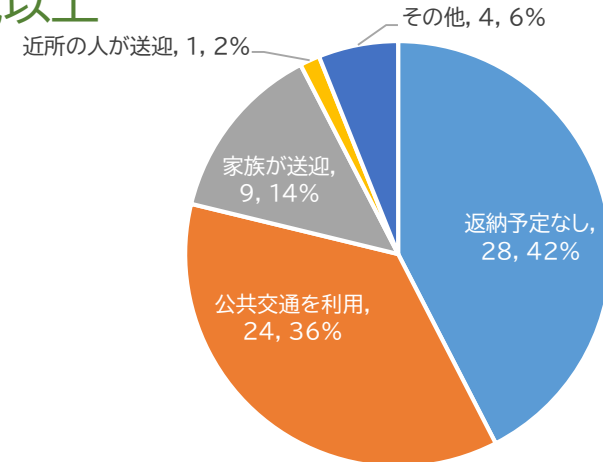
■全世代



■70歳未満



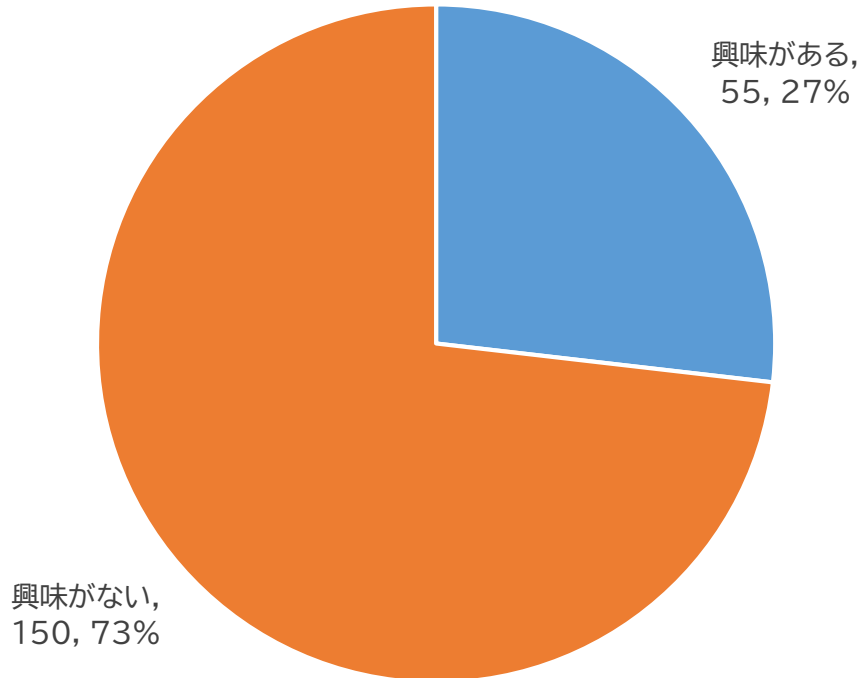
■70歳以上



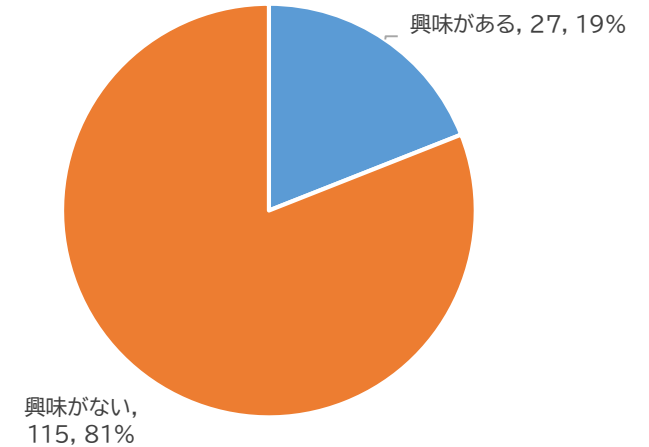
問3. (14) 「ワークショップへの興味」

・全体では、興味がある人は27%であるが、70歳以上は40%も興味あり

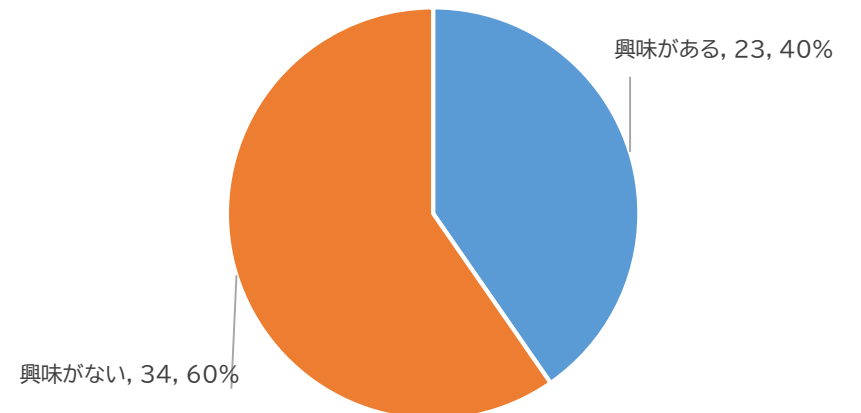
■全世代



■70歳未満



■70歳以上

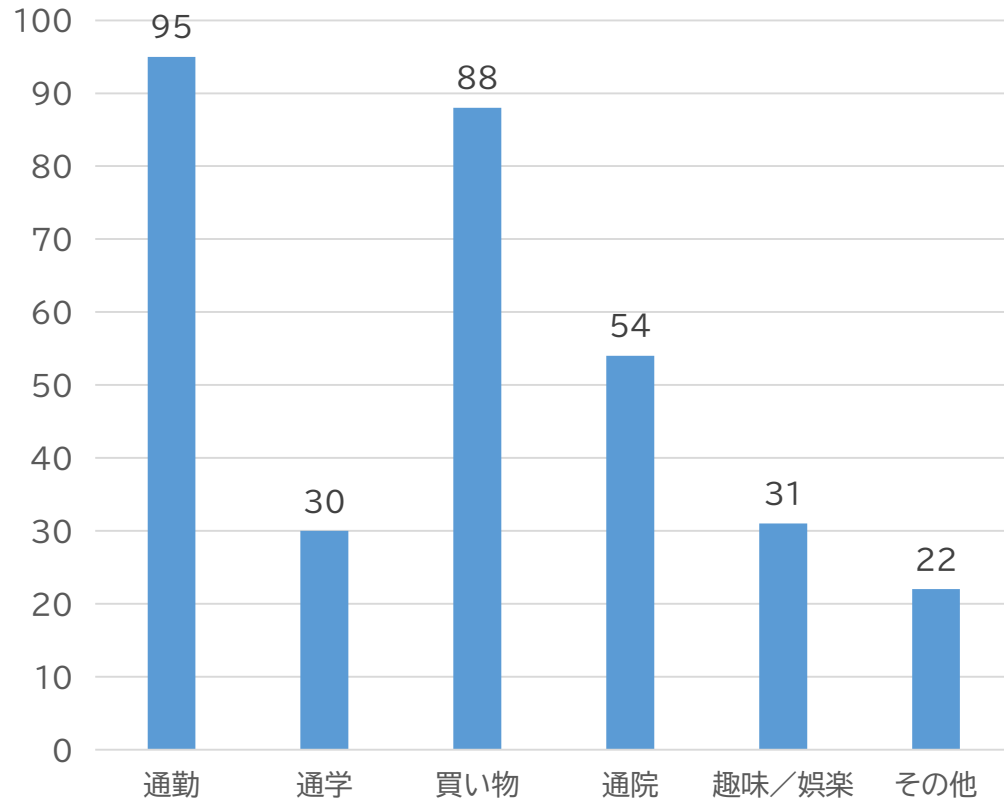


問4. (1) 「外出目的」

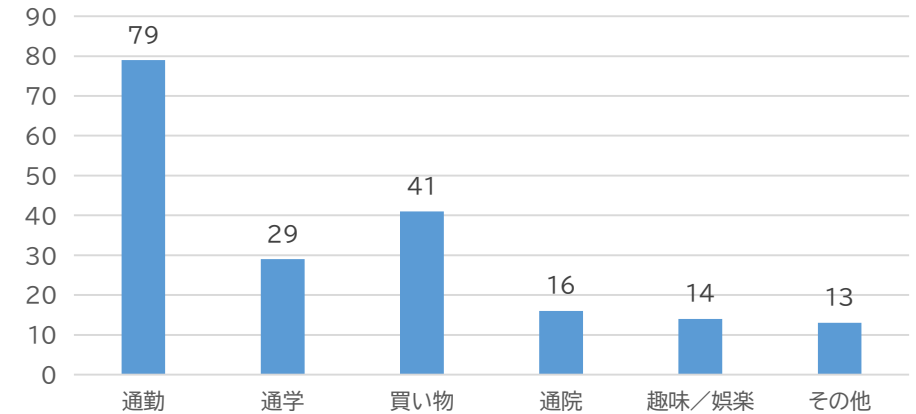
(ひとり複数回答あり)

- ・ もっとも多い外出目的という質問だったが、1人複数回答した方もいる為、すべて集計
- ・ 買い物、通院が多く、趣味・娯楽の為の外出は少数派

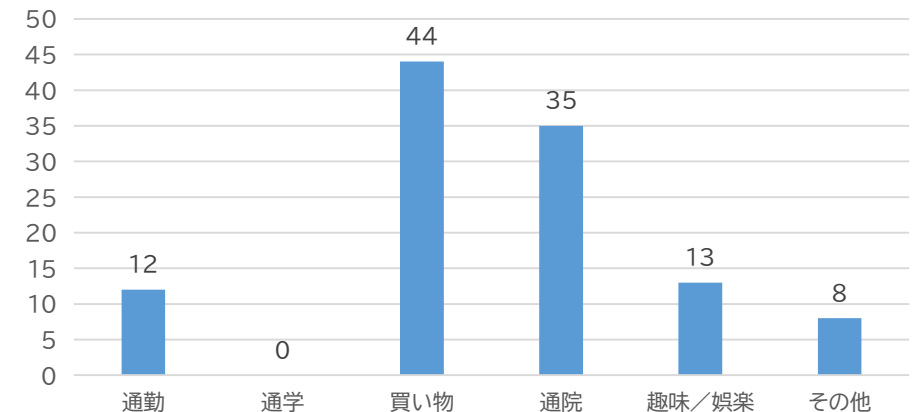
■全世代



■70歳未満



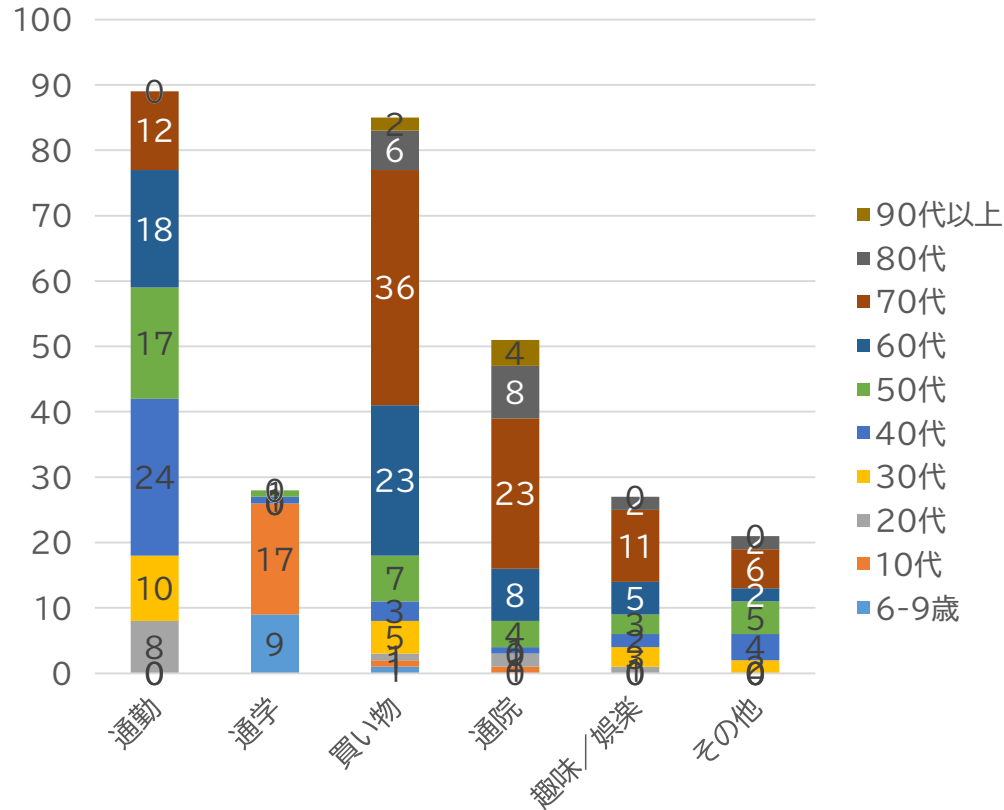
■70歳以上



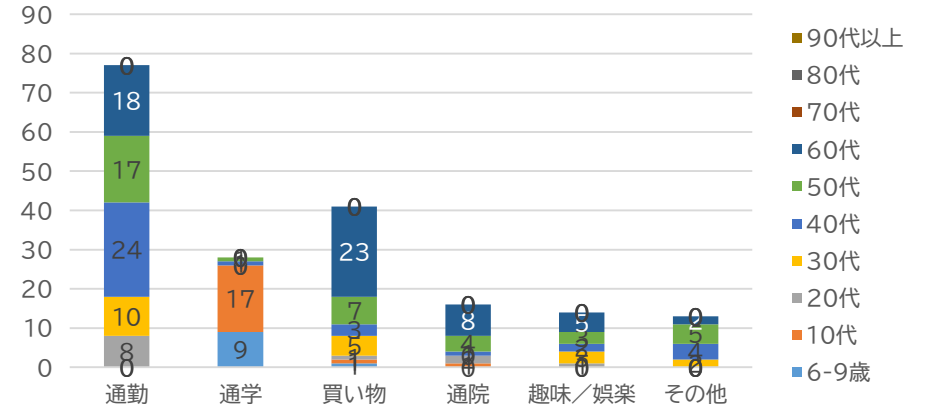
問4. (1) 「外出目的」 (目的別年代)

- ・全体で見ると通勤と買い物が多く、3番手に通院
- ・70歳以上は通勤が減り、買い物、通院の順

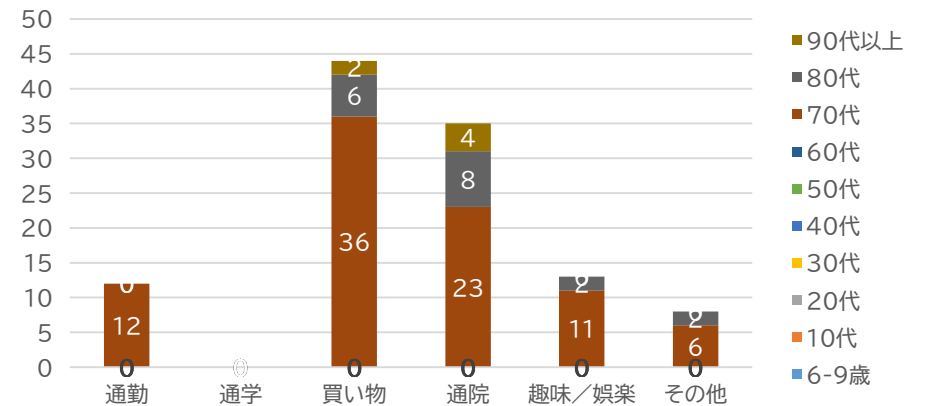
■全世代



■70歳未満



■70歳以上



問4. (1) 「外出目的」 (不便さを感じる行先一覧)

・二宮駅への外出に不便と感じる人が60人。運行ルートに二宮駅はあるが、時間帯が合わない事が影響しているものと考えられる

買い物	
JA	1
イオン	1
コンビニ行く時	1
スーパー	3
スーパー、コンビニ	1
ヤオマサ	2
ヤオマサ、ビッグ二宮	1
ヤオマサ、西友、あおば	1
ヤオマサ、西友など	1
駅周辺の店舗やスーパー	1
月京	1
西友	2
西友、イオン、あおば	1
西友、イオンビッグ	1
西友、ヤオマサ	1
西友、やおまさ	2
駐車場のない場	1
町内	1
二宮	3
二宮、月京	1
二宮、秦野、平塚	1
二宮ビッグ	1
二宮町のスーパー	1
買い物	1

病院	
さくら診療所	1
ハートクリニック	1
井上整形	1
井上整形外科	2
月京クリニック	1
高齢者、子供の移動手段がないと	1
歯科	1
小田原などへ行く時	1
小田原病院	1
図書館など	1
大磯、月京、二宮	1
大磯ハートクリニック	2
町外	1
東海大	1
東海大、大磯	1
東海大でもどこでも駐車場がすぐに入れないこと	1
東海大学病院	1
東海大大磯	1
東海大大磯、ハート、井上	1
東海大大磯病院	3
東海大大磯病院、さだもとクリニック	1
東海大大磯病院、ハートクリニック	1
東海大大磯病院、西山クリニック、井上整形外科	1
東海大病院へ行く午前の便が少ない	1
東京の病院	1
二宮	4
二宮駅から帰る時	2
病院	3
平塚共済病院	1
平塚市民病院	1

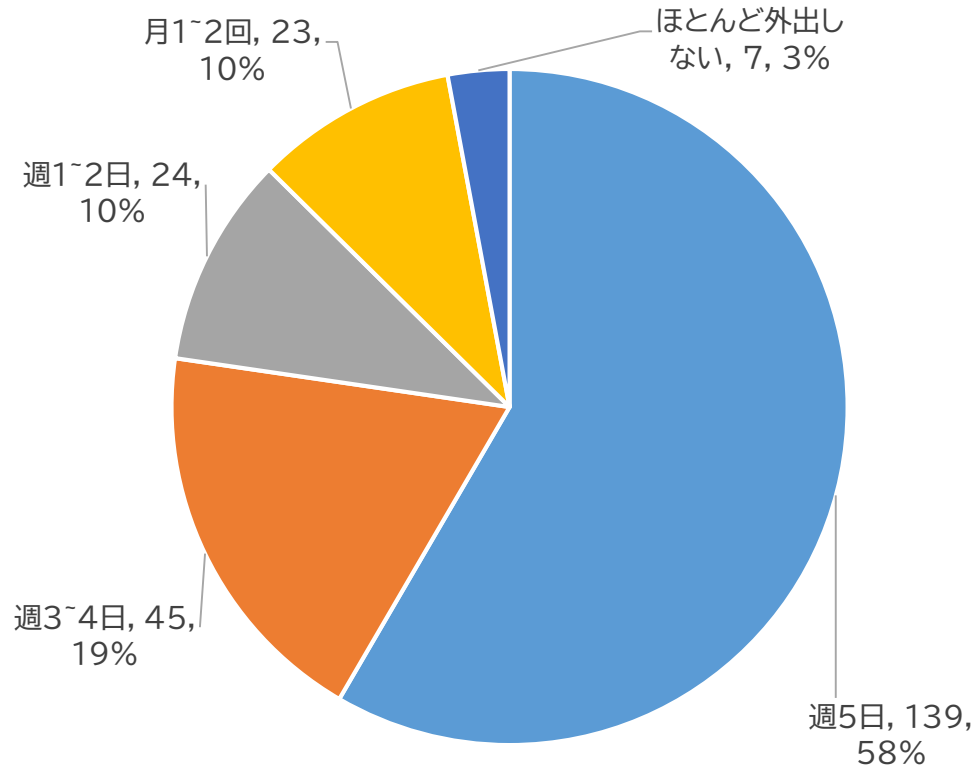
駅	
大磯	2
大磯駅(車の置き場がない)	1
二宮	51
二宮(電車で移動する時)	1
二宮、大磯	4
二宮駅	4

その他	
お酒を飲む会に参加する時	1
コロナ後は特に	1
どこに行くにも虫塚地区なので不便	1
レジャー、葬儀	1
会合	1
原付免許なので雨天時に困る	1
仕事	1
歯科	1
自宅	1
自宅から出る=不便さを感じる	1
小学校に行くための便が少ない	2
常にタクシーを利用している	1
朝6時台のバスがない、夜遅くも無い	1
通学、友人と遊ぶ	1
百合ヶ丘クリニック	1
友人の家	1
友達の家、習い事	2
旅行、親族の家の訪問	1
旅行に行く時	1

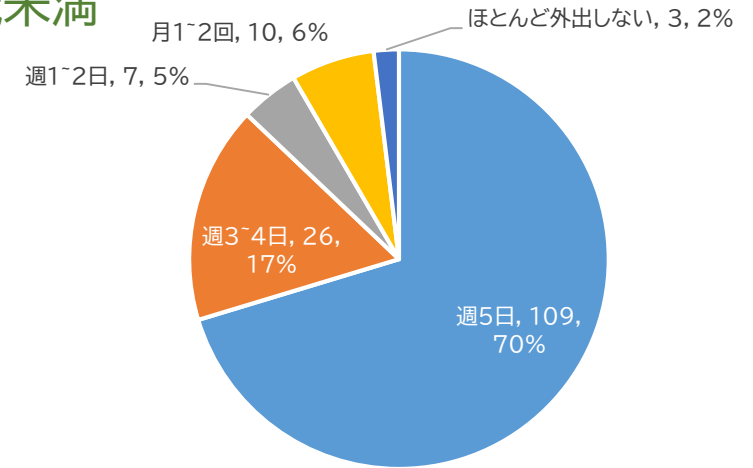
問4. (2) 「外出頻度」

- ・ 9割弱の人が週に1回以上は外出している
- ・ 70歳以上になると、通勤が無くなる為、週5日が34%に半減

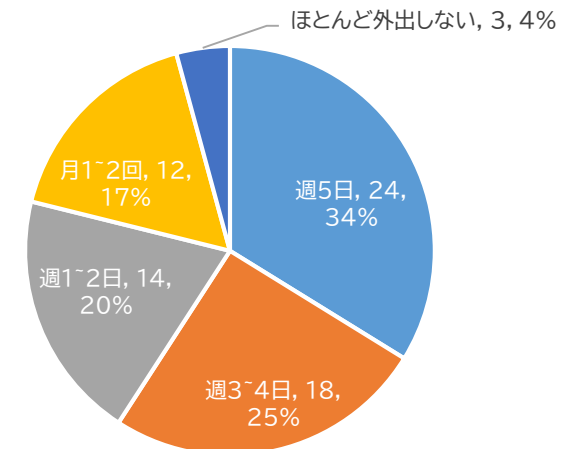
■全世代



■70歳未満



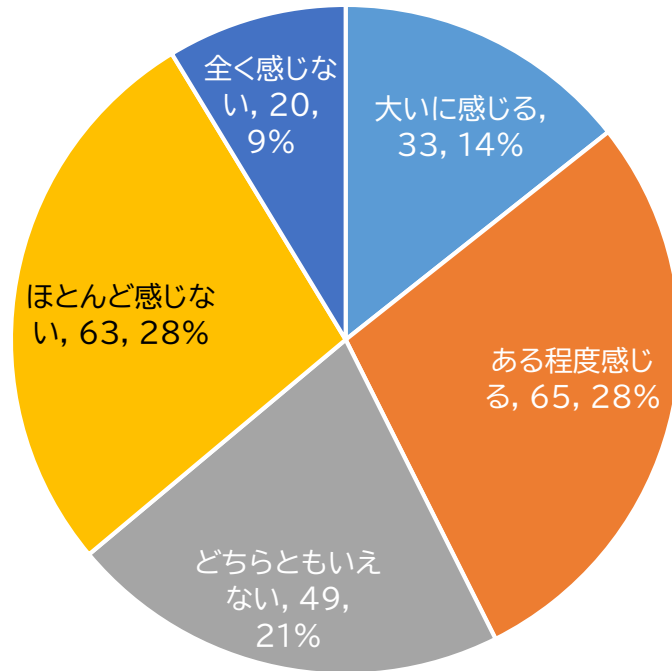
■70歳以上



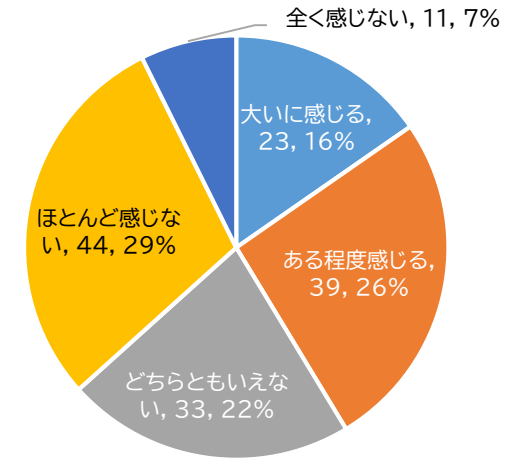
問4. (3) 「移動の不便さ」

- ・不便を感じている人は42%。自家用車があるため、不便を感じている方が少ないと考える
- ・70歳以上も未満も大きな傾向は変わらない

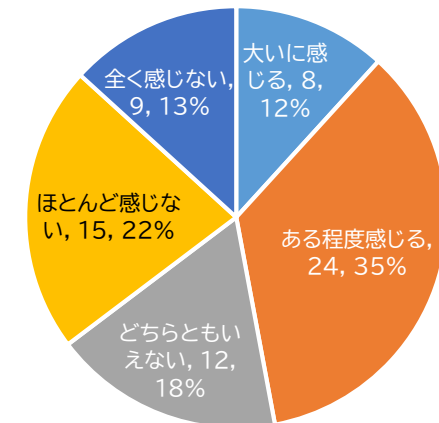
■全世代



■70歳未満



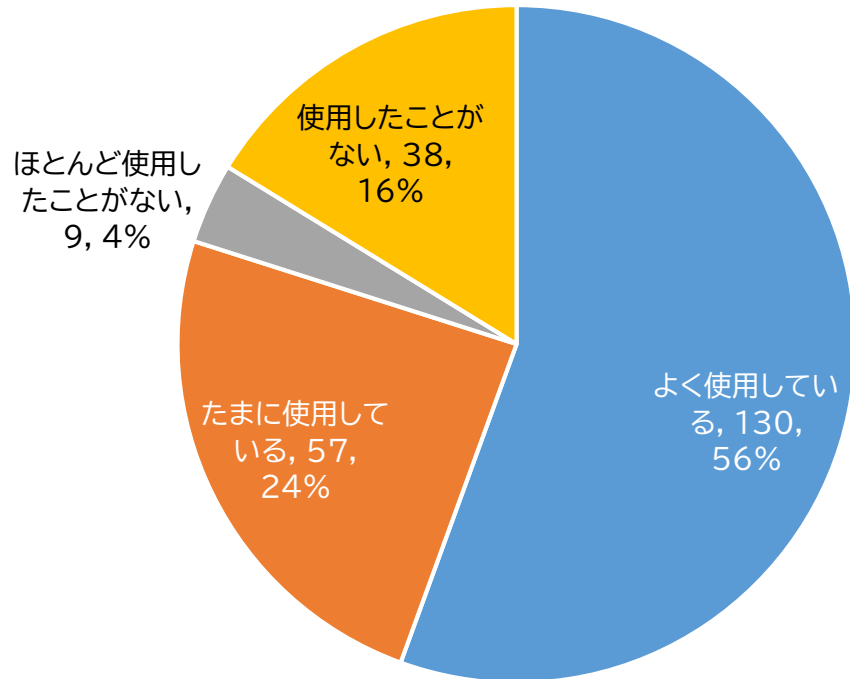
■70歳以上



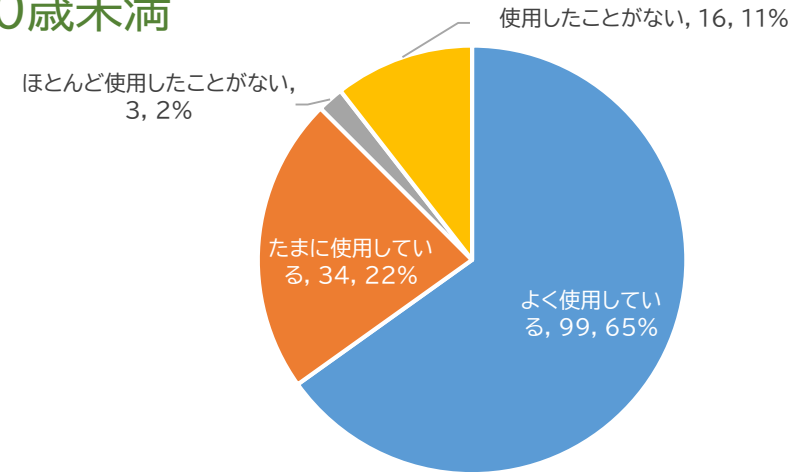
問4. (4) 「交通系ICカード利用状況」

- ・交通系ICカードを使用したことがある方は80%
- ・スマホ保有率67%と比較すると、交通系ICカードの方が普及している

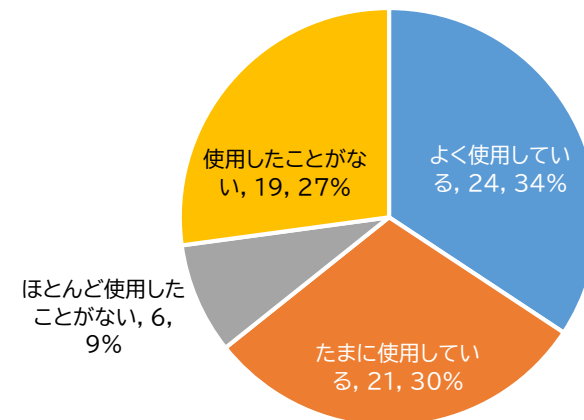
■全世代



■70歳未満



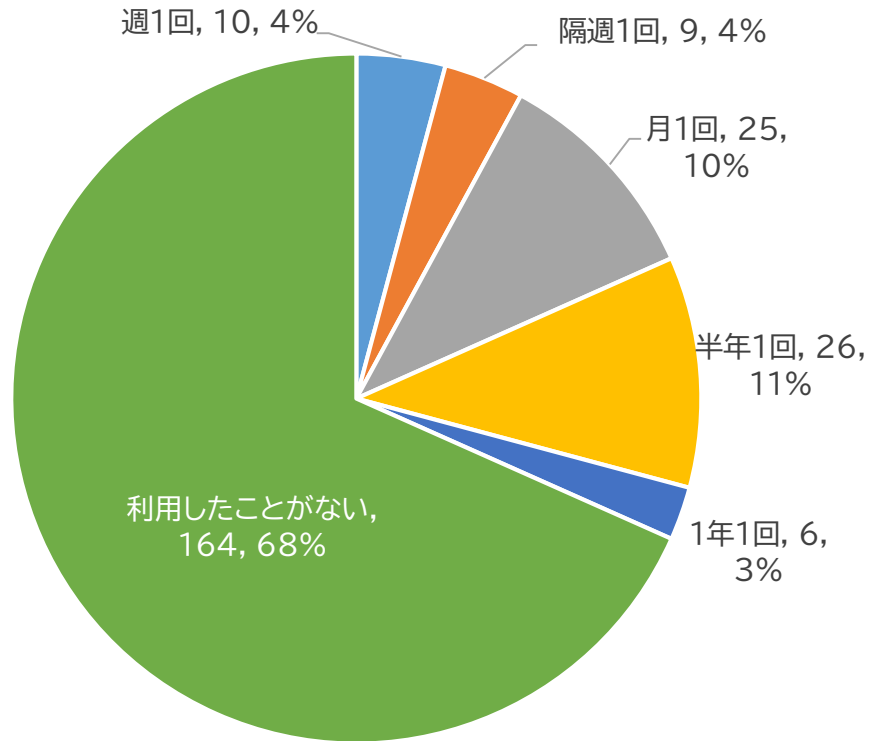
■70歳以上



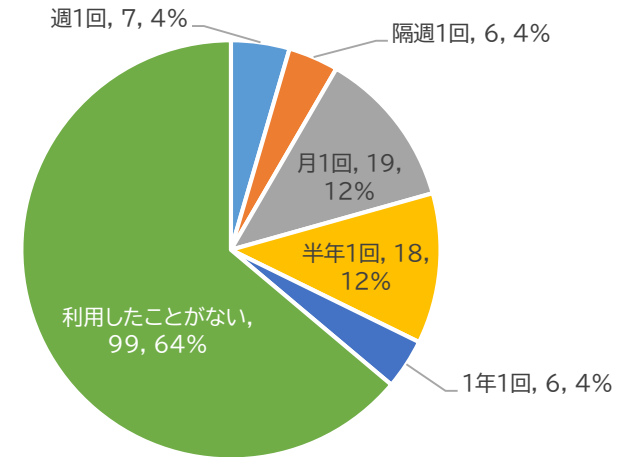
問4. (5) 「宅配サービス利用経験」

・週に1回利用が10人。70歳以上は8割弱が経験なし

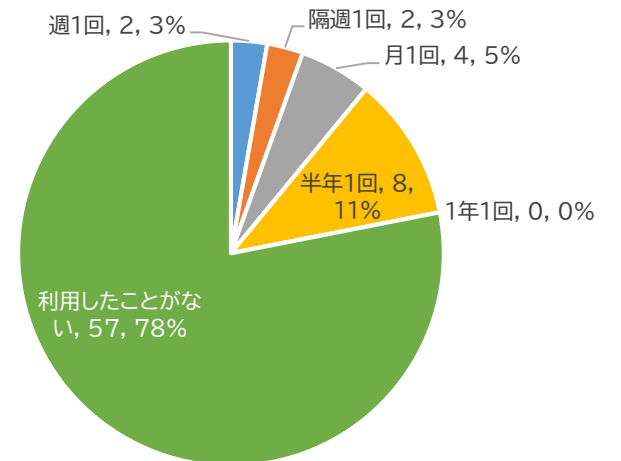
■全世代



■70歳未満



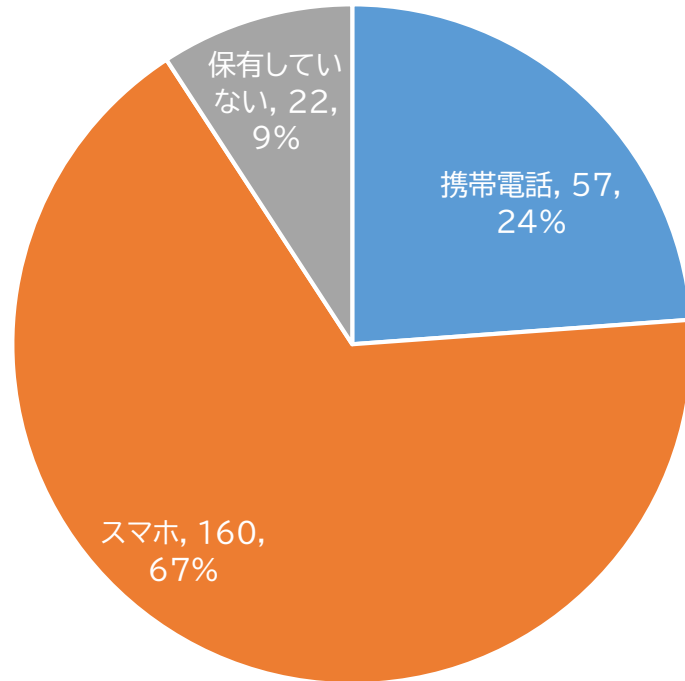
■70歳以上



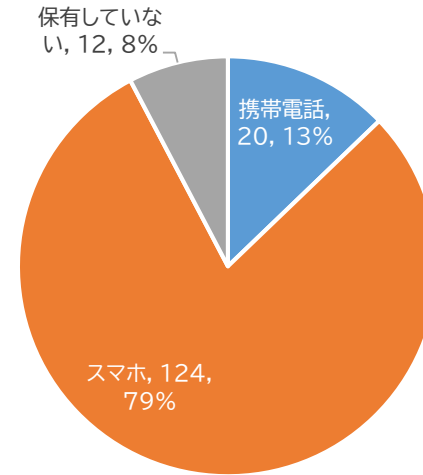
問4. (6) 「スマホ保有状況」

- ・ スマホ保有率は67%
- ・ 70歳以上は39%にとどまり、携帯電話保有者（49%）の方が多い

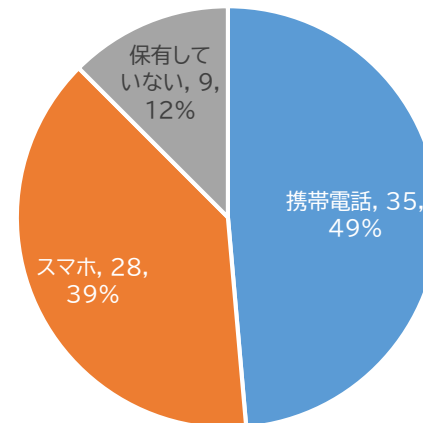
■全世代



■70歳未満



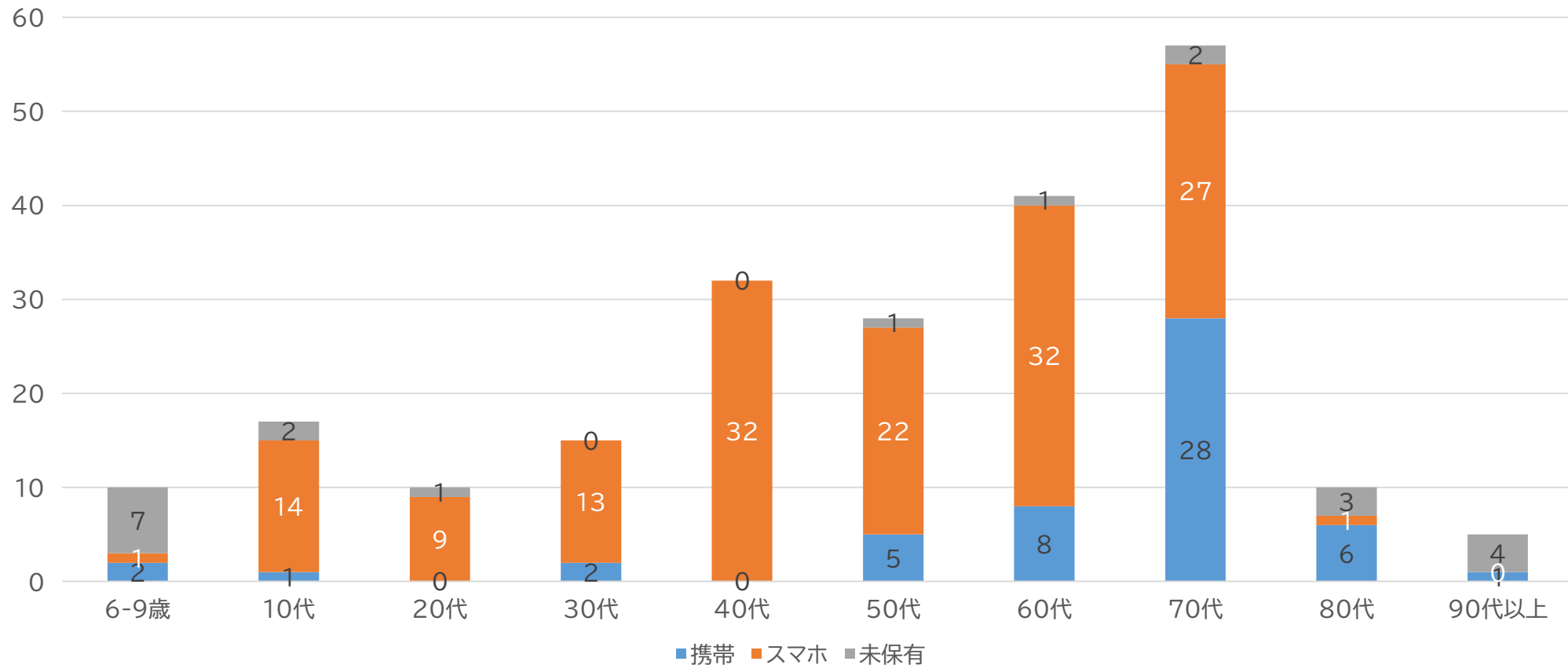
■70歳以上



問4. (6) 「スマホ保有状況」 (年代別)

- ・ 70代がスマホと携帯電話が半々
- ・ 10代～60代は、ほぼスマホ保有となり、9歳以下は保有率が1人のみ

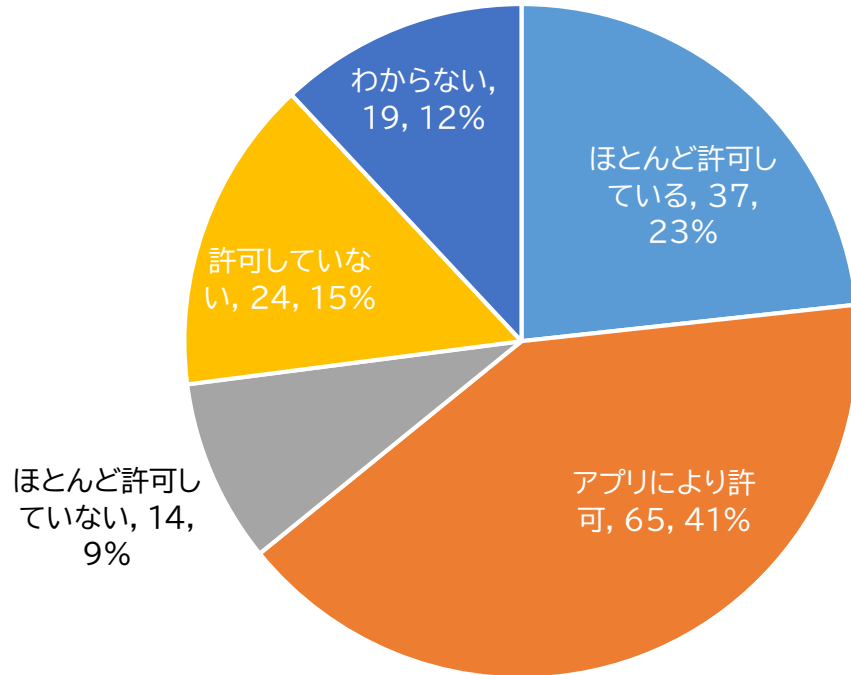
■全世代



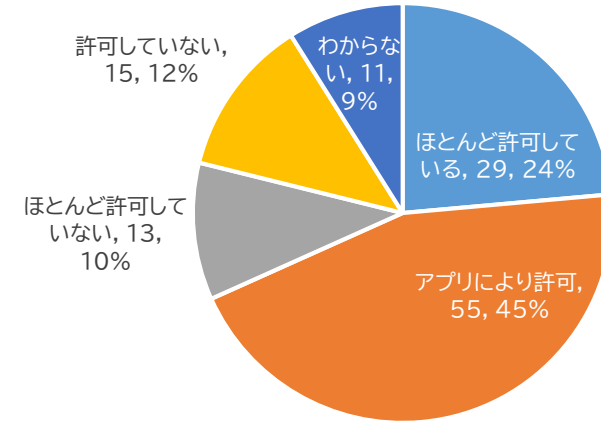
問4. (6) ア 「位置情報提供状況」

・許可している人が65%おり、位置情報サービスを利用していると考える

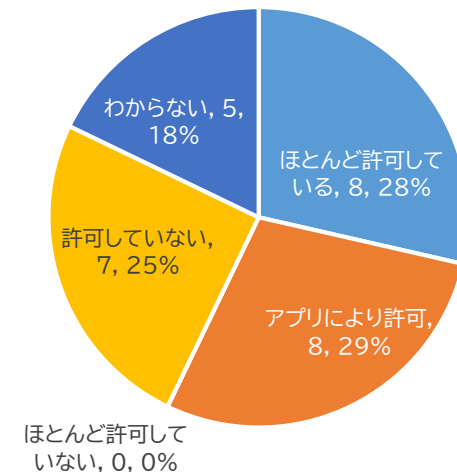
■全世代



■70歳未満



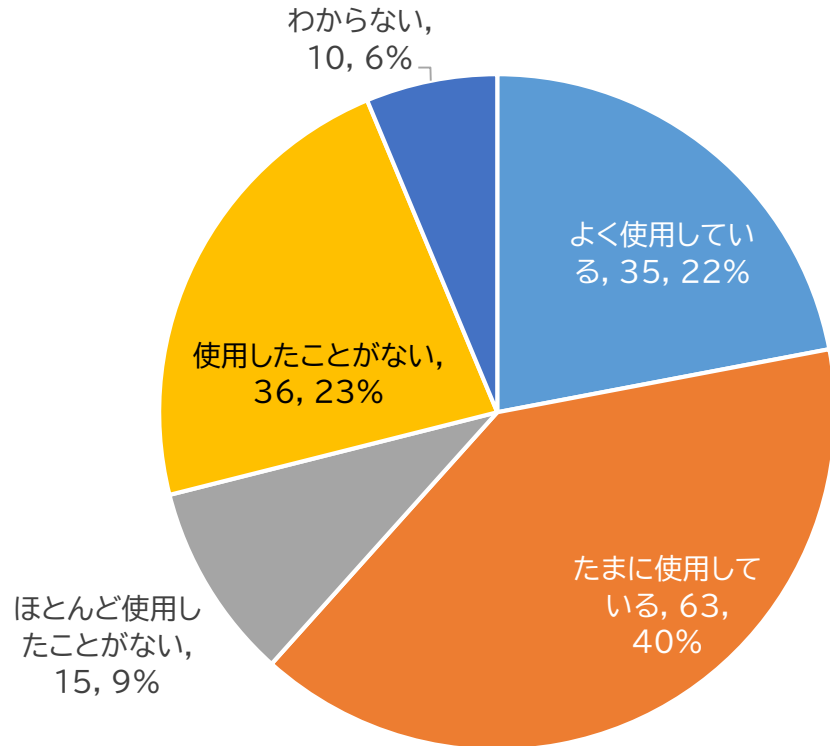
■70歳以上



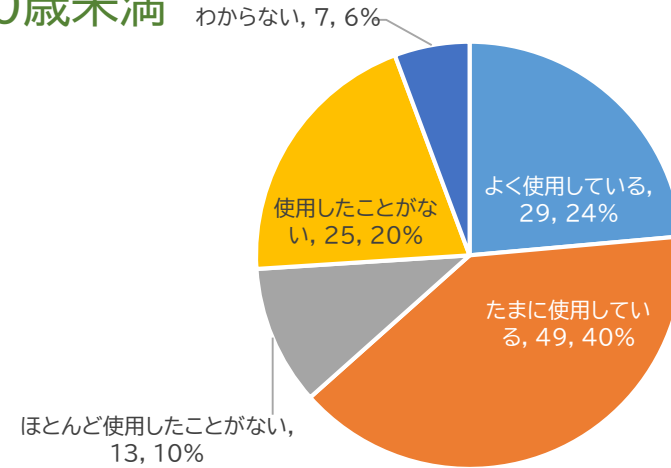
問4. (6) イ 「経路案内アプリの利用状況」

・ 38%がほとんど使用したことが無い為、MaaSアプリの導入は厳しい

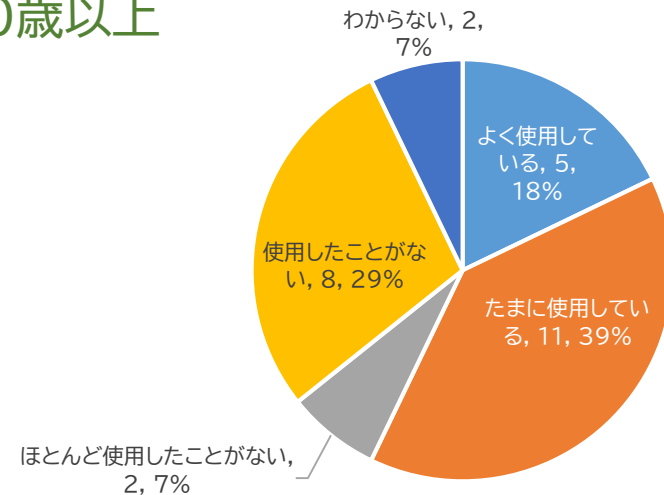
■全世代



■70歳未満



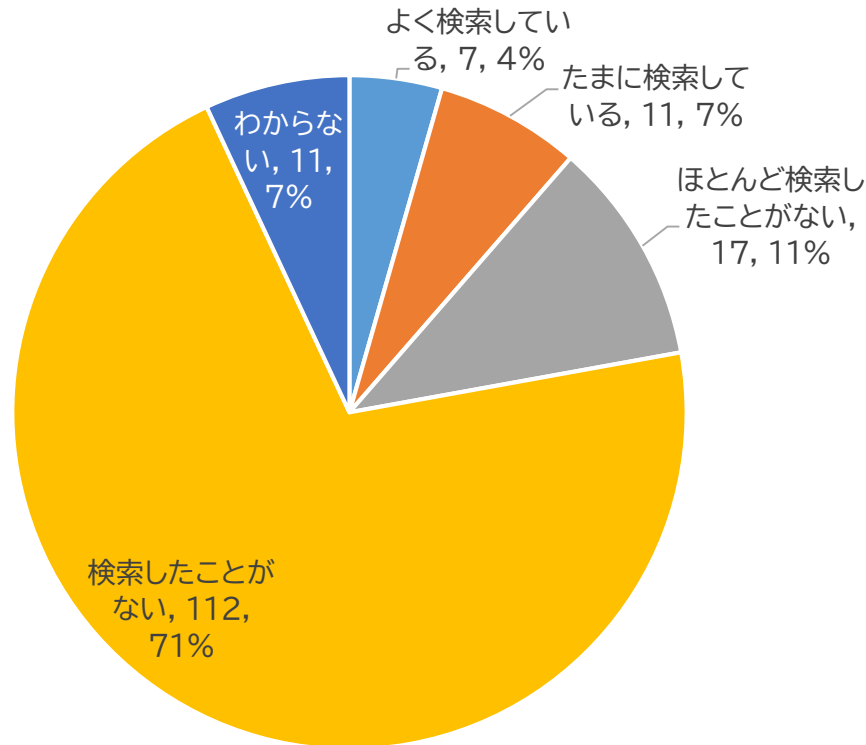
■70歳以上



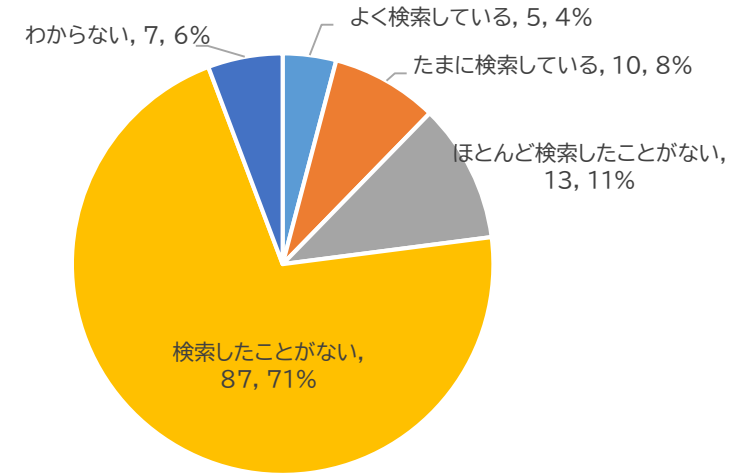
問4. (6) ウ 「バス位置検索アプリの利用状況」

・バス利用者が少ない事も考えるが、バスロケーションシステムはあまり利用されていない

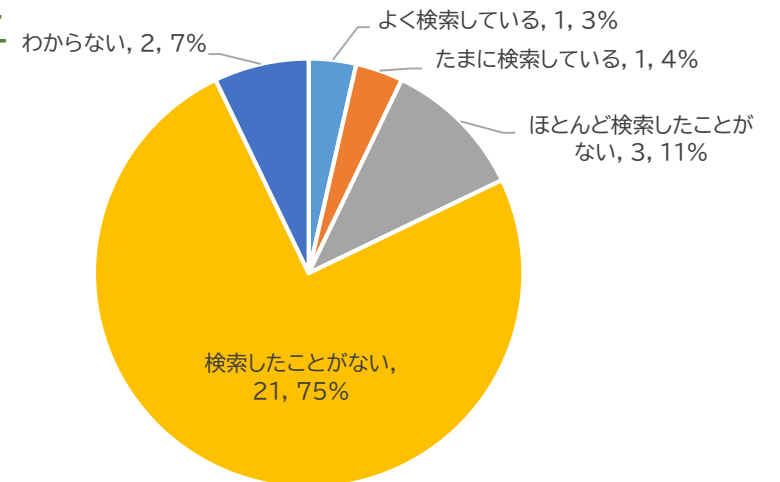
■全世代



■70歳未満



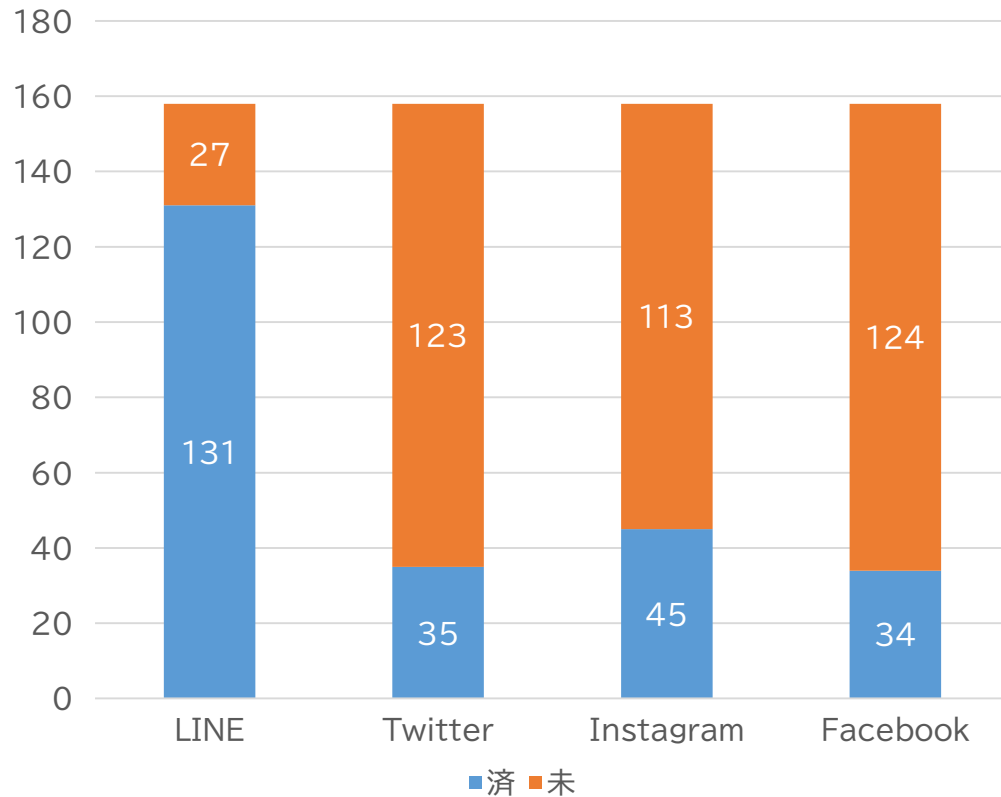
■70歳以上



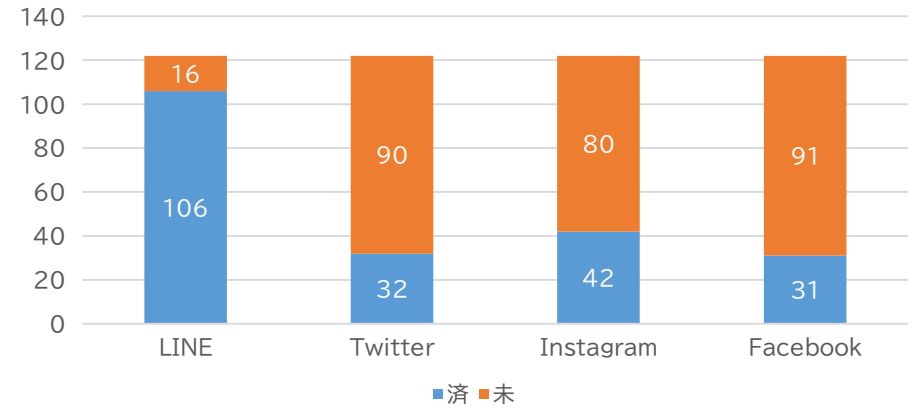
問4. (6) エ 「SNSインストール状況」

・LINEをインストールしている方が圧倒的

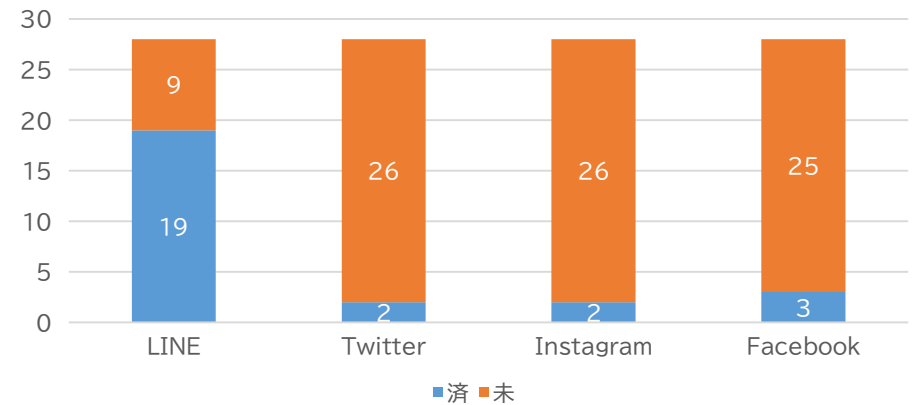
■全世代



■70歳未満

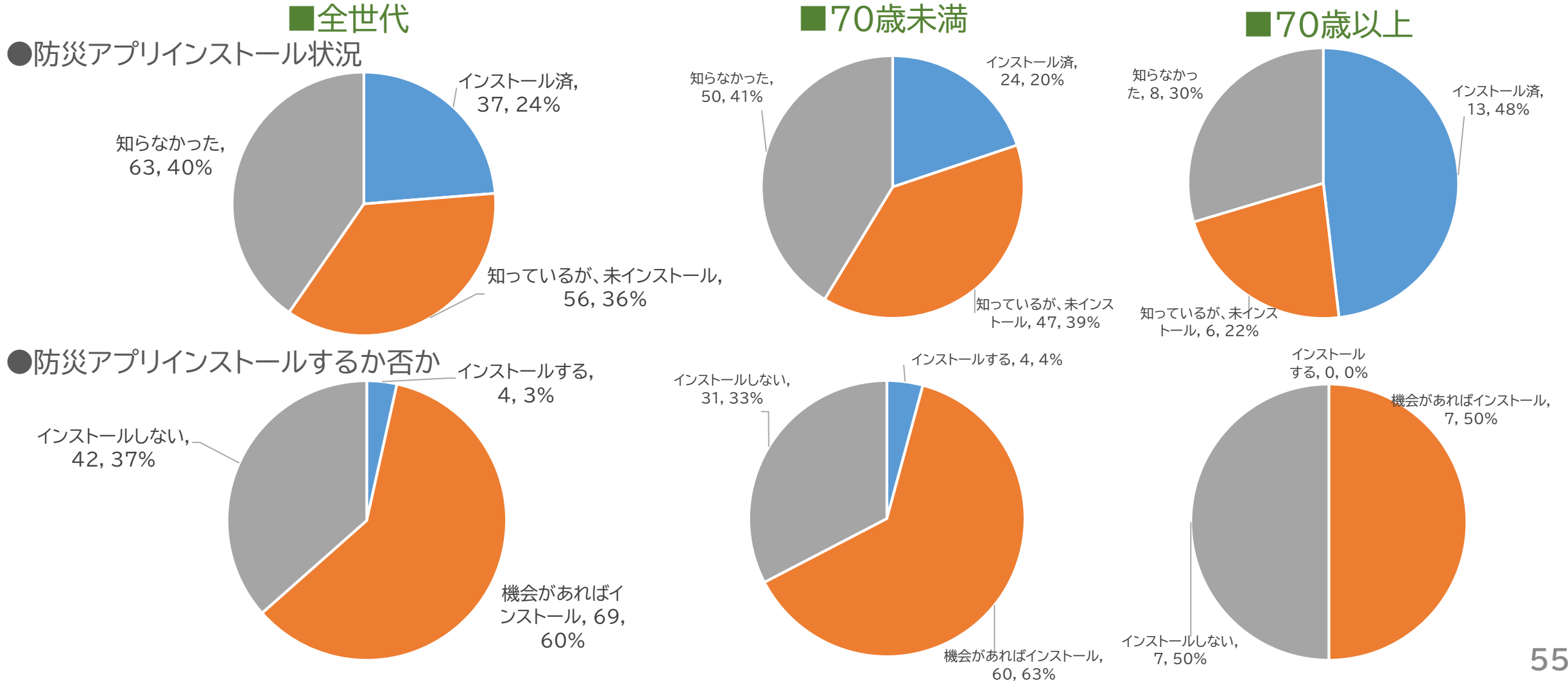


■70歳以上



問4. (6) オ、カ 「防災アプリインストール状況とインストール意向」

- ・ 70歳以上は認知度が上がり、インストール済が44%とほぼ半数
- ・ 防災アプリでもこの状況の為、アプリを用意する場合はインストールするメリットの訴求が必要



移動先（目的地）

- ・ 買い物先は二宮町内を挙げる人が多く、町外の広範囲に移動需要がある（現状ではマイカー中心）
- ・ 線バス利用で不便を感じる行先は、「二宮駅」、「中里・一色地区」、「月京地区」が多い

地域	場所	不便数
町内		2
	たかとり幼稚園☆	
	国府小☆	
	国府中☆	
	大磯高☆	
	大磯小体育館 ☆	
	月京 ☆★	3
	月京会館 ☆	
	中丸 ☆（中丸公民館 ★）	
	石神台 ☆	
	運動公園 ★	
	虫窪グラウンド ★	
	大磯駅 ☆★	7
	大磯町役場 ☆★	
	国府支所 ☆★	
	国府中西門 ☆	
	国府本郷 ☆	
	JA ★	1
	大磯町生涯学習館 ★	
	カーブス ☆	
	ヤオマサ ☆★	7
	ロイヤルホームセンター ☆★	
	シオン薬局 ☆	
	東海大大磯病院 ☆★	13
	月京クリニック ★	1
	藤田眼科クリニック ☆★	
	大磯ハートクリニック ☆★	4
	その他（コンビニ★、銀行☆☆、郵便局★、図書館★）	3

地域	場所	不便数
二宮		11
	二宮駅 ☆★	60
	二宮体育館 ☆	
	二宮武道館 ★	
	二宮町一色 ★	
	ユーコープ ★	
	西友 ☆★	9
	ザ・ビッグ ☆★	5
	ココカラファイン ☆★	
	井上整形外科 ☆★	5
	さくら診療所 ★	1
	百合丘クリニック	1
	さだもとクリニック ☆	1
	西山クリニック ☆	1
	その他（二宮中南信金）	
平塚		1
	出縄 ★	
	広川 ☆	
	平塚市追分 ☆	
	OSC湘南シティ ☆	
	あさつゆ広場 ★	
	平塚共済病院 ★	1
	平塚市民病院 ☆	1
	平塚倉田病院 ★	
	鈴木医院 ★	

地域	場所	不便数
西方面		
	鴨宮 ☆	
	小田原 ★	
	・小田原病院 ★	1
北方面		
	伊勢原市 ☆	
	・東海大病院	
	秦野市 ☆★	1
	・秦野さざんか ☆	
	・秦野ロピア ☆	
	中井町 ☆★	
	・中井井ノ口 ★	
	・食品館あおば ☆★	2
	厚木 ☆	
東方面		
	茅ヶ崎 ★	
	・茅ヶ崎今宿 ☆	
	藤沢 ☆	
	・湘南藤沢徳州会病院 ★	
	・江ノ島 ☆	
	大和 ☆	
	横須賀 ☆	
	鎌倉 ★	
	横浜 ☆	
	生麦 ☆	
	東京 ☆★（田町☆、人形町★）	

※「問4（3）買物・病院」および「問5目的地」から特定できるものだけ抽出
 ※ 青セル：買物、橙セル：病院、☆：70歳未満、★：70歳以上
 ※ 「不便数」は、問4（3）不便と感じている人数

移動目的地（町内） 全世代

- ・月京地区が多い。町内東地区への移動需要もある。

■全世代



移動目的地（町内） 70歳未満

・全世代と変わらない

■70歳未満



移動目的地（町内） 70歳以上

- ・月京地区の移動先が減少

■70歳以上



移動目的地（町外） 全世代

・ 広範囲に移動需要がある。東京方面は鉄道利用が多いが、それ以外は自家用車の移動が大半

■全世代



移動目的地（町外） 70歳未満

・全世代と傾向は変わらず

■70歳未満

●厚木

●大和



移動目的地（町外） 70歳以上

・全世代と傾向は変わらず

70歳以上



●小田原
●小田原病院

自由記述

自由記述：Page. 01

1. 交通弱者が一番大変です。無くさないで下さい。
2. ①3地区へワゴン車(10人乗り) 2台で運行する、②地区から運転手を見つける、③土日も予約があれば運行する(富士見地区は秋にみかん狩り等に使用したい)
3. 補助路線バスはたまに利用するのは二宮駅まで。月京までは行かない。二宮駅から西久保または黒岩入口へのバス便数を増やしてほしい。特に朝夕。
4. 二宮駅からの運行が日中少ないので本数を増やして欲しい。特に午後の時間帯。
5. 医療老人ホームに入所中
6. 通勤に利用したくても、朝、夕、勤務時間があわず、利用できない。土日に運行していないため自家用車を利用。二宮駅近くに駐車場を借りている。
7. 運行本数が多いと便利だがたまに利用するだけのため、あまり赤字になるようなわがままは言えない。病院に行く時は便利なので、利用する事がある。
8. 子どもたちの習い事等、車で送迎することが多いですが、バスの時間が合う時には、バスを使うようにしています。とても助かっています。運行本数が増えて、合う時間のバスがあれば、もっと利用したいと思います。土日の運行もあると便利です。

自由記述：Page. 02

9. 補助路線バスの廃止ありきの議論がなされているようですが、あくまで公共交通機関としての意義を再確認して欲しい。
現在72歳ですので自分で乗用車を運転し、所用があれば走行していますが、**75歳になった時点で危険回避するため免許証は返納する予定です。**
団塊世代の人間にとってはこれから先がバスの必要性が高いことになります。
自宅周辺も既に限界集落となり誰も頼ることは出来ません。福祉政策としての補助路線バスの必要性はこれからが多く求められる時と考えます。
近隣の二宮、中井においてはコミュニティバスを走らせていますが、町役場としても補助路線バス廃止について計画する時、地域住民にアンケート云々という手法ではなく福祉政策としてこのような代替を考えているというような具体策、町としての考え方を示して説明会すべきと考えます。
住民の声を真摯に聞いてください。
マスメディアにも情報提供するか検討しています。

自由記述：Page. 03

10. 今は自ら運転し買い物や病院に通院しているが、今後運転免許証を返納した場合、補助路線バスが無くなってしまったら農産物の出荷や通院ができなくなってしまう
定期的な検査等で東海大学大磯病院と同伊勢原病院に通院している
限られた収入でタクシーを利用し、伊勢原まで往復する事は無理である
自宅を含め農地の全てが調整地域内農用地で何ら活用が図れない
都市計画の線引きが行われ一度も見直しが行われていない 線引き当時、区域見直しを説明されたが一向に見直されていない
土地利用が図れないなかで人口増は期待できず現在に至っている
柔軟な線引きの見直しを行い地域の人口増と合わせて公共交通機関を利用できる人を増やして欲しい
補助路線バスのルートについては、原則駅から駅、具体的には大磯駅から二宮駅が望まれる
また、JR駅間のルートだけでなく私鉄（小田原電鉄）への乗り入れも検討して欲しい
この場合、例えば中井町や秦野市等と連携し相互運行可能にしては如何か
運行ルートに、大磯駅から二宮駅までを希望

自由記述：Page. 04

11. 中井ふれあいバスがいい。
12. 土日は運行しないで その分 平日に多く運行してほしい。
13. 部活が終わる時間のバスかスクールバスがほしい。二宮駅に土日に行くときに困る。学校に行くのにバス代が高い。
14. 学校帰りにバスがなくて図書館で待っていなければならない。友達の家家族に送ってもらわないと遊びにいけない。家族がいないと遊びにいけない。
15. 小学校、中学校の子育て中ですが、虫窪に住み、交通の不便さを常々感じています。月20日間バスで子供が学校に通うと小学生3600円、中学生は7200円、月々、かかります。公立の小中に通うための毎月の支払いとしては高いと思います。中学生は部活があるためバスの時間があわず、帰りはお迎えになります。共働きがあたり前の時代、17~18時の送迎は困難です。しかし冬になると道は暗く、人通りもなく、イノシシがでる中、子供1人で歩いて帰らせるのは心配です。親の送迎が必要ないようにしてほしいです。子供の夏休みなどの長期連休や土日の外出にも交通手段がなくて困っています。親がいるときは対応できますが。最寄り駅は二宮駅なので大磯駅は利用していません。家族で駅を利用して出かけたときはバスがなく本当に困っています。路線バスでなくてもスクールバスや中井ふれあいバスなどの対応を早急にお願いします。年をとっても車が必要となり、いつまでも免許返納できる気がしませんし、皆さん、お年をとっていても運転してもいます。

自由記述：Page. 05

15. 少ない予算で少ない利用者で運行して下さっていることに感謝しております。個人の都合時間に細かく合わせる事は難しいと思いますが、利用者の多い時間帯から振り分けていくしかないと思います。利用者が少ない時間帯は小さめの車などにできると良いですがそれもコスト増となってしまいます。近くの車をもって空いている人と利用したい人がネットワークでつながり利用できるシステムがあると良いです（どこかの地域で行っています）
16. 私自身はマイカー通勤しているので日常生活において困ることはありませんが、子供達の通学に利用しており今後も何らかの交通手段が確保されることを強く希望します。今までに良いと感じたこと。小学生は帰宅時間にあわせて運行の設定がある。バス停まであと少しの時、運転手さんが待ってくれていた。困ったこと。中学生は部活に出るとバスが利用できない（仕事の都合でお迎えにすぐに行けず、暗い中を30分以上待たせることがあった）二宮駅を利用している高校生は帰宅時 18:15~20:05 でないとバスに乗れず、ほとんど利用できない。二宮からの登り坂を1時間かけて歩いて帰宅している。バスが利用できないとき、小学校・中学校へ歩いて行ける環境ではない（歩道がない。落下物の危険がある）
17. 僕は高校生で虫窪から二宮駅まで通っています。僕は6時20分に家を出るので、その時間にバスがあると助かります。
18. バスがないと学校にいけないので、まだあってほしいです。
19. 五歳児ですが2022年には小学生となります。それから9年間は確実にバスがないと通学できません（母：代筆）

自由記述：Page. 06

20. 買い物等は二宮町に行く事が多い。大磯駅に行く機会はほとんどありません。二宮町と連携を取って頂きたいと思います。理由は、①自由乗降区間の利用者は二宮町の方が多く利用している。②買い物は二宮町が多く税を落としている。③大磯町の負担の数%を二宮町に依頼してはいかがですか。今アンケートについて現在運転できているので交通手段に関しては問題ありませんが、想像して記入しております。
21. 今は自家用車での移動ができますが、運転免許証を返納したら（将来的に）公共交通がなくなると困ります。形を変えてでも何かしらの移動手段を残してください。
22. 本数が減り（神奈中バス）から合う時間がなく、ほぼ利用をあきらめている。この先、免許返納等の将来のことを考えると孤立の不安があり、コミュニティバスの運行が契約切れで運行されなくなるのは困る。子どもが就学時期に合う時間に運行がなく、二宮駅まで自家用車で送迎、または近隣に住む祖父の送迎で過ごした。そのいずれも出来ない時はタクシーを使用した

自由記述：Page. 07

23. 現在大磯方面行きが6本ありますが、このうち、大磯駅まで行くのが3本しかなくJRで東京方面に行く場合は、二宮駅までバスで行き、JRに乗車することになる。出来れば1時間に1本の路線バスを大磯駅までのバスを増やしてほしい。
24. 現在自家用車を所有・利用しているので、私自身はほとんどバスを利用していませんが、バス利用される方は必要としていると思うので、検討お願いします
25. 本数も少なく、時間も合わないため、通勤、帰宅時にバスの利用ができない。勤務先の会社から雇用規定に則りバイクでの通勤が不可であり、家族による送迎に頼らざるを得ず困っています。
26. 公共交通（ミニバス）はある程度の時間間隔での運行と他の地区との運行ネットワークの形成、乗換、運行時間の連絡が必要。また、駅、病院、スーパー等の日常生活に必要な施設へのアクセスが可能な運行、経路の確保（乗継でも可）
27. 二宮駅に行く時バスの時間が無い為自家用車を使用しています。駐車場代も掛ります。1時間に1本のバスの運行を願います。運行が少ないとバスを利用する機会が減り、乗車人数が減ると運行回数が減ります。悪循環を解決して頂きたいです

自由記述：Page. 08

28. 今現在、近場は自分で車を利用できるが、この先、車利用が出来なくなった時がとても不安で⇒悩みでもあります！！毎日の買い物、お医者さん今の所、具体的な案は浮かびませんが、コミュニティバスの事例も考え方として良い方法だと思います。これから高齢者が増える為、利用するかと思います（私も含めて）。
29. バイクで自宅に帰宅する際に、バスが前を走っている時があり、いつも思う事があります。栗谷前から桜美園前まで走行中、自由乗降区間ではありますが、カーブに止まり、後ろからバスを抜けない。**後ろの車両のことを考えて、直線道路で止まってほしいです！！**土日もまた運行してくれたらありがたいです。
30. 朝の路線バスの**二宮駅の到着時間がもう少し早いと助かります。**
31. 片道運賃のアンケート内容に関して、バスを利用しない者にはなんでも高く感じてしまうのでは・・・。必要があれば金額に関係なく利用するでしょうに今の公共交通に期待は無い。以前にコミュニティバスの時は家族のものが良く利用していたけれど、今は利用する事が時間がある時のみだけ家族の送迎もすべて自家用車で賄っている。高齢者運転は危ないとわかっていてもこういう場所では免許を無くすわけにはいかないのが現状なのでは・・・。買い物もほとんど二宮側だし、大磯駅行には、本役場に行く時だけの利用で駅も二宮駅、もちろん金額のちがいもある為。**路線バスに年金金額を考えたらいつそのことバス廃止して、タクシー利用代金を支払ったり、子供の送迎に1回1律で金額を決めて、各家庭に支払ったらいいのではとも思います。**

自由記述：Page. 09

32. 朝早く、夜遅い通勤時間帯利用したいがその時間帯での運行がない。年配の方向けの時間帯設定になっているかと思いますが、年配の方はご家族が送り迎えしているので、利用者が少ないと思われます。
33. 現行の補助路線バスを続行していただきたい。富士見地区では、利用するJR駅は二宮です。利用者を増やすためには、適切な運行時間帯や本数の増加（1～2本）などの工夫が必要です。
- 例えば
- ・通勤、通学者のことを考えて、開始運行時間を15分ぐらい早く終了時間を15分ぐらい遅くする
 - ・下り恒道園前（16：23）止まりを二宮駅まで延長して二宮駅発を1本増発する
 - ・JRの到着時刻と二宮駅発車時刻を出来るだけ合わせる
- 富士見地区住民だけでなく、他の地域住民の利用者を増やすことも考えるべきです（景観やみかん狩りなどを楽しむために利用したい人もいます）

自由記述：Page. 10

34. ・基本、電車で出かけない限り、バスは乗らない。だからほとんど乗らない。
・基本、出かけるのは、ほとんど軽トラック
・こういう場所なので、移動手段は、ほとんど軽トラック
・車乗らなくなっていて、はじめて、バスのありがたさに、気づくのかも
・いつも、ガラガラのバスに申し訳なく思うが、必要な人に、バスがあるのはありがたいと思っています。
35. 通勤、通学、通院等である程度利用者数が確保されている時間帯は別として、ほとんど利用者のいない時間帯に関しては**バスの運行本数を削り、タクシーの割引チケット等の配布で賄った方が全体の支出が抑えられ、利用者にとっても時間や場所の融通も利いて便利であるように感じます。**
36. コミュニティバス 二宮町の例。運賃も200円位が良いと思います。定期的にグルッと循環する運行が一番良いと思います。
37. 全てを町にお願いしようとは思っていません。私達に出来る事は何か？専門家のご意見・ご指導を頂き、少しでも安心できる暮らしが出来たら、と考えています。70歳を過ぎ、日々不安が増すばかりです。

自由記述：Page. 11

38. ・今年75才の一人暮らし。子供達に運転をやめてほしいと言われるが、車がなくなったら、通院、買い物、おけいこ事等どうしたらよいのか悩んでいます。
- ・現在は、子供の所へ行く時は、朝・夕のバスにあわせて行動し、日常の移動はマイカーですが、数年後には車を辞めざるをえません。周りをみますと、車を手放さざるをえない人が多くいます。そうするとバスを利用する人が増えると思います。
 - ・黒岩在住ですが、大磯よりほとんど二宮へ降りる方が多い生活ですので、二宮への、二宮からの回数を多くしてほしいです。
 - ・現在のバスを見てると乗車人数が少なく申し訳ない気持ちになりますが、住民の数が少なく、子供の人数も少ないので、そこはしょうがないのが実情ですので、路線バスでなくもう少し小さい車でコミュニティバスの方がよいのではないかと思います。
 - ・出来たら土曜日に運行してくれたらなとも思います。
39. 車の運転ができない人にとってバスの運行は必須です。高齢者は自宅からバス停まで荷物を持って歩くのも大変になるためタクシーチケット配布などで個別対応してもらえるのが良いのではないかと思います。利用したことがないので分からない項目は丸をつけていません。
40. 高齢者の方にタクシーがバス料金で利用できる様、補助金やタクシークーポンを検討していただきたい。

自由記述：Page. 12

41. 世帯調査票の問2には今後利用予定の幼児も加える必要があるのではないのでしょうか？ 今後10年以上、子供の通学に補助路線バスが必要となるので継続を希望する。このバスがないと親の送迎が必要となり、親の時間が制限される（仕事に就きにくい） 今度ますます高齢化するので移動手段を検討していただきたい。
42. 現時点では自家用車がある家庭が多いかと思うけれど、住人は高齢者が多くなってきているので、**5年先が読めない家庭が増えていると思います**。車をつかえる人が倒れてしまったりすると日常生活（買い物、通院）、子供がいれば通学、通園などの基本的な生活ができなくなってしまいます。車を運転できる人ばかりが住んでいる訳ではないし、いつまでも運転できる保証もないので、続けて運行してほしいと思います。
43. **学校へ行くためのバスの本数なのですが、朝にあともう1本あると助かります。**
44. 高齢化により公共交通利用が増えると思うが住居付近で利用できる路線バス等の公共交通機関がない。高齢者が利用できる公共交通機関があると望ましい。特に買い物、病院、電車利用時の駅までの移動にて。
45. 現在は特になにも困っていません。将来、免許返納は確実にありますが、正直なところ、その時のことはまだ予想ができません。
46. 今現在利用していないが免許証の返納をしたら利用したいので継続してほしい。

自由記述：Page. 13

47. 厳しい財政の中でありがとうございます。今後ますます高齢化に向けて必要な事項となります。無くなれば引越さなければなりません。バス代 210円×2=420円、やむを得ないかもしれません。西久保バス停にできたトイレ、あれだけのものが必要だったのか。将来を通しての計画の一環で行われたのか疑問に思います。神奈川県内、大磯町周辺の市や町の友人と比べると税金が高くてびっくりさせられます。昨年 観光協会のパンフレットで地図に虫窪までの名前はのっていましたが黒岩・西久保はありませんでした（連絡済み）平塚の友人から大磯の西久保ってないぞと電話が入ったこともありました。そして今回の大磯町防災ガイド2020年度版にはやはり黒岩・西久保は記載されていません。どこに避難すればいいのか。それぞれの担当部署は違うのですが、もう少し横の連携をとっていただきたい。黒岩、西久保で100家近く有るでしょうからさびしいものですよ。納税していないなら別ですが～。日程を勘違いして郵送が遅れたこと申し訳ありません。
48. 補助路線バスを運行していただき深く感謝申し上げます。私も70歳を超えた後、何年かでバスに乗せていただくこととなります。どうぞ人数が少ない中、運行して行ってほしいです。大磯町が予算が少ないと良く言われますが、2人世帯なのに6人用はいらないと思います（町の税金を大切に使用してください）観光ガイド、防災ガイドをいただきましたが、黒岩、西久保の地図がいつも乗っていません。忘れられているのでしょうか？

自由記述：Page. 14

49. 黒岩に住んでいます。JRで移動する時は、二宮駅しか利用した事はありません。自宅⇒二宮駅は15分位、自宅⇒大磯駅は30分位かかるためです。母は免許返納者です。年のせいか、通院で大変です。が、大磯地区への通院は、東海大大磯病院のみです。他は二宮地区の病院へ通っています。末娘も高校へ通学していますが、帰宅する時間に二宮駅から帰って来るバスはありません。テスト期間中、通常授業中、午前授業中、全てにおいてです。国府小学校の帰宅時間に合わせて運行している事は知っています。中学生のため、高校生のための運行ではない事も知っています。が二宮駅まで行くバスが帰りは無人で運行というのは、理解できません。役場の方が黒岩に来る時にバス利用されてませんか？バス運行を考えている方々が利用されていないバスに地区の人が利用するのでしょうか？小学生のためにはスクールバスの事を考えてはどうでしょうか？その他の通学、通勤、通院者には、他のサービスを改めて考え直す事も必要かと思えます。
50. ふだん仕事場へは電動アシスト付き自転車で通っている。休日出かける時は自家用車を使用。コロナ禍以前は出かける時はバスを使って、二宮駅まで行き、電車を使用することがたまにあった。今は公共交通機関は使用していない

自由記述：Page. 15

51. 子供の通学、保育園への登園など状況により、バスの利用頻度が変わる。バスがあれば積極的に使いたいのので、ビジネス的に成り立つ運営方法を見つけて欲しい。特に土日はバスがあれば、車に頼らない移動が可能となり外出の幅が広がると感じている。継続がむずかしいのであれば、廃線もやむなく。
52. 小学校、中学校の登下校には不可欠なので、補助路線バスの継続が困難なようであれば別の手段の提案はしていただきたいです。いつもありがとうございます。よろしくお願い致します。
53. バスがあると、移動の幅が広がり、人生が豊かになると思います。
54. 小学生はバスの利用が必要。中学になると部活などにより時間が合わなく、徒歩になることや家族におくってもらうことが多くなる。高校になると自転車の利用が増える為、バスの利用は減る。近年、物騒で自家用車での送迎している人も多くなっている。夜になると物騒以外に野生動物による危険もあるため、徒歩も危険、バイクや自転車も危険だが、バスの時間は合わないため、自家用車の利用、家族の送迎、タクシーの利用となる。地域（地区）の人口さもあってバスの利用は減るっぽうです。
55. 来年小学生になる子が1人、その下に未就学児が2人いるので、バスがなくなってしまうと、小学校に行く事が大変になってしまうので、なるべくは、バスをなくさないでいて欲しいと思っています。（バスがないと、小学校、中学校まで徒歩で通学する事がむずかしくなってしまう。）

自由記述：Page.16

56. 外出はマイカーでの移動がほとんどです。電車利用の時も二宮駅付近のPに停めると。Pの空きが不安で、できればバス利用したいのですが本数が. . . 地域に利用者の必要な場合だけ対応してくれるサービスがあればと思います。
57. 小・中学生等の通学のために、三地区については公共交通（補助路線バス等）は必須。現在は自家用車が主な交通手段となっているが、今後高齢化が進むと何らか公共交通の存続が必要と考える。
58. 朝早く出るバスが欲しい。二宮駅行き。夜遅く出るバスが欲しい。
59. 週に1～2回もしくは2～3回平塚まで行っています
目的地に駐車場がないため、バス、電車を利用しますが、私、個人にとってはとても利用しにくい運行時間ですし、うっかり運動公園行に乗車してしまうと、大変な事になってしまい、せめて、路線バスが通っている所が終点という事にして欲しいなと思う
結局バスは通っているのに家族の送りむかえがないと行動できないので困っています
協力してくれる家族がいる場合は良いが家族がいない人はどうしているのでしょうか
もっと人間味のある回答をお願いします

自由記述：Page. 17

60. 今の運行時刻だと、中学校の日課とタイミングが合わず、帰りのバスに乗らせたいが毎日自家用車で迎えに行っている
徒歩での帰宅も可能だけれど、世の中、怖い事が多く、女子の母としては心配。
虫窪は人目もほぼなく、冬期日没後山中を歩かせる訳には。
そもそも部活動終わりで乗る事のできるバスはないので・・・。
朝は仕方ないとして、**夕方の時刻の設定と便の増発を検討**いただけたら本当に助かります。
以前は土日にも日に3本ほど運行していたかと思う。せめて朝7時代と夜18, 19時代くらいで、駅との便があれば外出し易い。
今は二宮駅のパーキング便りなので。
61. 自分で運転できない人の為の利便性ある公共交通を期待します
特に児童・学生